

第24回
幸田町住民意識調査
報告書

令和7年3月

幸田町

目次

第1章 調査の概要.....	1
1 調査の目的	2
2 調査方法	2
3 報告書の見方	3
第2章 回答者の属性.....	4
1 性別（問1）	5
2 年齢（問2）	6
3 職業（問3）	7
4 家族構成（問4）	8
5 同居する家族（問5）.....	9
6 小学校区（問6）	10
7 居住年数（問7）	11
第3章 継続調査結果	12
1 町政への関心（問8）	13
2 関心がある理由（問8-1）	16
3 関心がない理由（問8-2）	19
4 町政の情報源（問9）	22
5 総合計画各施策の満足度・重要度（問10）	25
6 総合計画各施策の優先度（問11）	35
7 幸田町に住みたいか（問12）	38
8 幸田町のよいところは（問13）	41
9 幸田町の悪いところは（問14）	44
第4章 日常生活における行動・意識調査結果	47
1 日常生活における行動・意識（問15）	48
2 この1年間の学習の形式（問16）	52
3 この1年間のスポーツ実施状況（問17）	54
第5章 ICT（情報通信技術）の活用についての調査結果	55
1 インターネットを利用する際の端末（問18）	56
2 ICTを使った行政サービスのうち充実していくべきこと（問19）	57
第6章 感染症等の影響についての調査結果.....	58
1 新たな感染症対策として重点的に実施してほしい施策（問20）	59

第7章 公共交通に関する調査結果	61
1 公共交通の利用のしやすさ（問 21）	62
2 新しい移動手段の認知度（問 22－1）	69
3 新しい移動手段の利用意向（問 22－2）	73
第8章 人口減少対策についての調査結果	80
1 町が取り組むべき人口減少対策について（問 23）	81
2 人口減少や少子高齢化の影響について（問 24）	84
3 人口減少対策としてどのような施策が有効か（問 25）	86
第9章 自由意見	87
1 自由意見	88
資料 調査票	110

第 1 章 調査の概要

1 調査の目的

町政に対する町民の意識と評価を把握し、町政運営の基礎資料とするものです。

2 調査方法

(1) 調査対象

18 歳以上の町民 2,000 人

(令和 6 年 9 月 1 日時点での総人口 42,103 人 うち 18 歳以上 90 歳未満人口 33,577 人)

(2) 抽出方法

無作為抽出

(3) 調査方法

郵送による調査票の配布

回収は、紙（郵送）による回答と Web ページからの回答のいずれかを選択

(4) 調査期間

令和 6 年 10 月 8 日（火）～令和 6 年 11 月 7 日（木）

(5) 回収状況

		紙（郵送）による回収	Web による回収
回収結果	抽出数	2,000	
	回収数	920	361
	有効回答数（率）	920（46.0%）	355（17.8%）

(6) 調査項目

- ・ 回答者の属性について（7 問）
- ・ 町政への関心について（2 問）
- ・ 町政の情報源について（1 問）
- ・ 総合計画の各施策の満足度と重要度、優先度について（2 問：42 施策分）
- ・ 幸田町での定住意向、よいところ・悪いところについて（3 問）
- ・ 日常生活における行動・意識について（3 問）
- ・ ICT（情報通信技術）の活用について（2 問）
- ・ 感染症等の影響について（1 問）
- ・ 公共交通に対する評価と新たな移動手段の検討・導入について（2 問）
- ・ 人口減少対策について（3 問）

3 報告書の見方

- ・ 結果は百分率で表示してあります。小数第 2 位を四捨五入したため、比率の合計が 100%にならない場合があります。
- ・ 複数回答の合計は 100%を超えます。
- ・ 二重回答は無効回答としました。

第 2 章 回答者の属性

(問 1～問 7)

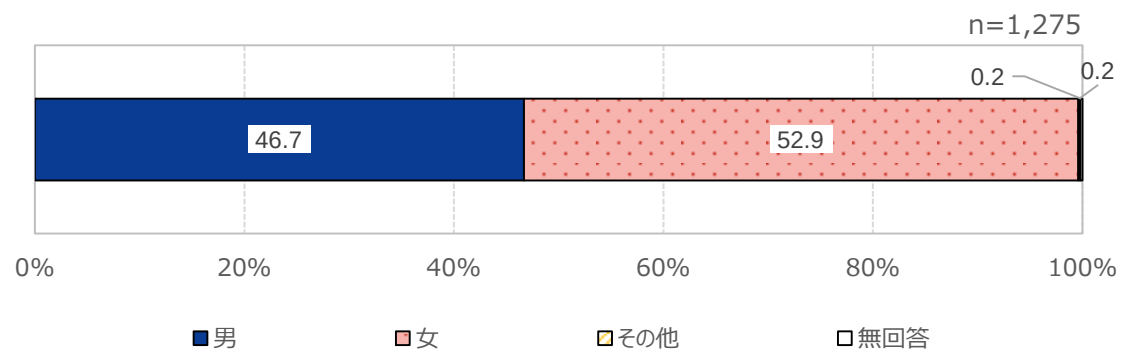
1 性別（問 1）

回答者の性別の割合は、「男」が 46.7%、「女」が 52.9%となっています。

表 1 回答者の性別

	件数	%
男	595	46.7%
女	675	52.9%
その他	2	0.2%
無回答	3	0.2%
合計	1,275	100.0%

図 1 回答者の性別



2 年齢（問2）

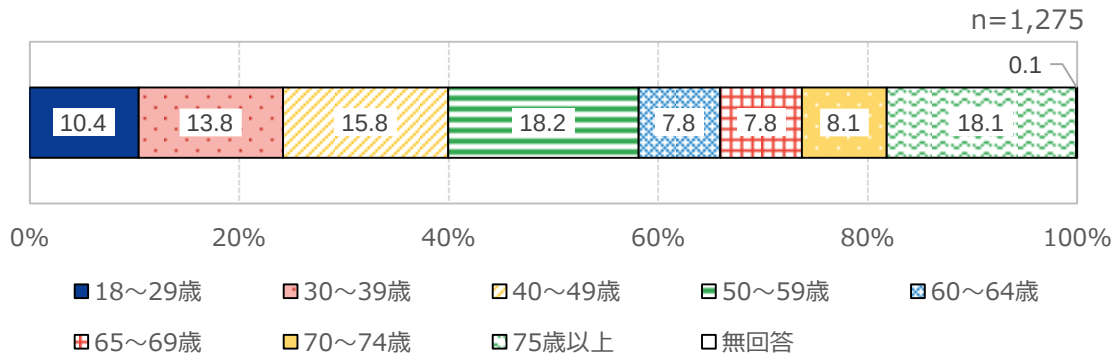
回答者の年齢別の割合は、「50～59歳」が18.2%と最も高く、次いで、「75歳以上」が18.1%、「40～49歳」が15.8%と続きます。

また、「65歳以上（65歳～69歳、70～74歳、75歳以上の合計）」が34.0%となっており、高齢者層が3割を超えています。

表 2 回答者の年齢

	件数	%
18～29歳	132	10.4%
30～39歳	176	13.8%
40～49歳	202	15.8%
50～59歳	232	18.2%
60～64歳	99	7.8%
65～69歳	99	7.8%
70～74歳	103	8.1%
75歳以上	231	18.1%
無回答	1	0.1%
合計	1,275	100.0%

図 2 回答者の年齢



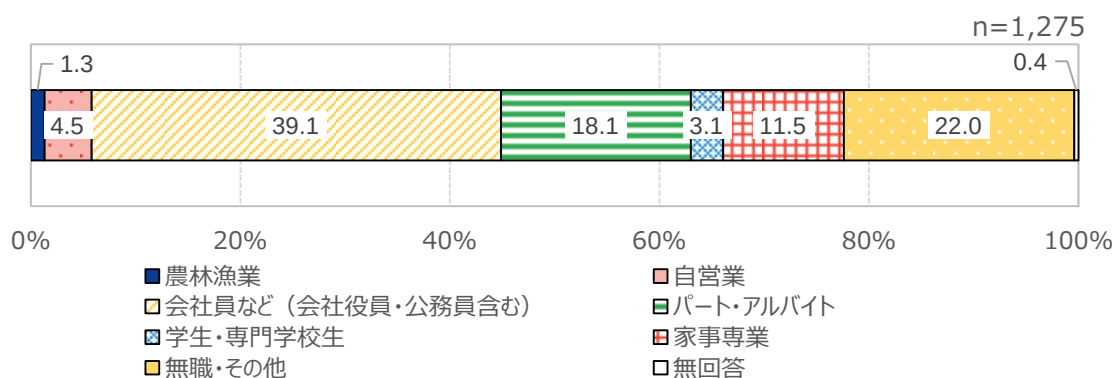
3 職業（問3）

回答者の職業別の割合は、「会社員など（会社役員・公務員含む）」が39.1%と最も高く、次いで「無職・その他」が22.0%、「パート・アルバイト」が18.1%、「家事専業」が11.5%と続いています。

図 3 回答者の職業

	件数	%
農林漁業	17	1.3%
自営業	58	4.5%
会社員など（会社役員・公務員含む）	498	39.1%
パート・アルバイト	231	18.1%
学生・専門学校生	39	3.1%
家事専業	146	11.5%
無職・その他	281	22.0%
無回答	5	0.4%
合計	1,275	100.0%

表 3 回答者の職業



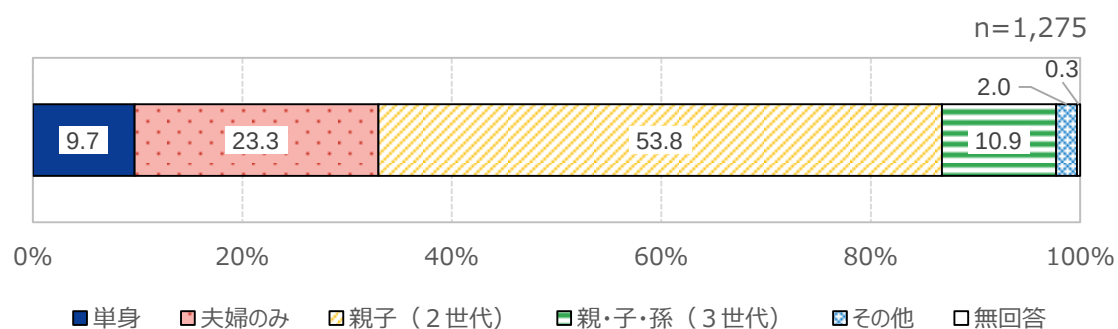
4 家族構成（問4）

回答者の家族構成は、「親子（2世代）」の割合が53.8%と最も高く、次いで「夫婦のみ」が23.3%、「親・子・孫（3世代）」が10.9%となっています。一方、「単身」は9.7%となっています。

表 4 回答者の家族構成

	件数	%
単身	124	9.7%
夫婦のみ	297	23.3%
親子（2世代）	686	53.8%
親・子・孫（3世代）	139	10.9%
その他	25	2.0%
無回答	4	0.3%
合計	1,275	100.0%

図 4 回答者の家族構成



5 同居する家族（問5）

同居する家族は、「65歳以上の方」とした人の割合が、34.7%と最も高くなっています。

次いで「小学生・中学生」と同居する人は19.8%、「小学校入学前の子」と同居する人は10.6%、「中学校卒業以上18歳未満の子」と同居する人は8.8%となっています。

また、「障害者手帳を所持されている方」と同居する人が10.7%、「介護を要する方」と同居する人は6.0%となっています。

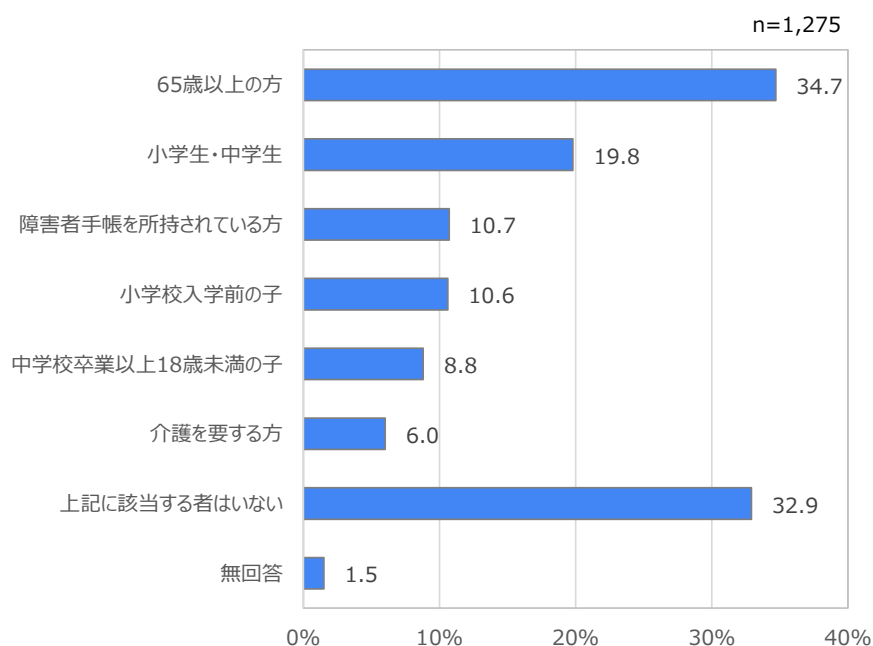
なお、「上記に該当する者はいない」は32.9%です。

表 5 同居する家族（本人を含む）（複数回答）

回答者数：1,275人

	件数	%
65歳以上の方	442	34.7%
小学生・中学生	252	19.8%
障害者手帳を所持されている方	136	10.7%
小学校入学前の子	135	10.6%
中学校卒業以上18歳未満の子	112	8.8%
介護を要する方	77	6.0%
上記に該当する者はいない	419	32.9%
無回答	19	1.5%
合計	1,592	

図 5 同居する家族（本人を含む）（複数回答）



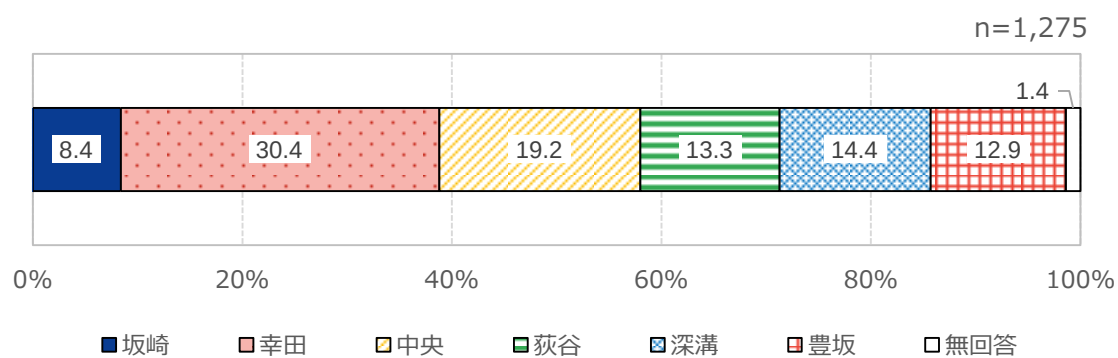
6 小学校区（問6）

回答者の小学校区では、「幸田」とした人の割合が30.4%と最も高く、次いで「中央」が19.2%、「深溝」が14.4%、「荻谷」が13.3%、「豊坂」が12.9%、「坂崎」が8.4%となっています。

表 6 回答者の小学校区

	件数	%	【参考】人口割合
坂崎	107	8.4%	8.5%
幸田	388	30.4%	28.5%
中央	245	19.2%	20.7%
荻谷	169	13.3%	13.9%
深溝	184	14.4%	14.9%
豊坂	164	12.9%	13.4%
無回答	18	1.4%	—
合計	1,275	100.0%	

図 6 回答者の小学校区



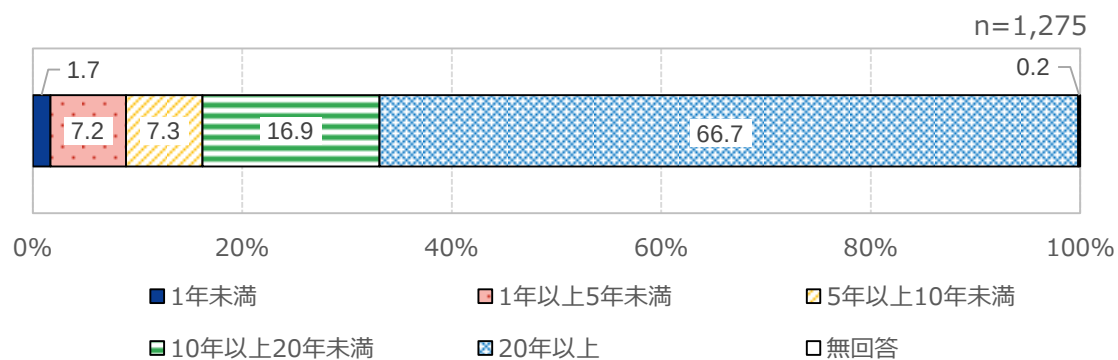
7 居住年数（問7）

回答者の居住年数では、「20 年以上」とした人の割合が 66.7%で最も高く、次いで「10 年以上 20 年未満」が 16.9%、「5 年以上 10 年未満」が 7.3%、「1 年以上 5 年未満」が 7.2%、「1 年未満」が 1.7%となっています。

表 7 回答者の居住年数

	件数	%
1年未満	22	1.7%
1年以上5年未満	92	7.2%
5年以上10年未満	93	7.3%
10年以上20年未満	216	16.9%
20年以上	850	66.7%
無回答	2	0.2%
合計	1,275	100.0%

図 7 回答者の居住年数



第 3 章 継続調査結果

(問 8 ～ 問 1 4)

1 町政への関心（問8）

町政への関心については、「多少関心がある」が51.5%と最も高く、次いで「あまり関心がない」が28.1%となっています。

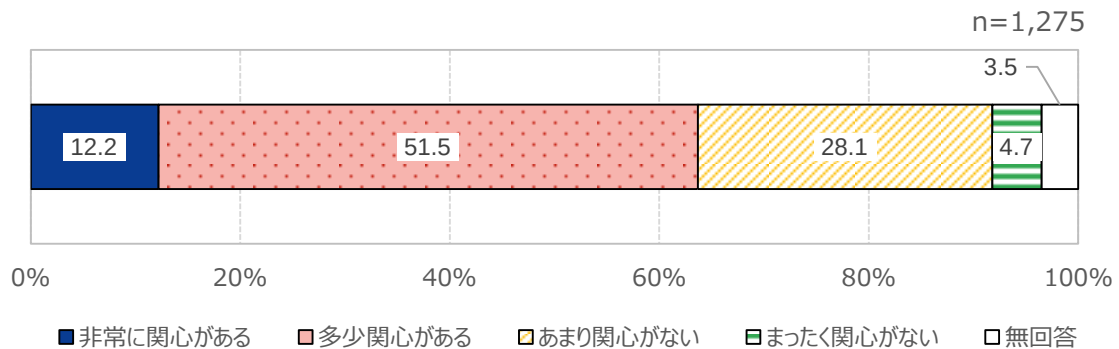
「非常に関心がある」（12.2%）と「多少関心がある」（51.5%）を合わせた“関心がある”とした人の割合は、63.7%となっています。

一方、「あまり関心がない」（28.1%）と「まったく関心がない」（4.7%）を合わせた“関心がない”とした人の割合は32.8%となっています。

表 8 町政への関心

	件数	%
非常に関心がある	156	12.2%
多少関心がある	656	51.5%
あまり関心がない	358	28.1%
まったく関心がない	60	4.7%
無回答	45	3.5%
合計	1,275	100.0%

図 8 町政への関心

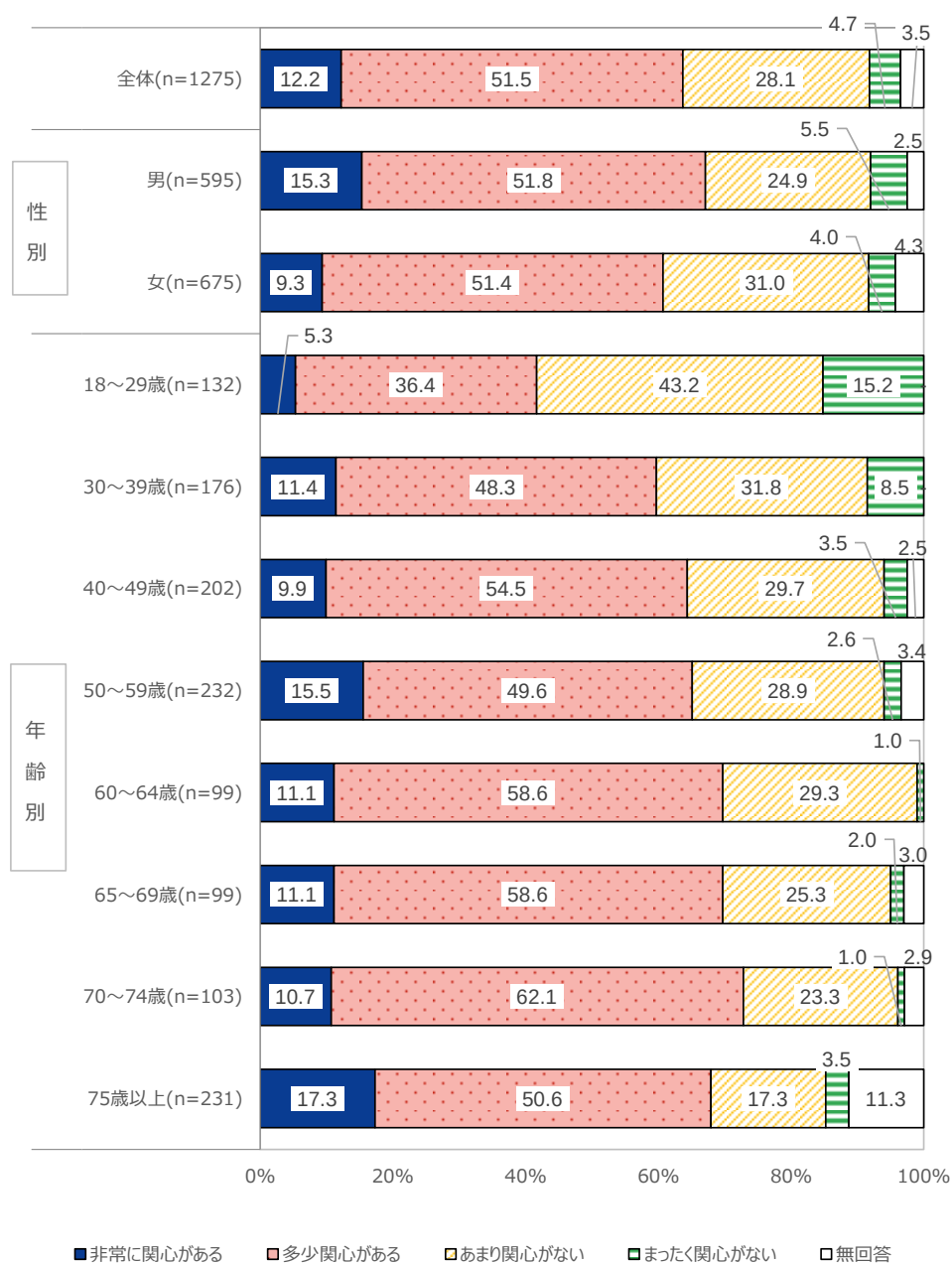


性別で比較すると、「非常に関心がある」は男性が 15.3%であるのに対して、女性は 9.3%で 6 ポイントの差がみられます。「多少関心がある」までを含めても、その差は 6.4 ポイントとなり、男女で差がみられます。

年齢別で比較すると、「非常に関心がある」と「多少関心がある」を合わせた“関心がある”とした人の割合は、70～74 歳が 72.8%と、最も高くなっています。40～49 歳以上では、いずれの年代も 60%以上となっており、年齢が高い人ほど関心が高い傾向にあります。なお、18～29 歳は 41.7%で、他の年代と比べると低くなっています。

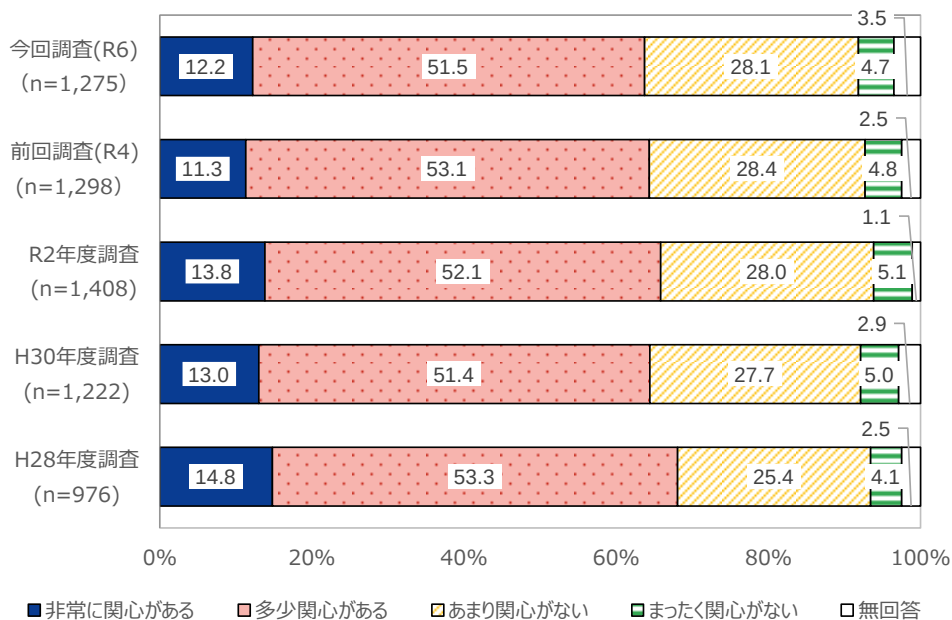
また、「非常に関心がある」とした人の割合は、75 歳以上が 17.3%と最も高く、次いで 50～59 歳が 15.5%となっています。

図 9 町政への関心（性・年齢別）



過去の調査と比較すると、「非常に関心がある」と「多少関心がある」を合わせた“関心がある”は、今回調査（R6）が63.7%、前回調査（R4）が64.4%となっており、今回調査（R6）では、▲0.7ポイントとなりましたが、著しい変化はみられません。H28年度調査の同割合をみると68.1%で、▲4.4ポイントとなり、“関心がある”とする割合は、わずかですが、低下傾向にあります。

図 10 町政への関心（経年比較）



2 関心がある理由（問 8 - 1）

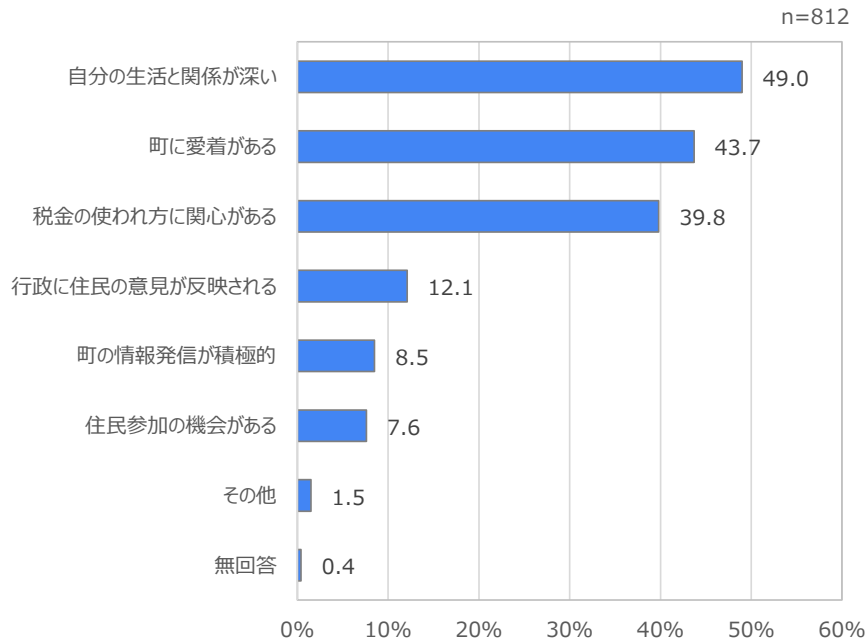
町政への関心について、「非常に関心がある」または「多少関心がある」と回答した 812 人に対して、関心がある理由を尋ねたところ、「自分の生活と関係が深い」が 49.0%と最も高く、次いで、「町に愛着がある」が 43.7%となっています。

表 9 関心がある理由（複数回答）

回答者数：812人

	件数	%
自分の生活と関係が深い	398	49.0%
町に愛着がある	355	43.7%
税金の使われ方に関心がある	323	39.8%
行政に住民の意見が反映される	98	12.1%
町の情報発信が積極的	69	8.5%
住民参加の機会がある	62	7.6%
その他	12	1.5%
無回答	3	0.4%
合計	1,320	

図 11 関心がある理由（複数回答）



性別で比較したとき、男女ともに上位３項目は、「自分との生活と関係が深い」「町に愛着がある」「税金の使われ方に関心がある」となっており、男女の違いによる大きな差はみられませんが、「自分の生活と関係が深い」では、男性（45.9%）よりも女性（52.0%）の方が6.1ポイント高くなっています。

年齢別で比較したとき、入れ替わりはあるものの、上位３項目は「自分との生活と関係が深い」「町に愛着がある」「税金の使われ方に関心がある」となっています。

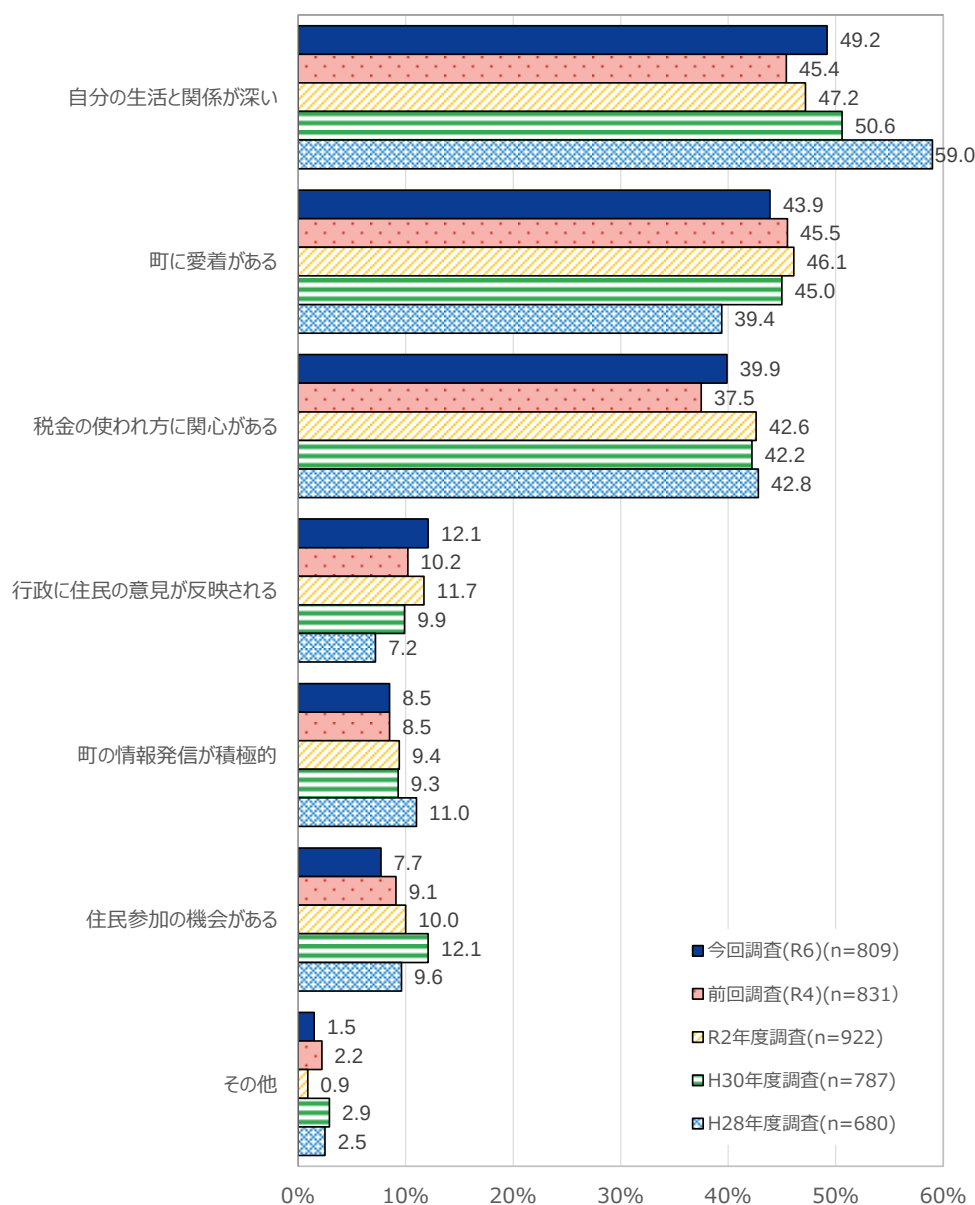
表 10 関心がある理由（性・年齢別）（複数回答）

区分		n	自分の生活と関係が深い	町に愛着がある	税金の使われ方に関心がある	行政に住民の意見が反映される	町の情報発信が積極的	住民参加の機会がある	その他	無回答
全体		812	49.0	43.7	39.8	12.1	8.5	7.6	1.5	0.4
性別	男	399	45.9	43.6	41.9	15.3	9.5	7.5	1.8	0.3
	女	410	52.0	43.9	37.8	8.8	7.6	7.8	1.2	0.5
年齢別	18～29歳	55	43.6	54.5	36.4	1.8	9.1	1.8	1.8	0.0
	30～39歳	105	49.5	33.3	44.8	14.3	7.6	1.9	0.0	1.9
	40～49歳	130	55.4	31.5	49.2	12.3	4.6	3.1	2.3	0.0
	50～59歳	151	51.7	40.4	43.0	11.3	5.3	6.0	0.7	0.0
	60～64歳	69	56.5	43.5	42.0	15.9	13.0	5.8	1.4	0.0
	65～69歳	69	49.3	43.5	40.6	13.0	7.2	11.6	1.4	1.4
	70～74歳	75	46.7	48.0	29.3	18.7	10.7	12.0	2.7	0.0
	75歳以上	157	40.1	58.0	30.6	9.6	12.7	15.9	1.9	0.0

過去の調査と比較すると、入れ替わりや割合の違いはあるものの、上位3項目は「自分との生活と関係が深い」「町に愛着がある」「税金の使われ方に関心がある」となり、平成28年調査から変わっていません。

「自分の生活と関係が深い」については、平成28年度調査（59.0%）から低下傾向にあり、令和4年度調査（45.4%）では▲13.6ポイントとなっていました。今回調査では上昇し、49.2%（▲9.8ポイント）となりました。

図 12 関心がある理由（経年比較）（複数回答、無回答を除く）



3 関心がない理由（問 8 - 2）

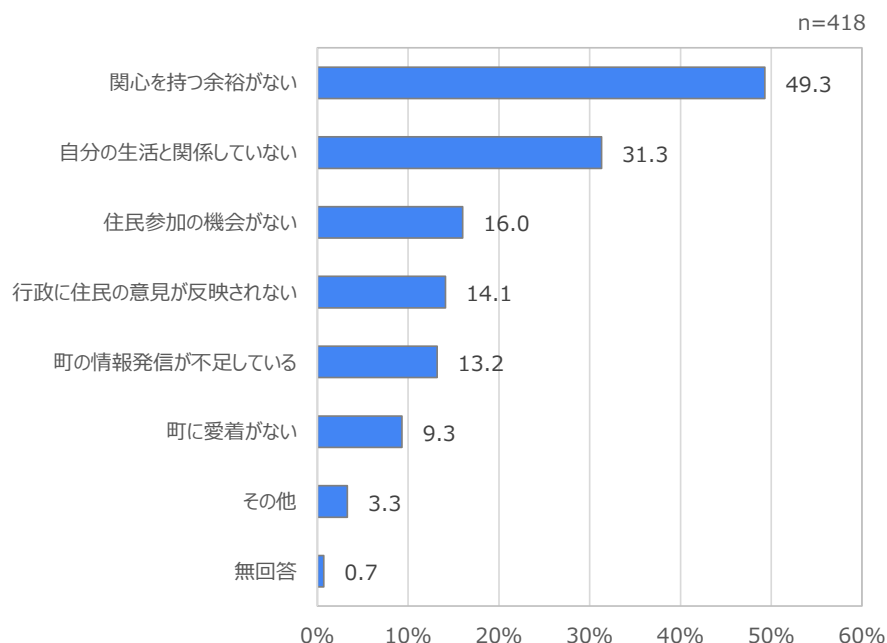
町政への関心について、「あまり関心がない」または「まったく関心がない」と回答した 418 人に対して、関心がない理由を尋ねたところ、「関心を持つ余裕がない」が 49.3%と最も高く、次いで、「自分の生活と関係していない」が 31.3%となっています。また、「住民参加の機会がない」（16.0%）や「行政に住民の意見が反映されない」（14.1%）、「町の情報発信が不足している」（13.2%）といった意見も一定程度みられました。

表 11 関心がない理由（複数回答）

回答者数：418人

	件数	%
関心を持つ余裕がない	206	49.3%
自分の生活と関係していない	131	31.3%
住民参加の機会がない	67	16.0%
行政に住民の意見が反映されない	59	14.1%
町の情報発信が不足している	55	13.2%
町に愛着がない	39	9.3%
その他	14	3.3%
無回答	3	0.7%
合計	574	

図 13 関心がない理由（複数回答）



性別で比較すると、男女ともに「関心を持つ余裕がない」「自分の生活と関係していない」が上位 2 項目ですが、次いで、男性は「行政に住民の意見が反映されない」、女性は「住民参加の機会がない」となっています。また、男女ともに最も高い割合の「関心を持つ余裕がない」では、男性（42.0%）よりも女性（54.7%）の方が 12.7 ポイント高くなっています。

年齢別で比較すると、18～29 歳、30～39 歳、40～49 歳、50～59 歳、60～64 歳、75 歳以上では、「関心を持つ余裕がない」が最も高く、65～69 歳、70～74 歳では、「自分の生活と関係していない」が最も高くなっています。

また、18～29 歳、30～39 歳、65～69 歳、70～74 歳、75 歳以上では、上位 3 項目は「関心を持つ余裕がない」「自分の生活と関係していない」「住民参加の機会がない」となっていますが、40～49 歳、50～59 歳、60～64 歳では「関心を持つ余裕がない」「自分の生活と関係していない」「行政に住民の意見が反映されない」もしくは、「町に愛着がない」が上位 3 項目となっています。

表 12 関心がない理由（性・年齢別）（複数回答）

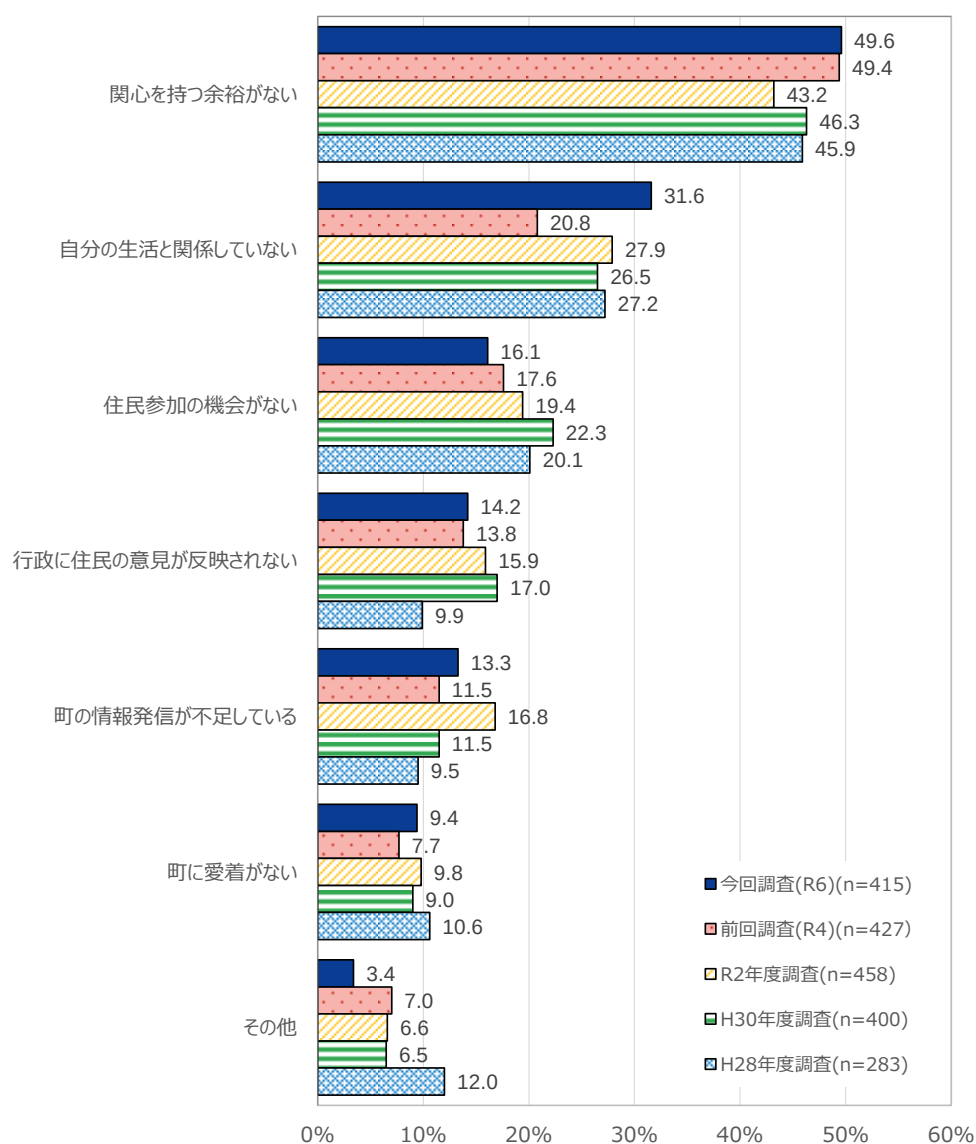
区分		n	関心を持つ余裕がない	自分の生活と関係していない	住民参加の機会がない	行政に住民の意見が反映されない	町の情報発信が不足している	町に愛着がない	その他	無回答
全体		418	49.3	31.3	16.0	14.1	13.2	9.3	3.3	0.7
性別	男	181	42.0	36.5	13.3	14.4	13.8	13.3	5.5	0.0
	女	236	54.7	27.5	18.2	14.0	12.7	6.4	1.7	1.3
年齢別	18～29歳	77	49.4	35.1	14.3	6.5	13.0	10.4	3.9	0.0
	30～39歳	71	54.9	28.2	16.9	8.5	15.5	5.6	1.4	0.0
	40～49歳	67	58.2	29.9	11.9	13.4	6.0	13.4	6.0	1.5
	50～59歳	73	47.9	26.0	12.3	23.3	16.4	9.6	2.7	0.0
	60～64歳	30	53.3	26.7	6.7	33.3	23.3	10.0	0.0	0.0
	65～69歳	27	40.7	48.1	18.5	14.8	7.4	11.1	0.0	0.0
	70～74歳	25	28.0	32.0	28.0	16.0	16.0	8.0	8.0	4.0
	75歳以上	48	43.8	33.3	27.1	8.3	10.4	6.3	4.2	2.1

過去の調査と比較すると、いずれの年も、「関心を持つ余裕がない」、「自分の生活と関係していない」、「住民参加の機会がない」が上位 3 項目となっています。

ただし、今回調査（R 6）では、「関心を持つ余裕がない」が 49.6%で、過去の調査の中で最も高い割合となり、「関心を持つ余裕がない」は、平成 28 年度調査から増加傾向にあります。

また、「自分の生活と関係していない」は、前回調査（R 4）の 20.8%から 31.6%と 10.8 ポイント増加し、平成 28 年度調査以降、最も高くなっています。

図 14 関心がない理由（経年比較）（複数回答、無回答を除く）



4 町政の情報源（問9）

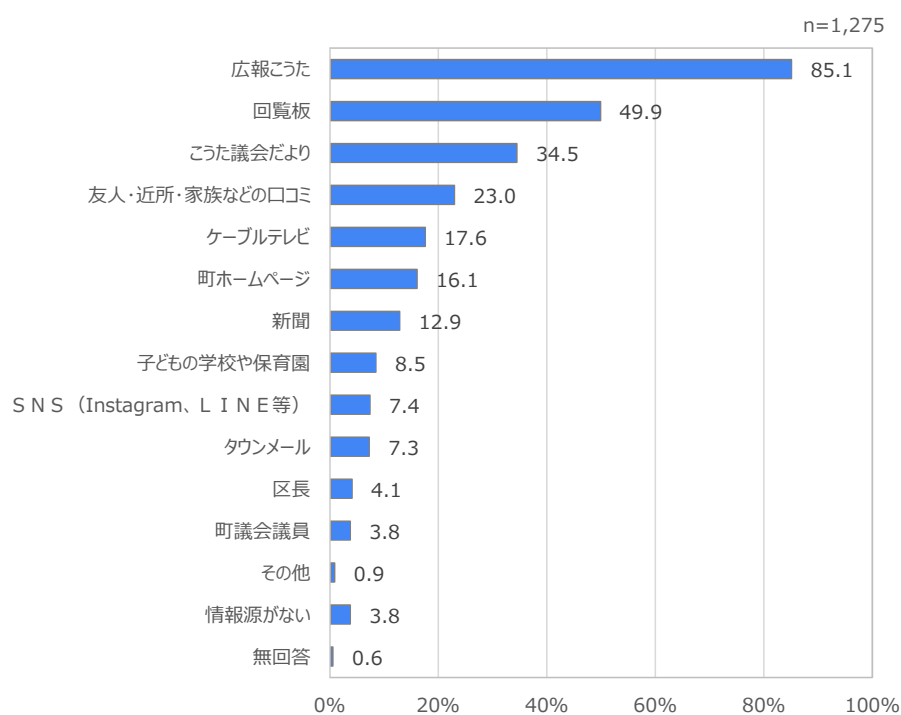
町政の情報源は、「広報こうた」が85.1%で最も多く、次いで「回覧板」が49.9%、「こうた議会だより」が34.5%、「友人・近所・家族などの口コミ」が23.0%となっています。

表 13 町政の情報源（複数回答）

回答者数：1,275人

	件数	%
広報こうた	1,085	85.1%
回覧板	636	49.9%
こうた議会だより	440	34.5%
友人・近所・家族などの口コミ	293	23.0%
ケーブルテレビ	225	17.6%
町ホームページ	205	16.1%
新聞	164	12.9%
子どもの学校や保育園	109	8.5%
S N S（Instagram、L I N E等）	94	7.4%
タウンメール	93	7.3%
区長	52	4.1%
町議会議員	48	3.8%
その他	11	0.9%
情報源がない	48	3.8%
無回答	8	0.6%
合計	3,511	

図 15 町政の情報源（複数回答）



性別で比較すると、「広報こうた」（男性：81.8%、女性 88.1%）、「友人・近所・家族などの口コミ」（男性：17.6%、女性：27.7%）では、女性の方が6ポイント以上高くなっています。

年齢別で比較すると、「広報こうた」、「回覧板」、「こうた議会だより」、「ケーブルテレビ」、「新聞」「区長」「町議会議員」は、概して年齢が高くなるほど、回答割合も高くなる傾向にあります。

また、30～39歳、40～49歳では、「子どもの学校や保育園」がそれぞれ21.6%、23.8%となり、他の年代や全体（8.5%）と比べて高くなっています。

75歳以上では、「区長」（9.1%）、「町議会議員」（7.4%）が全体（それぞれ4.1%、3.8%）と比べてやや高くなっています。

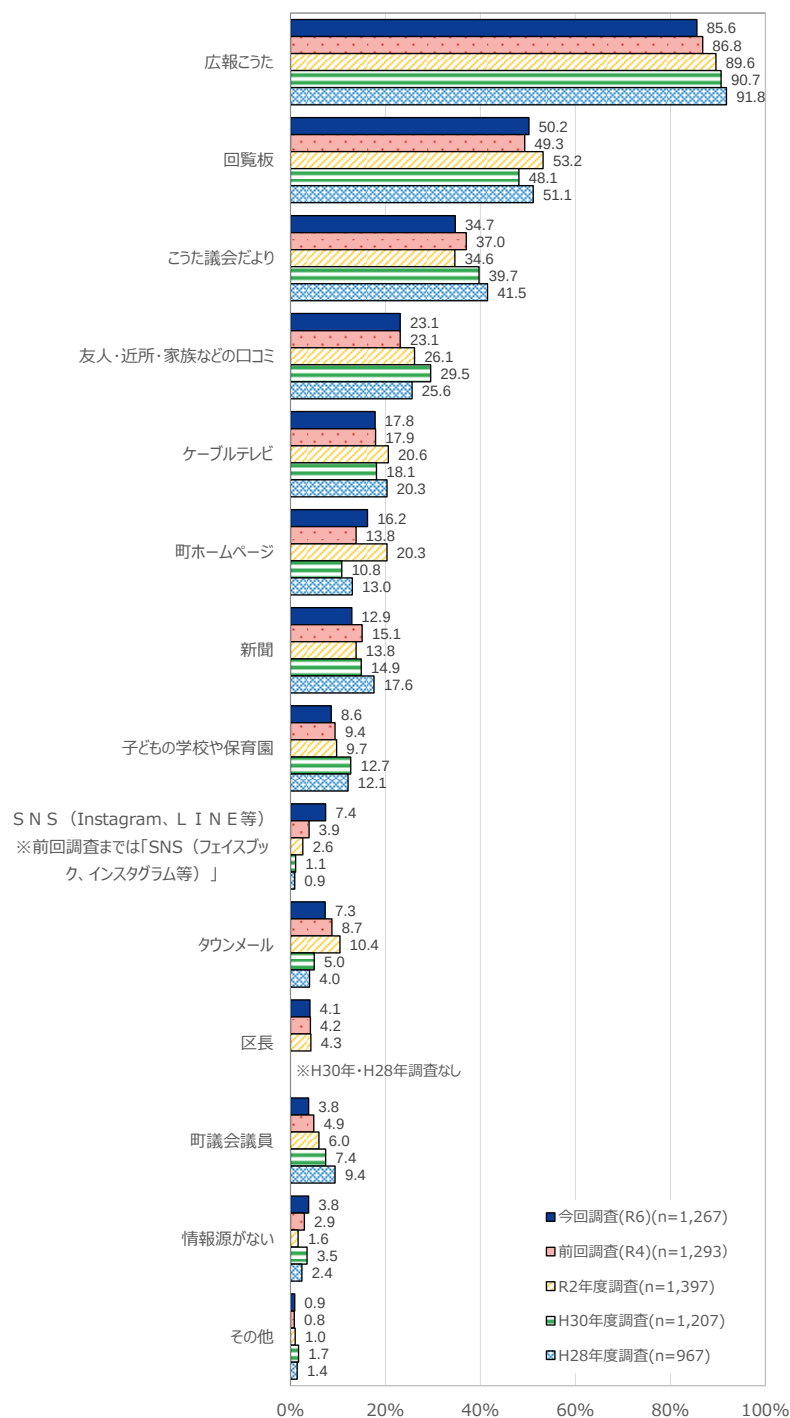
表 14 町政の情報源（性・年齢別）（複数回答）

区分		n	広報 こうた	回 覧 板	こうた 議会だより	友 人・ 近 所・ 家 族 な ど の こ み	ケ ー ブ ル テ レ ビ	町 ホ ー ム ペ ー ジ	新 聞	子 ど も の 学 校 や 保 育 園	（I n s t a g r a m、 L I N E 等）	区 長	町 議 会 議 員	タ ウ ン メ ー ル	そ の 他	情 報 源 が な い	無 回 答
全体		1,275	85.1	49.9	34.5	23.0	17.6	16.1	12.9	8.5	7.4	4.1	3.8	7.3	0.9	3.8	0.6
性別	男性	595	81.8	49.6	35.5	17.6	16.8	17.3	13.1	6.4	6.2	6.1	5.0	4.9	1.0	4.9	0.3
	女性	675	88.1	50.4	33.5	27.7	18.2	14.8	12.3	10.2	8.4	2.4	2.7	9.3	0.7	2.7	0.9
年齢別	18～29歳	132	68.9	23.5	16.7	29.5	6.8	7.6	6.8	3.0	9.8	0.0	0.0	2.3	0.8	12.9	0.0
	30～39歳	176	78.4	30.1	22.7	23.9	7.4	15.3	1.1	21.6	10.2	0.6	0.6	8.0	0.6	6.3	0.6
	40～49歳	202	84.7	42.6	30.7	24.3	14.4	16.3	4.5	23.8	11.9	3.0	2.0	11.9	1.0	4.5	0.5
	50～59歳	232	88.4	49.6	34.5	16.8	19.0	22.0	8.6	3.4	8.2	2.6	4.7	9.1	0.4	2.2	0.9
	60～64歳	99	88.9	54.5	41.4	22.2	16.2	19.2	10.1	1.0	5.1	3.0	5.1	8.1	1.0	3.0	0.0
	65～69歳	99	92.9	62.6	41.4	18.2	23.2	19.2	18.2	3.0	6.1	8.1	4.0	7.1	0.0	0.0	0.0
	70～74歳	103	97.1	70.9	43.7	23.3	23.3	14.6	21.4	3.9	3.9	6.8	5.8	6.8	0.0	0.0	1.0
	75歳以上	231	86.1	69.7	47.2	25.5	29.0	13.4	32.0	1.3	2.2	9.1	7.4	3.9	2.2	1.3	1.3

過去の調査をみると、上位3項目は、平成28年度調査から一貫して、「広報こうた」、「回覧板」、「こうた議会だより」となっています。このうち、最も高い割合の「広報こうた」については、平成28年度調査では91.8%、前回調査では、86.8%、今回調査では85.6%となり、平成28年度調査からは▲6.2ポイントと、減少傾向です。

一方で、選択肢の記載方法が変わったため一概には比較できませんが、「SNS（Instagram、LINE等）」については、平成28年度調査の0.9%から、今回調査では7.4%と6.5ポイント上昇しており、増加傾向にあります。

図16 町政の情報源（経年比較）（複数回答・無回答を除く）



5 総合計画各施策の満足度・重要度（問 10）

幸田町の総合計画の施策である 42 項目の取組について、それぞれ「現状の満足度」と「今後の重要度」を 5 段階でたずね、施策項目ごとに評価得点をつけて評価を行いました。評価得点は、それぞれの選択肢に対して次に示す点数をつけて算出しました。また、算出に当たっては、以下の式を使用しています。

【満足度の各選択肢に対する得点】

選択肢番号	満足度	得点
5	満足している	2
4	やや満足している	1
3	どちらともいえない	0
2	やや不満である	-1
1	不満である	-2

【重要度の各選択肢に対する得点】

選択肢番号	満足度	得点
5	重要である	2
4	やや重要である	1
3	どちらともいえない	0
2	あまり重要でない	-1
1	重要でない	-2

【評価得点の算出式】

$$\text{満足度} = \frac{(\text{「満足」} \times 2 \text{点}) + (\text{「やや満足」} \times 1 \text{点}) + (\text{「どちらともいえない」} \times 0 \text{点}) + (\text{「やや不満」} \times -1 \text{点}) + (\text{「不満」} \times -2 \text{点})}{\text{回答者数（「無回答」を除く）}}$$

$$\text{重要度} = \frac{(\text{「重要」} \times 2 \text{点}) + (\text{「やや重要」} \times 1 \text{点}) + (\text{「どちらともいえない」} \times 0 \text{点}) + (\text{「あまり重要でない」} \times -1 \text{点}) + (\text{「重要でない」} \times -2 \text{点})}{\text{回答者数（「無回答」を除く）}}$$

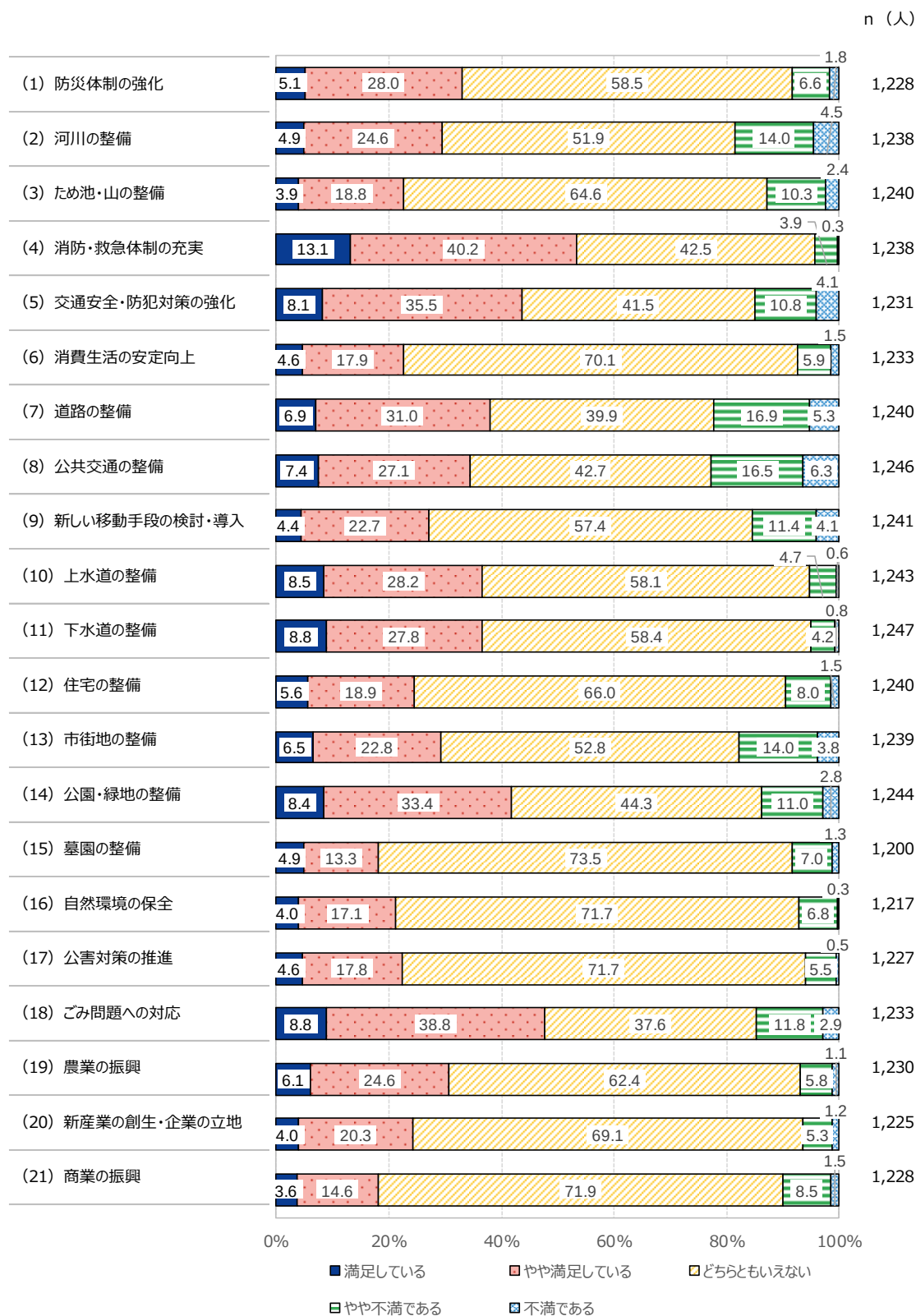
各施策における満足度、重要度、ギャップ値（「重要度」－「満足度」）について、評点および順位を一覧にしました。各々の上位5項目を太字（網掛け）で、下位5項目を白太字（背景黒）で表示しています。

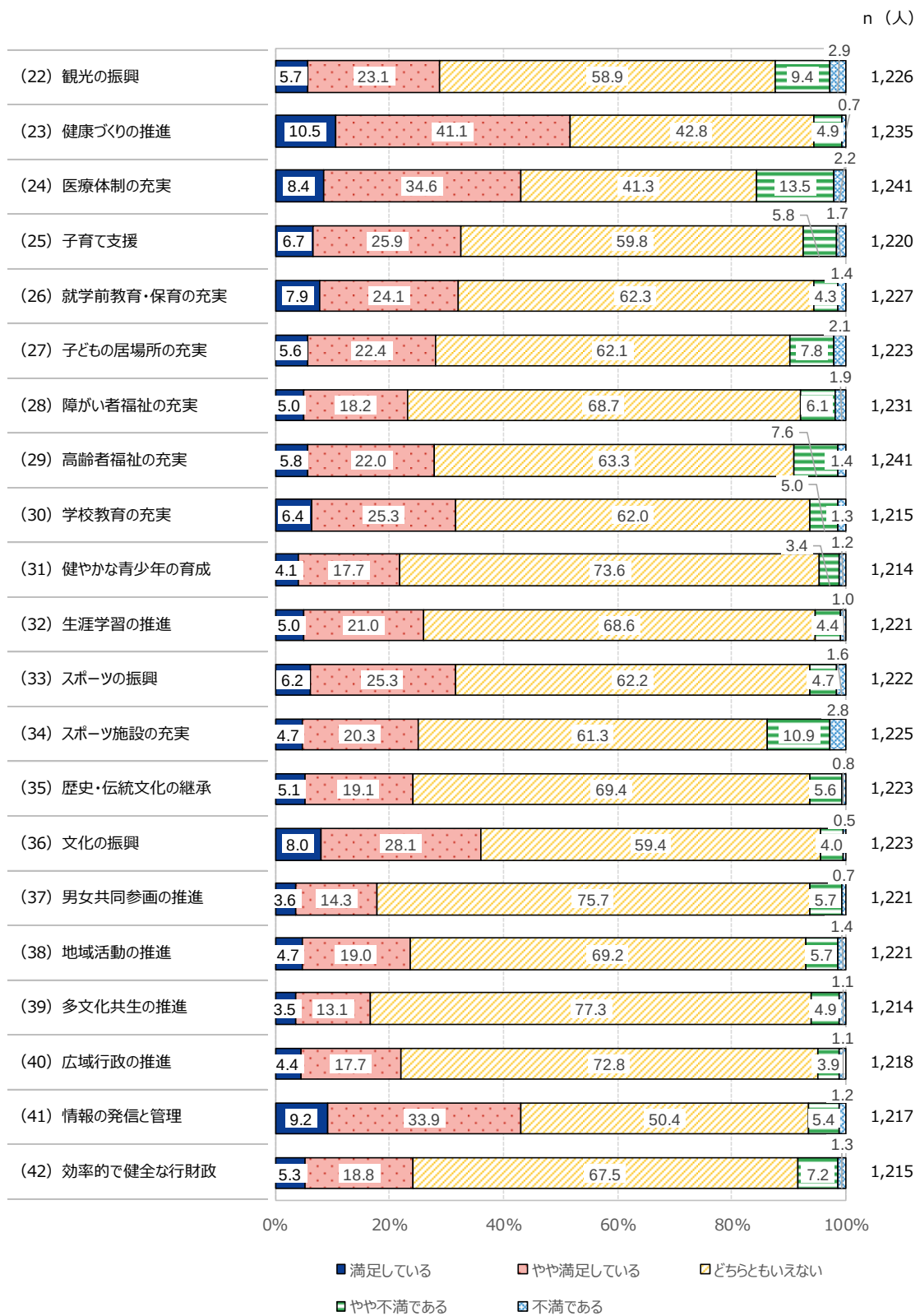
表 15 総合計画各施策の満足度・重要度・ギャップ値

施策		満足度		重要度		ギャップ値	
		ポイント	順位	ポイント	順位	ポイント	順位
安全・安心	(1) 防災体制の強化	0.28	16	1.31	2	1.03	2
	(2) 河川の整備	0.11	40	1.18	5	1.07	1
	(3) ため池・山の整備	0.11	40	0.98	13	0.87	6
	(4) 消防・救急体制の充実	0.62	1	1.23	4	0.61	21
	(5) 交通安全・防犯対策の強化	0.33	11	1.33	1	1.00	3
	(6) 消費生活の安定向上	0.18	29	0.82	24	0.64	19
	(7) 道路の整備	0.17	32	1.09	7	0.92	4
	(8) 公共交通の整備	0.13	38	0.90	18	0.78	9
	(9) 新しい移動手段の検討・導入	0.12	39	0.85	21	0.73	12
	(10) 上水道の整備	0.39	5	1.04	9	0.65	18
	(11) 下水道の整備	0.40	4	1.05	8	0.65	17
	(12) 住宅の整備	0.19	27	0.86	20	0.67	15
	(13) 市街地の整備	0.14	34	0.81	25	0.67	14
	(14) 公園・緑地の整備	0.34	8	0.83	23	0.49	25
	(15) 墓園の整備	0.13	35	0.32	42	0.18	41
環境	(16) 自然環境の保全	0.18	31	0.60	33	0.43	31
	(17) 公害対策の推進	0.20	23	0.74	27	0.54	24
	(18) ごみ問題への対応	0.39	7	1.14	6	0.75	10
産業振興	(19) 農業の振興	0.29	15	0.75	26	0.47	29
	(20) 新産業の創生・企業の立地	0.21	21	0.68	28	0.47	27
	(21) 商業の振興	0.10	42	0.65	30	0.55	23
	(22) 観光の振興	0.19	28	0.58	35	0.39	33
健康・福祉	(23) 健康づくりの推進	0.56	2	0.96	15	0.40	32
	(24) 医療体制の充実	0.33	9	1.25	3	0.91	5
	(25) 子育て支援	0.30	13	0.99	12	0.69	13
	(26) 就学前教育・保育の充実	0.33	10	0.93	17	0.60	22
	(27) 子どもの居場所の充実	0.22	20	1.01	11	0.79	7
	(28) 障がい者福祉の充実	0.18	30	0.93	16	0.75	11
	(29) 高齢者福祉の充実	0.23	18	1.03	10	0.79	8
教育・文化	(30) 学校教育の充実	0.30	12	0.97	14	0.66	16
	(31) 健やかな青少年の育成	0.20	24	0.67	29	0.47	28
	(32) 生涯学習の推進	0.25	17	0.61	32	0.37	35
	(33) スポーツの振興	0.30	14	0.48	38	0.19	40
	(34) スポーツ施設の充実	0.13	36	0.62	31	0.48	26
	(35) 歴史・伝統文化の継承	0.22	19	0.48	40	0.26	38
	(36) 文化の振興	0.39	6	0.56	36	0.16	42
協働・参画	(37) 男女共同参画の推進	0.14	33	0.49	37	0.35	36
	(38) 地域活動の推進	0.20	25	0.48	38	0.29	37
	(39) 多文化共生の推進	0.13	37	0.39	41	0.26	39
	(40) 広域行政の推進	0.21	22	0.59	34	0.38	34
	(41) 情報の発信と管理	0.45	3	0.88	19	0.43	30
	(42) 効率的で健全な行財政	0.20	26	0.83	22	0.64	20
平均		0.25		0.83		0.58	

施策ごとの満足度についてみていくと、ポイントが高い上位 5 項目は、「(4) 消防・救急体制の充実」「(23) 健康づくりの推進」「(41) 情報の発信と管理」「(11) 下水道の整備」「(10) 上水道の整備」となっています。

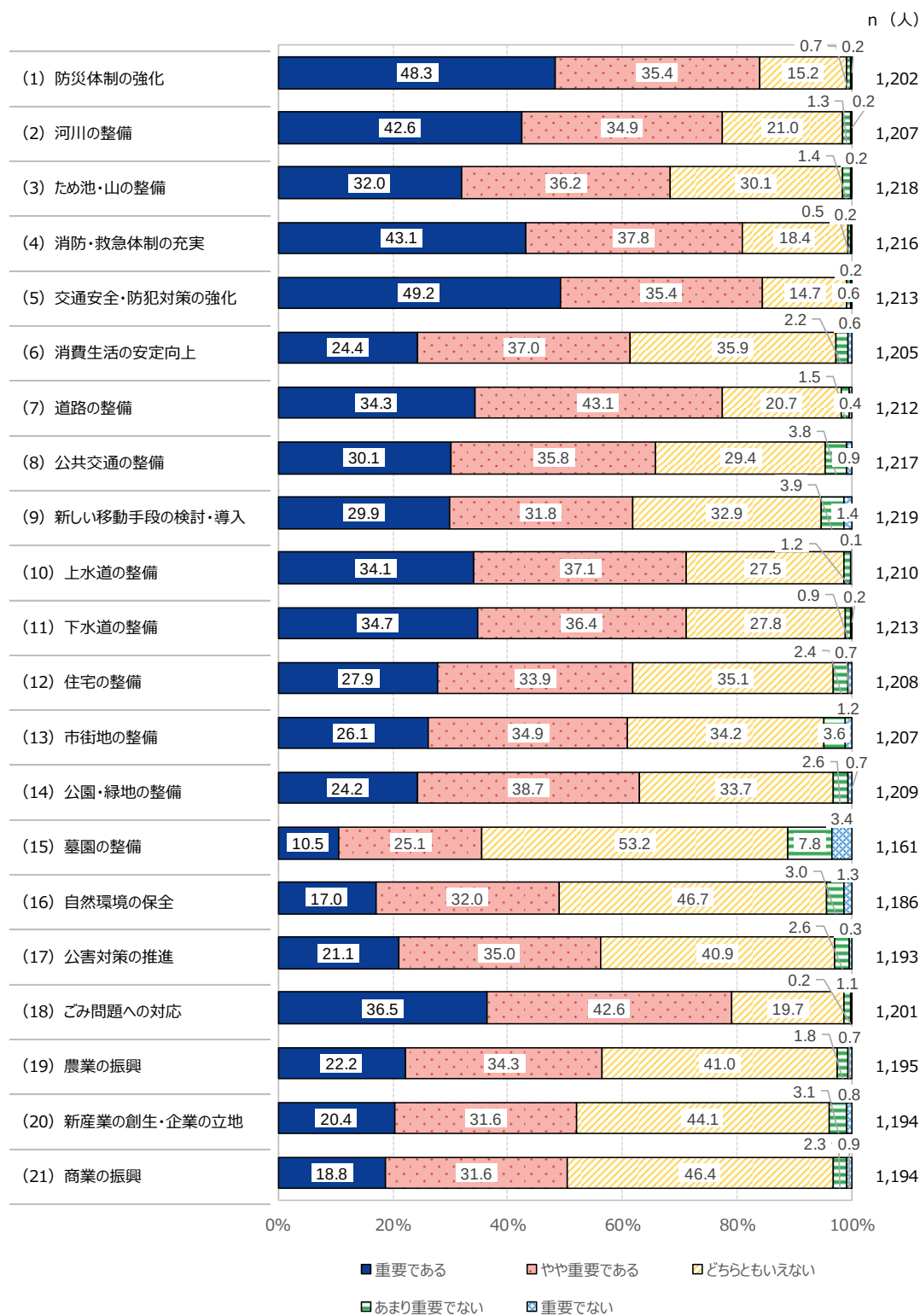
図 17 総合計画各施策の満足度（無回答を除く）





次に、施策ごとの重要度についてみていくと、ポイントが高い上位 5 項目は、「(5) 交通安全・防犯対策の強化」「(1) 防災体制の強化」「(24) 医療体制の充実」「(4) 消防・救急体制の充実」「(2) 河川の整備」となっています。

図 18 総合計画各施策の重要度（無回答を除く）



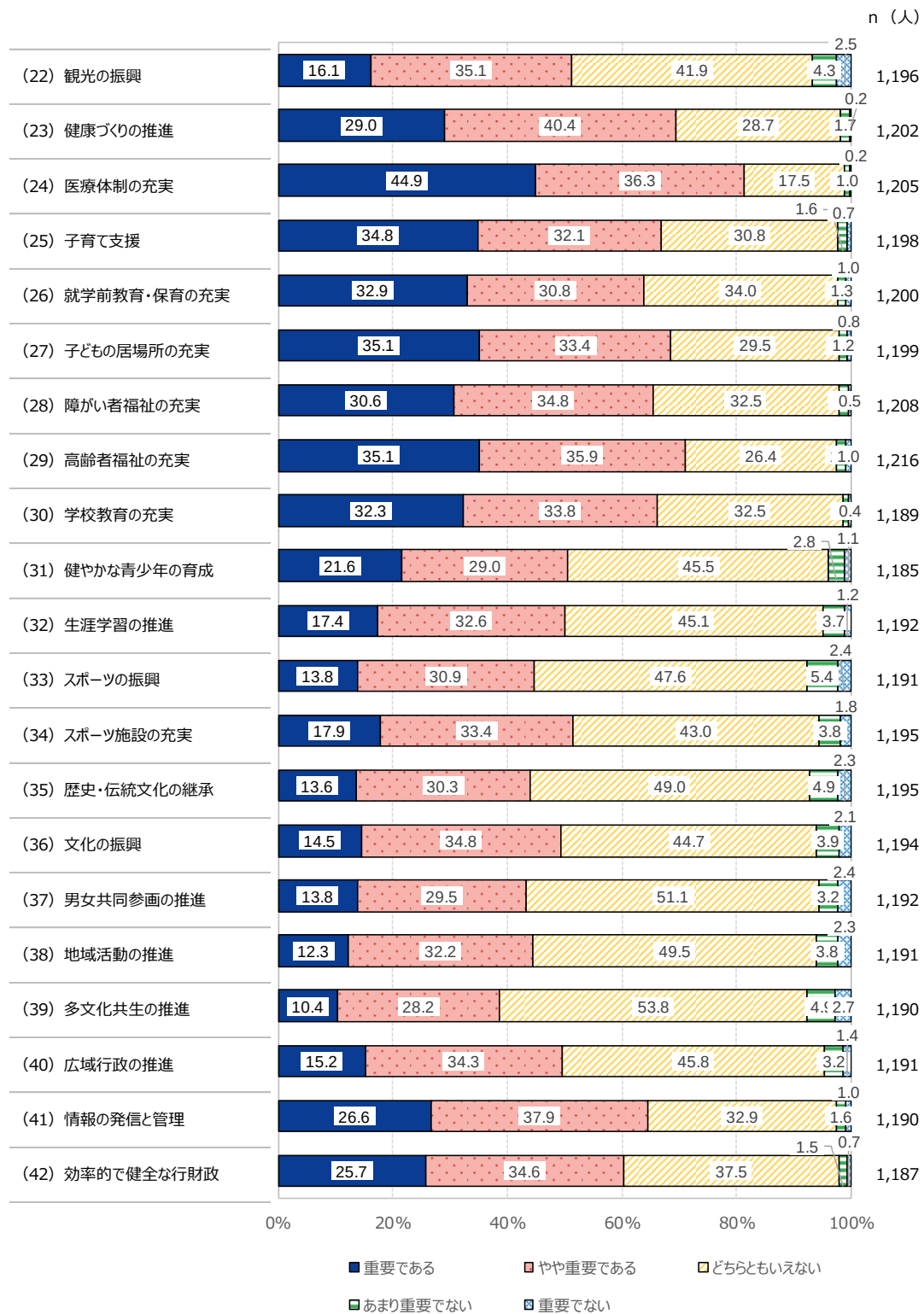


図 19 は、施策ごとの相対的位置づけが分かるように、満足度、重要度の高低により 4 つの領域に分けました。施策ごとの位置づけによって、図 20 のような対応が求められると考えられます。ただし、今回の結果だけでなく、将来性や緊急性も考慮した上で対応していく必要があります。

図 19 の平均値の補助線から左上（A の領域）にある項目は、重要度が高いにもかかわらず満足度が低い施策であり、住民ニーズに応えられていない分野と考えられます。詳しくは、図 21 をご覧ください。

図 19 総合計画施策の満足度・重要度（散布図）

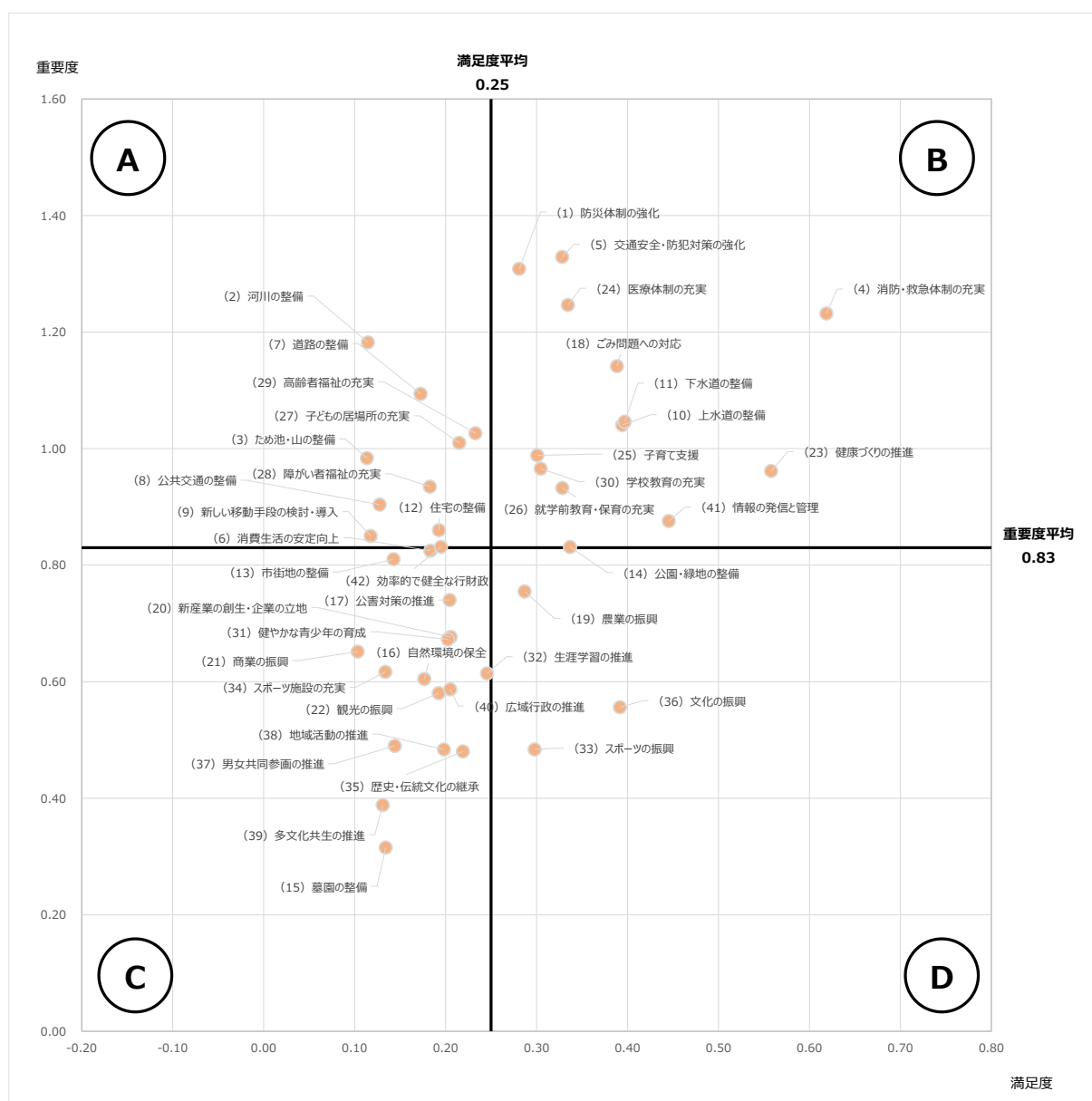


図 20 図 19 の見方



図 21 領域ごとの項目

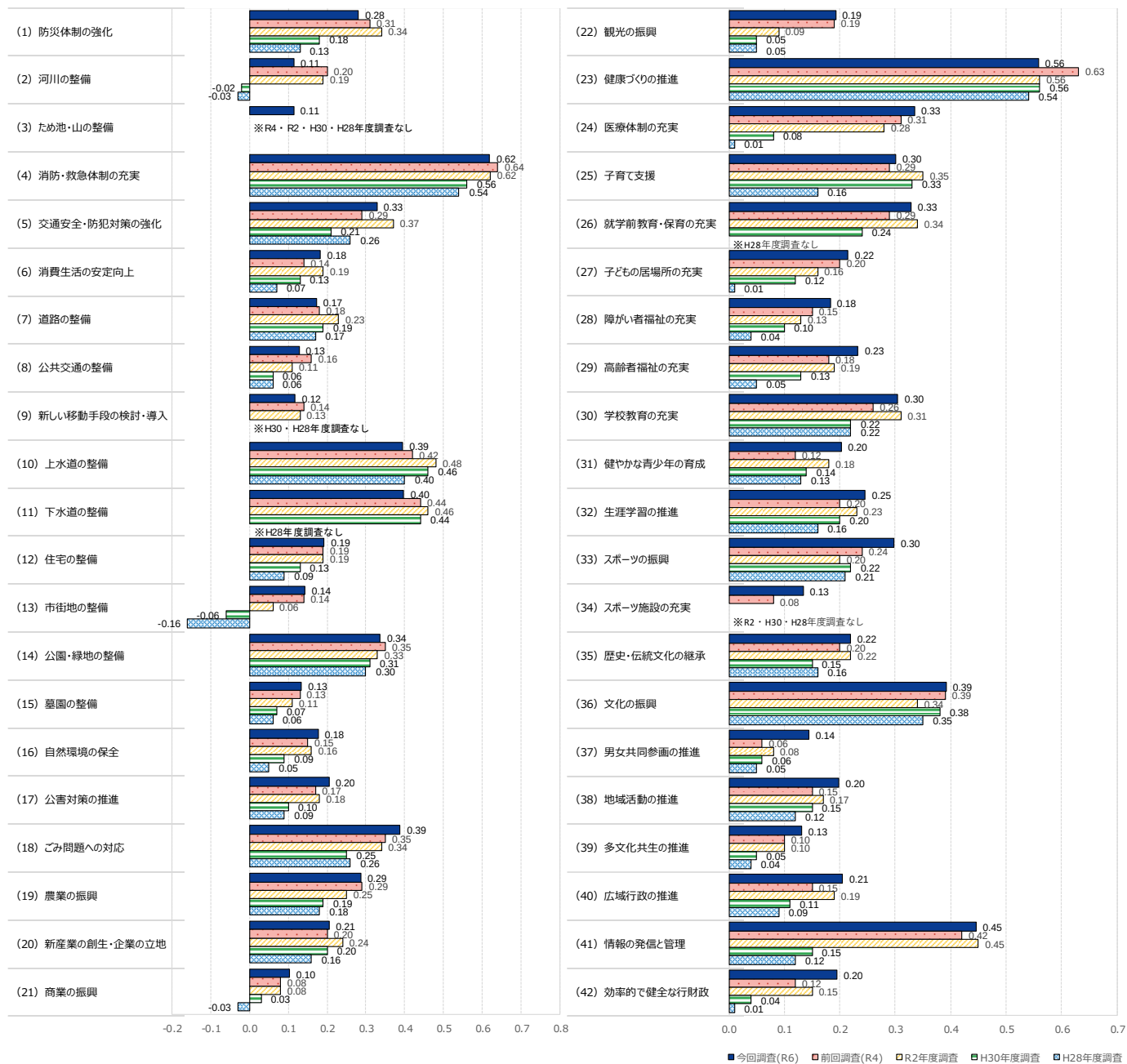
高い ↑ 重要度 低い	A：重要課題 (2) 河川の整備 (3) ため池・山の整備 (7) 道路の整備 (8) 公共交通の整備 (9) 新しい移動手段の検討・導入 (12) 住宅の整備 (27) 子どもの居場所の充実 (28) 障がい者福祉の充実 (29) 高齢者福祉の充実	B：維持領域 (1) 防災体制の強化 (4) 消防・救急体制の充実 (5) 交通安全・防犯対策の強化 (10) 上水道の整備 (11) 下水道の整備 (18) ごみ問題への対応 (23) 健康づくりの推進 (24) 医療体制の充実 (25) 子育て支援 (26) 就学前教育・保育の充実 (30) 学校教育の充実 (41) 情報の発信と管理
	C：見直し領域 (6) 消費生活の安定向上 (13) 市街地の整備 (15) 墓園の整備 (16) 自然環境の保全 (17) 公害対策の推進 (20) 新産業の創生・企業の立地 (21) 商業の振興 (22) 観光の振興 (31) 健やかな青少年の育成 (34) スポーツ施設の充実 (35) 歴史・伝統文化の継承 (37) 男女共同参画の推進 (38) 地域活動の推進 (39) 多文化共生の推進 (40) 広域行政の推進	D：縮小領域 (19) 農業の振興 (33) スポーツの振興 (36) 文化の振興

満足度
→高い

※ (14) 公園・緑地の整備、(32) 生涯学習の推進、(42) 効率的で健全な行財政に関しては、満足度もしくは重要度が平均と同じであったため、図 21 には記載していません。

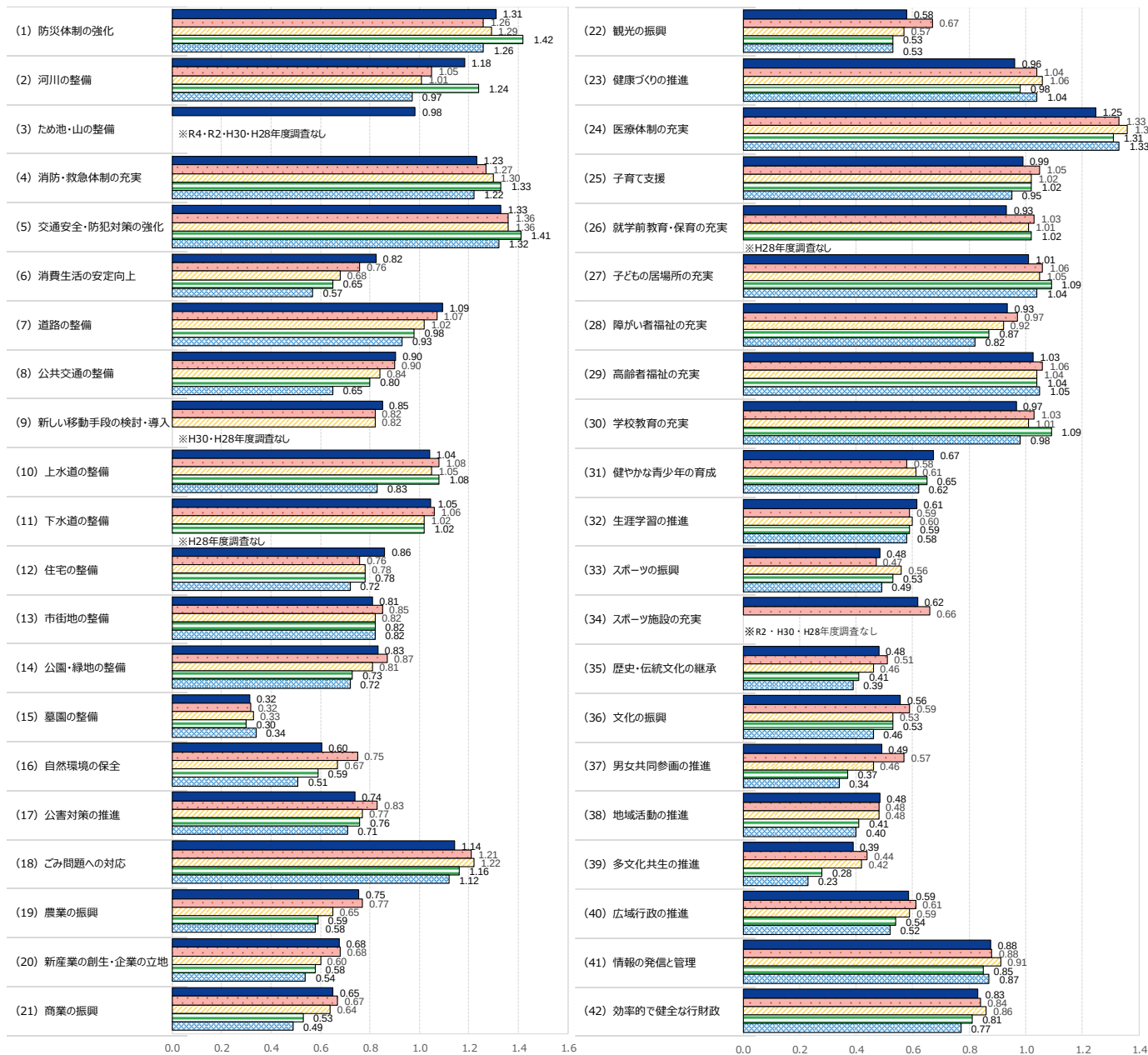
過去の調査から満足度のポイントを経年的に比較したとき、平成 28 年度調査から令和 6 年度調査の間に 0.3 ポイント以上増加したのは、「(13) 市街地の整備」、「(24) 医療体制の充実」、「(41) 情報の発信と管理」の 3 つの施策となります。

図 22 満足度（経年比較）（無回答を除く）



過去の調査から重要度のポイントを経年的に比較したとき、平成 28 年度調査から令和 6 年度調査の間に 0.2 ポイント以上増加したのは、「(2) 河川の整備」、「(6) 消費生活の安定向上」、「(8) 公共交通の整備」、「(10) 上水道の整備」の 4 つの施策となっています。

図 23 重要度 経年比較（無回答を除く）



※以下の調査項目については、年度により調査を実施していません

平成28年度調査	平成30年度調査	令和2年度調査	令和4年度調査
(3) ため池・山の整備 (「河川・ため池・山の整備」として調査。今年度は「(2) 河川の整備」として集計)			
(9) 新しい移動手段の検討・導入 (11) 下水道の整備 (「上下水道の整備」として調査。「(10) 上水道の整備」として集計) (26) 就学前教育・保育の充実 (34) スポーツ施設の充実	(9) 新しい移動手段の検討・導入 (34) スポーツ施設の充実	(34) スポーツ施設の充実	

6 総合計画各施策の優先度（問 11）

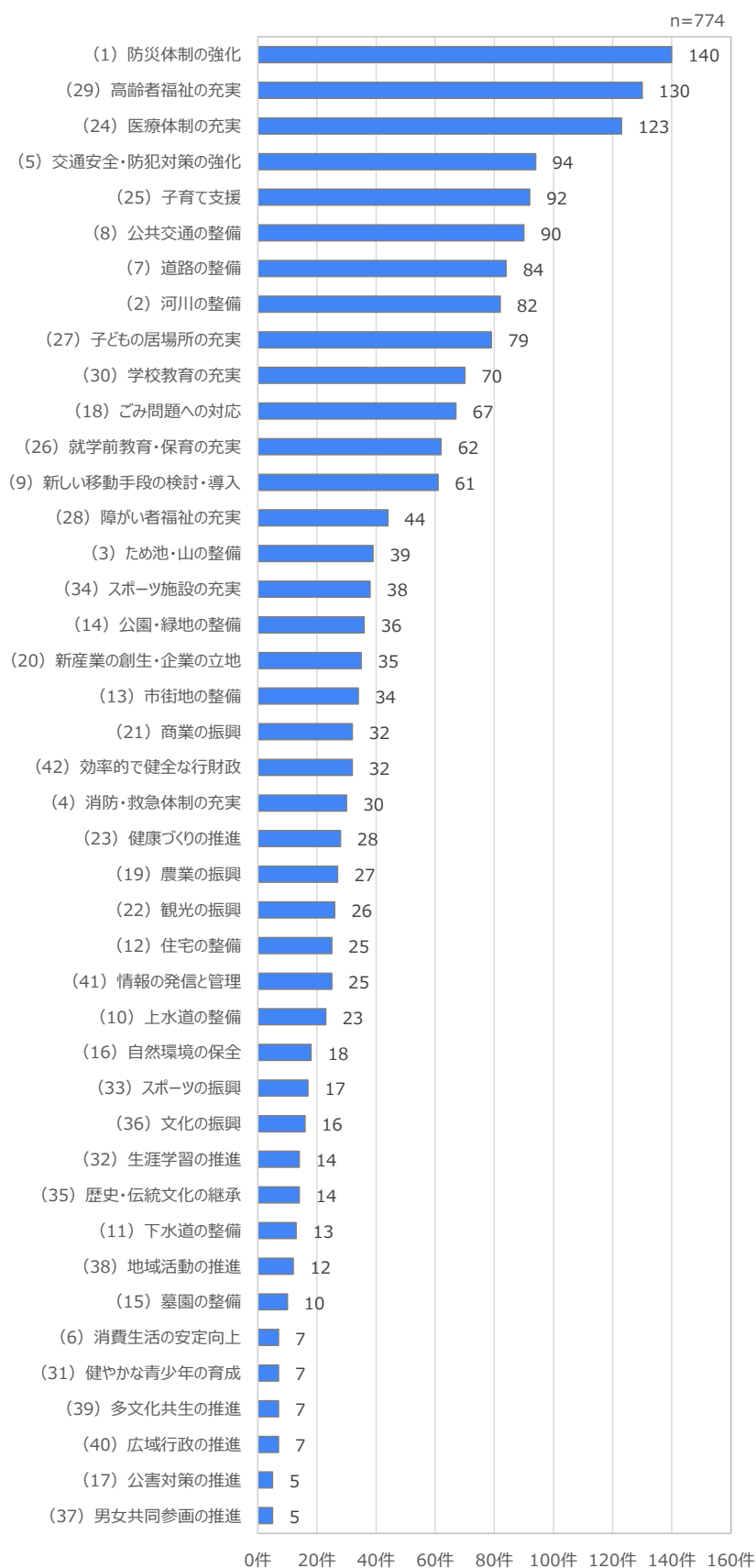
総合計画の施策である 42 項目の施策のうち、特に力を入れてほしいものを尋ねたところ、「（1）防災体制の強化」が 18.1%で最も高く、次いで「（29）高齢者福祉の充実」が 16.8%、「（24）医療体制の充実」が 15.9%となっています。

表 16 総合計画各施策の優先度（複数回答）（無回答を除く）

※回答者数：774人

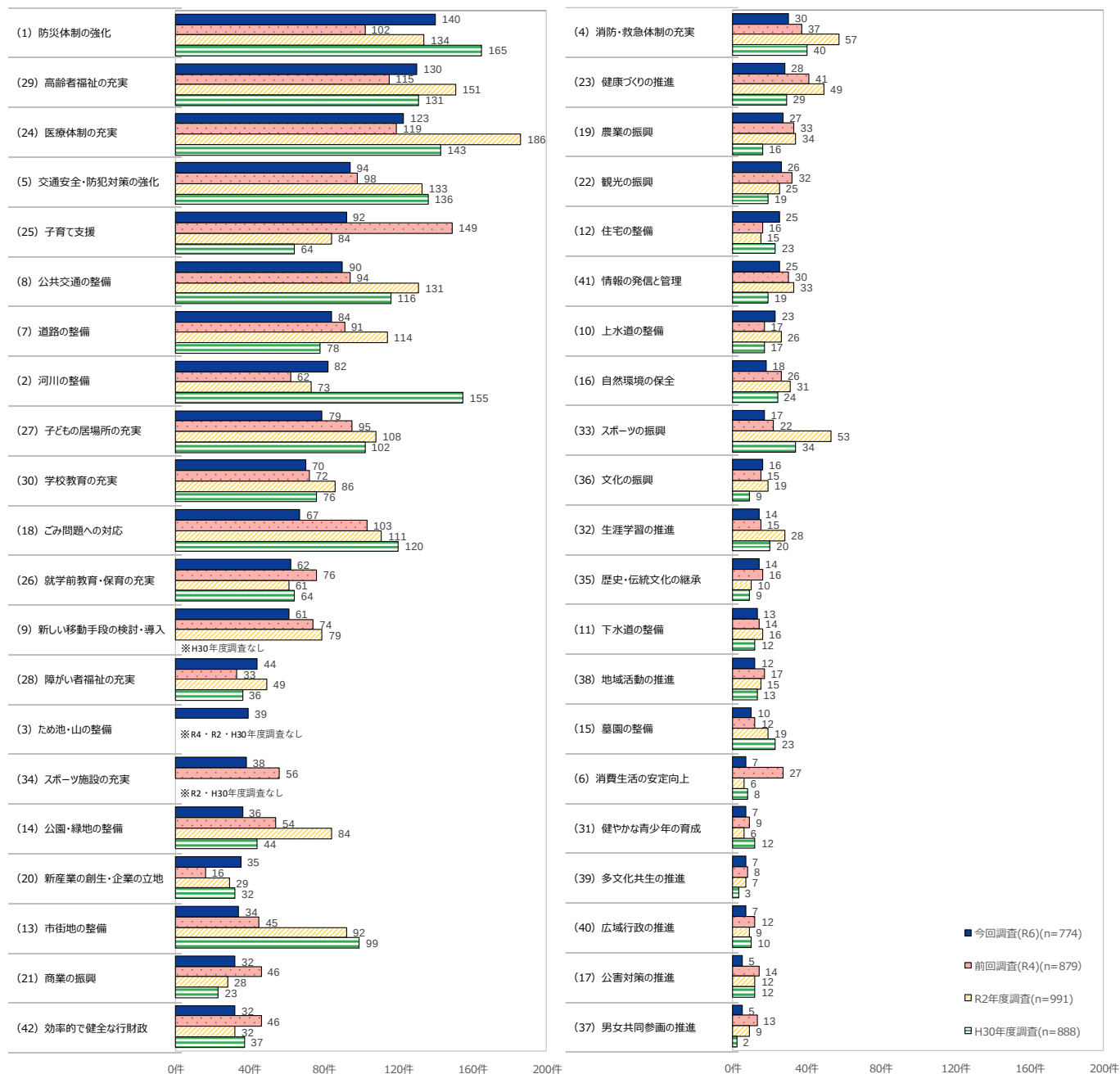
	件数	%
(1) 防災体制の強化	140	18.1%
(29) 高齢者福祉の充実	130	16.8%
(24) 医療体制の充実	123	15.9%
(5) 交通安全・防犯対策の強化	94	12.1%
(25) 子育て支援	92	11.9%
(8) 公共交通の整備	90	11.6%
(7) 道路の整備	84	10.9%
(2) 河川の整備	82	10.6%
(27) 子どもの居場所の充実	79	10.2%
(30) 学校教育の充実	70	9.0%
(18) ごみ問題への対応	67	8.7%
(26) 就学前教育・保育の充実	62	8.0%
(9) 新しい移動手段の検討・導入	61	7.9%
(28) 障がい者福祉の充実	44	5.7%
(3) ため池・山の整備	39	5.0%
(34) スポーツ施設の充実	38	4.9%
(14) 公園・緑地の整備	36	4.7%
(20) 新産業の創生・企業の立地	35	4.5%
(13) 市街地の整備	34	4.4%
(21) 商業の振興	32	4.1%
(42) 効率的で健全な行財政	32	4.1%
(4) 消防・救急体制の充実	30	3.9%
(23) 健康づくりの推進	28	3.6%
(19) 農業の振興	27	3.5%
(22) 観光の振興	26	3.4%
(12) 住宅の整備	25	3.2%
(41) 情報の発信と管理	25	3.2%
(10) 上水道の整備	23	3.0%
(16) 自然環境の保全	18	2.3%
(33) スポーツの振興	17	2.2%
(36) 文化の振興	16	2.1%
(32) 生涯学習の推進	14	1.8%
(35) 歴史・伝統文化の継承	14	1.8%
(11) 下水道の整備	13	1.7%
(38) 地域活動の推進	12	1.6%
(15) 墓園の整備	10	1.3%
(6) 消費生活の安定向上	7	0.9%
(31) 健やかな青少年の育成	7	0.9%
(39) 多文化共生の推進	7	0.9%
(40) 広域行政の推進	7	0.9%
(17) 公害対策の推進	5	0.6%
(37) 男女共同参画の推進	5	0.6%

図 24 総合計画各施策の優先度（複数回答）（無回答を除く）



過去の調査から優先度を経年的にみると、平成 30 年度調査から令和 6 年度調査の間に、大きく優先度が高まったものはありませんでした。一方、50 件以上低下しているのは、「(2)河川の整備」(平成 30 年度調査比▲73 件)、
「(13)市街地の整備」(平成 30 年度調査比▲65 件)、「(18) ごみ問題への対応」(平成 30 年度調査比▲
53 件)となっています。

図 25 総合計画各施策の優先度（経年比較）（無回答を除く）



※以下の調査項目については、年度により調査を実施していません

平成30年度調査	令和2年度調査	令和4年度調査
(3) ため池・山の整備		
((「河川・ため池・山の整備」として調査。今年度は「(2) 河川の整備」として集計))		
(9) 新しい移動手段の検討・導入	(34) スポーツ施設の充実	
(34) スポーツ施設の充実		

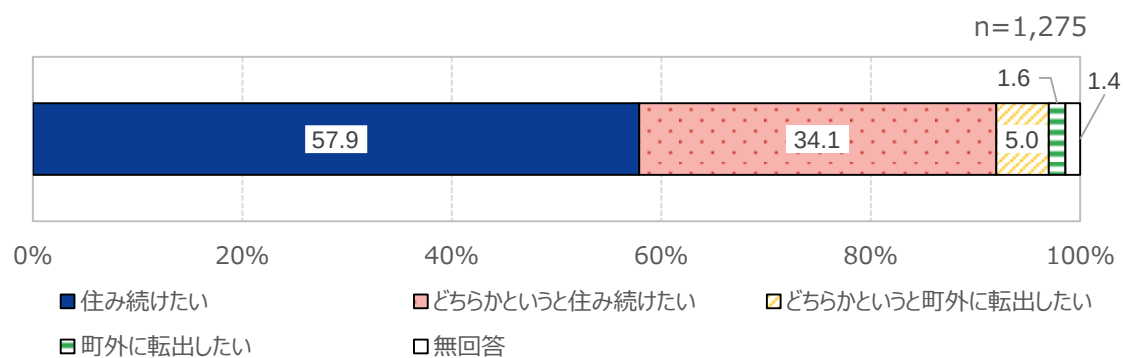
7 幸田町に住み続けたいか（問 12）

幸田町への定住の意向について、「住み続けたい」が 57.9%と最も多く、「どちらかというに住み続けたい」の 34.1%と合わせると 92.0%の人が幸田町での定住を希望しています。

表 17 幸田町に住み続けたいか

	件数	%
住み続けたい	738	57.9%
どちらかというに住み続けたい	435	34.1%
どちらかという町外に転出したい	64	5.0%
町外に転出したい	20	1.6%
無回答	18	1.4%
合計	1,275	100.0%

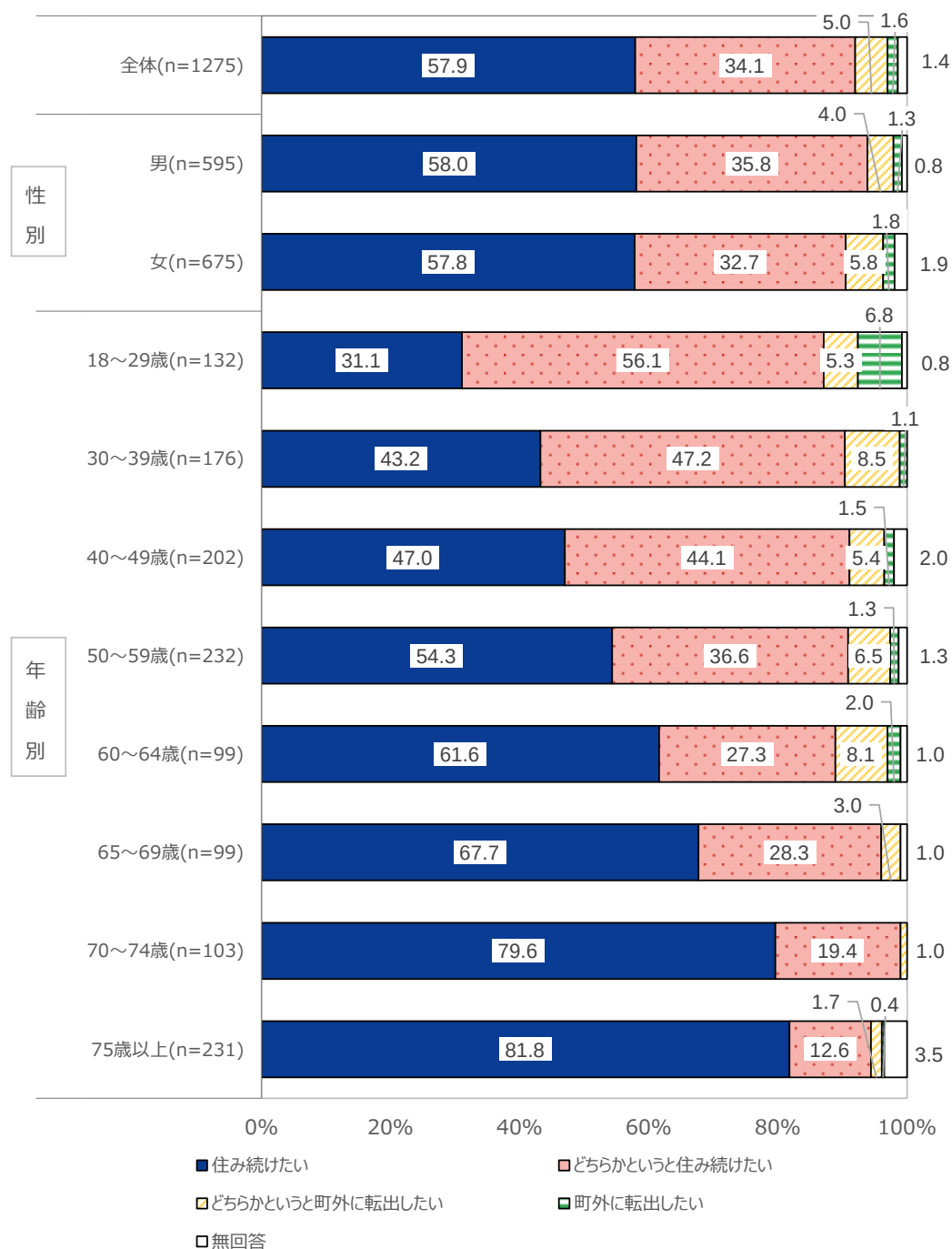
図 26 幸田町に住み続けたいか



性別で比較すると、ほとんど差は認められません。

年齢別で比較すると、年齢が高くなるほど、「住み続けたい」の割合も高くなる傾向にあります。「住み続けたい」と「どちらかというに住み続けたい」を合わせた割合は70～74歳で99.0%と最も高くなっています。一方、18～29歳では87.2%と最も低く、次いで、60～64歳で88.9%となっています。

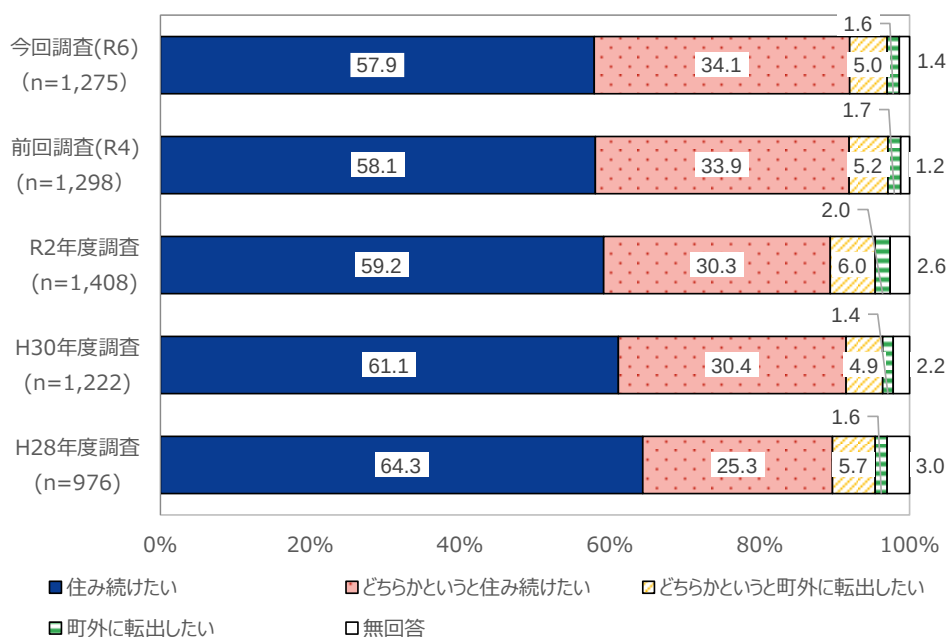
図 27 幸田町に住み続けたいか（性・年齢別）



過去の調査と比較すると、「住み続けたい」は平成 28 年度調査の 64.3%から徐々に低下し、今回の令和 6 年度調査では 57.9%となっています。平成 28 年度調査からは、6.4 ポイント低下しています。

「住み続けたい」と「どちらかというに住み続けたい」を合わせると、平成 28 年度調査の 89.6%から、今回調査では 92.0%となっています。

図 28 幸田町に住み続けたいか（経年比較）



8 幸田町のよいところは（問 13）

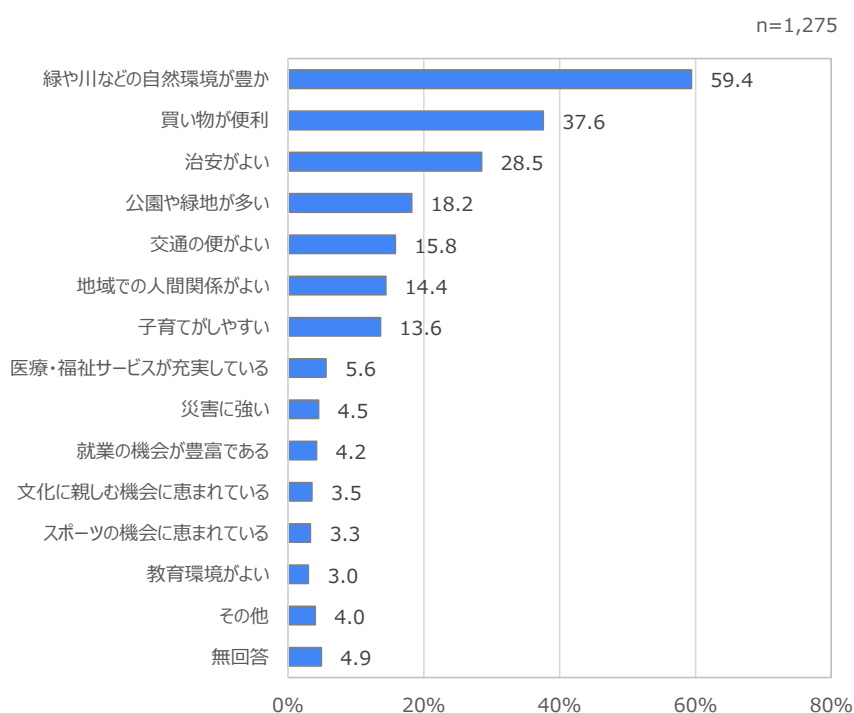
幸田町のよいところを尋ねたところ、「緑や川などの自然環境が豊か」が 59.4%と最も多く、次いで「買い物が便利」が 37.6%、「治安がよい」が 28.5%となっています。

表 18 幸田町のよいところは（複数回答）

回答者数：1,275人

	件数	%
緑や川などの自然環境が豊か	757	59.4%
買い物が便利	479	37.6%
治安がよい	363	28.5%
公園や緑地が多い	232	18.2%
交通の便がよい	201	15.8%
地域での人間関係がよい	184	14.4%
子育てがしやすい	173	13.6%
医療・福祉サービスが充実している	71	5.6%
災害に強い	57	4.5%
就業の機会が豊富である	53	4.2%
文化に親しむ機会に恵まれている	45	3.5%
スポーツの機会に恵まれている	42	3.3%
教育環境がよい	38	3.0%
その他	51	4.0%
無回答	62	4.9%
合計	2,808	

図 29 幸田町のよいところは（複数回答）



性別で比較すると、男女とも「緑や川などの自然環境が豊か」、「買い物が便利」、「治安がよい」の3項目が上位となっており、大きな差はみられませんでした。が、「子育てがしやすい」は男性が10.1%、女性が16.7%、で女性が6.6ポイント上回っています。

年齢別で比較すると、いずれの年代でも「緑や川などの自然環境が豊か」が最も高くなっています。特に60～64歳では、「緑や川などの自然環境が豊か」が73.7%で、他の世代と比べても高くなっています。30～39歳から70～74歳の年代では、上位3項目は全体と同じですが、18～29歳では「緑や川などの自然環境が豊か」、「買い物が便利」の他、「公園や緑地が多い」が上位となっています。また、75歳以上では、「緑や川などの自然環境が豊か」、「買い物が便利」の他「地域での人間関係がよい」が上位3項目のうちに入っています。

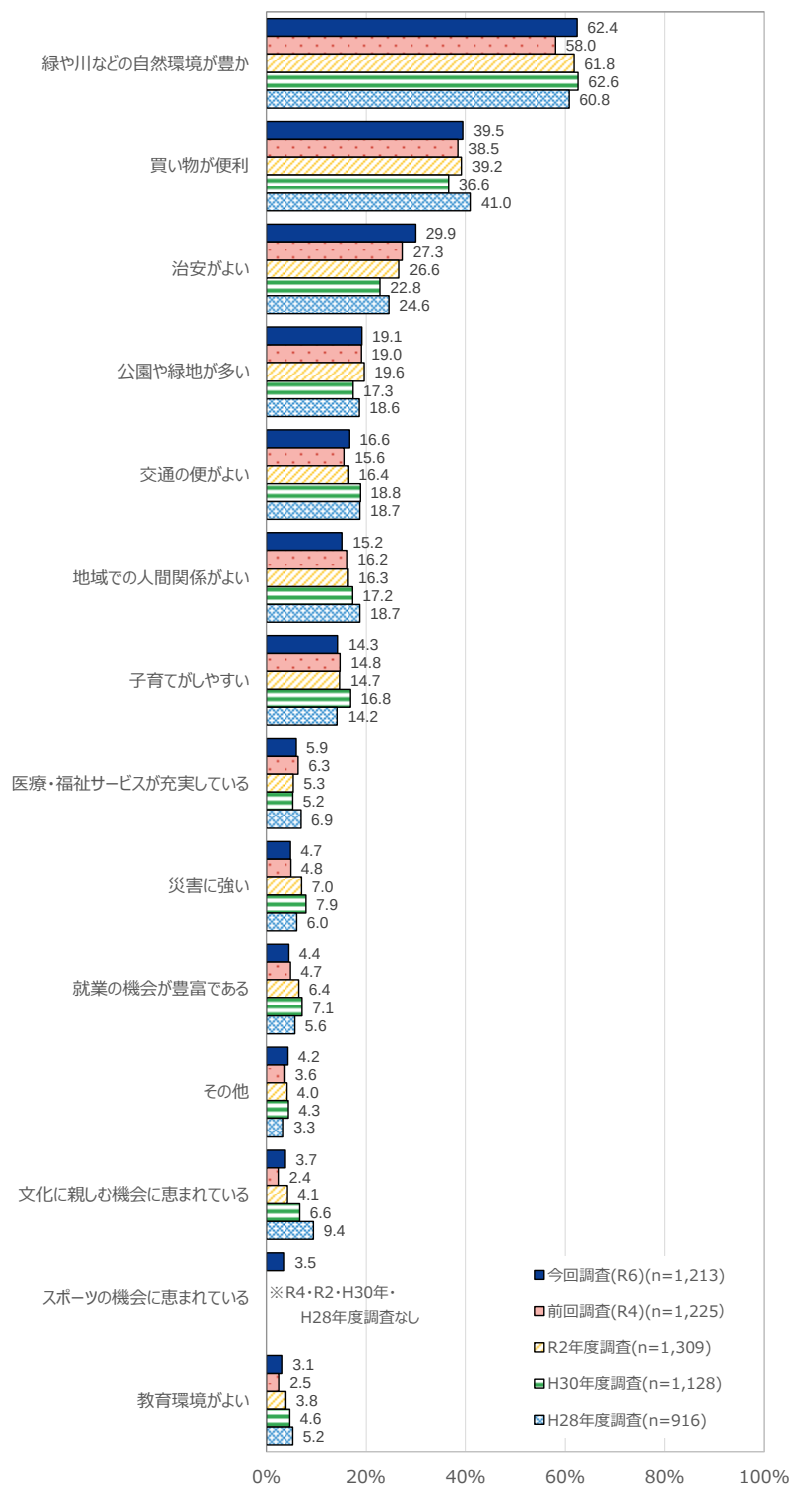
小学校区別で比較しても、上位3項目は全体と変わりません。坂崎小学校区は「子育てがしやすい」も上位3項目に含まれています。また、坂崎小学校区では、「買い物が便利」が19.6%、「交通の便がよい」が6.5%、「医療・福祉サービスが充実している」が1.9%で、これらは6小学校区中最も低くなっています。一方で、中央小学校区では、「買い物が便利」が50.6%で、他の小学校区より高くなっています。また、荻谷小学校区では、「交通の便がよい」が21.3%で、相対的に高くなっています。「医療・福祉サービスが充実している」が相対的に高いのは、豊坂小学校区（7.9%）ですが、本項目に関しては、いずれの小学校区も低い割合となっています。

表 19 幸田町のよいところは（年齢・校区别）（複数回答）

区分	合計	緑や川などの自然環境が豊か	買い物が便利	治安がよい	公園や緑地が多い	交通の便がよい	地域での人間関係がよい	子育てがしやすい	医療・福祉サービスが充実している	災害に強い	就業の機会が豊富である	文化に親しむ機会に恵まれている	スポーツの機会に恵まれている	教育環境がよい	その他	無回答
全体	1,275	59.4	37.6	28.5	18.2	15.8	14.4	13.6	5.6	4.5	4.2	3.5	3.3	3.0	4.0	4.9
性別	男	595	57.6	37.1	29.2	18.3	18.5	15.0	10.1	4.9	4.9	4.0	3.2	3.2	4.0	4.7
	女	675	61.2	37.6	27.9	18.1	13.5	13.9	16.7	6.2	4.0	3.6	3.1	3.4	2.8	5.0
年齢別	18～29歳	132	57.6	28.0	35.6	30.3	18.2	9.1	12.9	5.3	7.6	2.3	3.0	2.3	4.5	2.3
	30～39歳	176	48.9	33.5	31.3	25.0	17.0	8.5	29.0	2.8	4.5	2.8	1.1	2.3	4.0	3.4
	40～49歳	202	63.4	33.2	35.1	17.3	19.3	12.4	26.2	2.5	2.0	2.5	2.0	1.5	5.4	2.0
	50～59歳	232	63.4	32.3	27.2	11.2	15.1	14.7	13.4	0.9	2.6	6.9	4.3	1.3	1.7	4.7
	60～64歳	99	73.7	42.4	24.2	12.1	10.1	12.1	7.1	1.0	3.0	6.1	5.1	1.0	1.0	6.1
	65～69歳	99	55.6	43.4	22.2	22.2	15.2	15.2	7.1	13.1	3.0	3.0	2.0	4.0	2.0	9.1
	70～74歳	103	66.0	54.4	29.1	16.5	17.5	14.6	2.9	11.7	2.9	4.9	3.9	3.9	1.0	1.9
	75歳以上	231	53.2	43.3	22.1	15.2	13.0	23.8	1.7	11.3	8.7	4.3	6.1	8.7	2.6	9.1
校区别	坂崎	107	68.2	19.6	34.6	17.8	6.5	17.8	19.6	1.9	4.7	4.7	2.8	5.6	4.7	5.6
	幸田	388	58.0	45.4	30.2	19.3	17.0	10.8	14.2	7.0	4.6	2.1	4.1	2.1	3.4	4.1
	中央	245	53.5	50.6	24.9	20.4	15.9	15.9	14.3	4.1	4.5	4.5	5.7	3.7	5.7	3.7
	荻谷	169	60.4	36.1	27.2	17.8	21.3	13.6	8.9	4.7	5.9	6.5	1.2	2.4	1.8	4.7
	深溝	184	58.7	21.7	23.9	17.9	19.0	17.4	11.4	5.4	3.8	3.3	5.4	2.2	0.5	6.5
	豊坂	164	67.1	31.1	32.9	14.0	11.0	16.5	15.9	7.9	3.0	6.7	1.8	3.0	4.3	3.7

過去の調査をみると、平成 28 年度から、上位 3 項目は、「緑や川などの自然環境が豊か」、「買い物が便利」、「治安が良い」となっており、顕著な変化は見られません。

図 30 幸田町のよいところは（経年比較）（複数回答）（無回答を除く）



※前回調査までは、「文化やスポーツの機会に恵まれている」として調査。今年度は「文化に親しむ機会に恵まれている」として集計

9 幸田町の悪いところは（問 14）

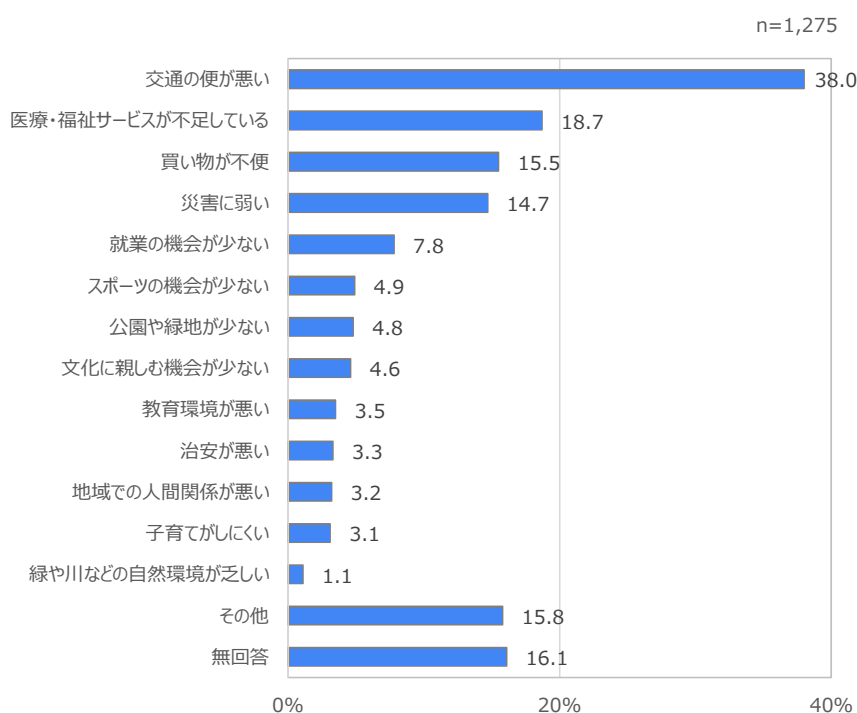
幸田町の悪いところを尋ねたところ、「交通の便が悪い」が 38.0%と最も多く、次いで「医療・福祉サービスが不足している」が 18.7%、「買い物不便」が 15.5%となっています。

表 20 幸田町の悪いところは（複数回答）

回答者数：1,275人

	件数	%
交通の便が悪い	484	38.0%
医療・福祉サービスが不足している	239	18.7%
買い物が不便	198	15.5%
災害に弱い	187	14.7%
就業の機会が少ない	100	7.8%
スポーツの機会が少ない	62	4.9%
公園や緑地が少ない	61	4.8%
文化に親しむ機会が少ない	59	4.6%
教育環境が悪い	44	3.5%
治安が悪い	42	3.3%
地域での人間関係が悪い	41	3.2%
子育てがしにくい	40	3.1%
緑や川などの自然環境が乏しい	14	1.1%
その他	201	15.8%
無回答	205	16.1%
合計	1,977	

図 31 幸田町の悪いところは（複数回答）



性別で比較すると、男女ともに、上位 2 項目は「交通の便が悪い」「医療・福祉サービスが不足している」の順で高くなっていますが、3 項目目は、男性は「災害に弱い」、女性は「買い物に不便」となっています。

年齢別で比較すると、いずれの年齢でも最も多かったのは「交通の便が悪い」となり、2 番目には、ほとんどの年齢で「医療・福祉サービスが不足している」が高くなっていますが、18～29 歳、30～39 歳の若年層、および、75 歳以上の高齢者層で「買い物に不便」が 2 番目に高くなっています。

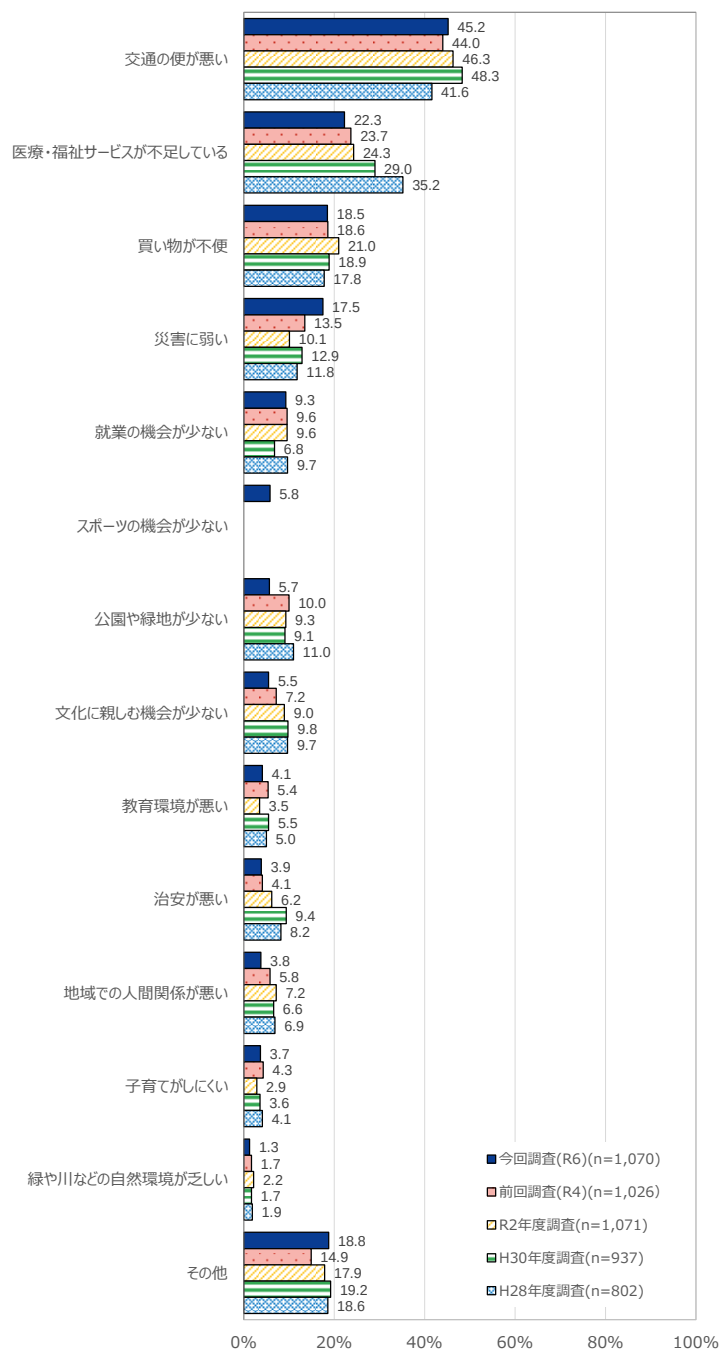
小学校区別で比較しても、「交通の便が悪い」が最も高い割合となっています。坂崎小学校区や深溝小学校区では「買い物に不便」が 2 番目に高くなっており、その他の小学校区と比べても高くなっています。幸田小学校区や中央小学校区では「災害に弱い」が上位 3 項目に入っています。

図 32 幸田町の悪いところは（性別・年齢・校区別）（複数回答）

区分		n	交通の便が悪い	医療・福祉サービスが不足している	買い物に不便	災害に弱い	就業の機会が少ない	スポーツの機会が少ない	公園や緑地が少ない	文化に親しむ機会が少ない	教育環境が悪い	治安が悪い	地域での人間関係が悪い	子育てがしにくい	緑や川などの自然環境が乏しい	その他	無回答
全体		1,275	38.0	18.7	15.5	14.7	7.8	4.9	4.8	4.6	3.5	3.3	3.2	3.1	1.1	15.8	16.1
性別	男	595	37.6	19.0	16.3	17.5	7.1	5.7	4.9	5.5	4.0	3.4	3.7	3.5	1.3	16.1	12.8
	女	675	38.4	18.7	15.0	12.3	8.6	4.1	4.7	3.7	2.8	3.3	2.8	2.7	0.9	15.4	18.8
年齢別	18～29歳	132	39.4	10.6	18.9	15.9	12.9	8.3	6.8	4.5	2.3	3.0	2.3	1.5	0.0	16.7	7.6
	30～39歳	176	35.8	19.3	19.9	18.8	8.5	8.0	8.0	4.5	5.7	5.1	2.8	9.1	2.3	17.0	7.4
	40～49歳	202	38.1	24.8	18.3	20.8	9.9	7.9	4.5	3.0	5.0	3.0	3.0	3.0	0.0	18.3	6.9
	50～59歳	232	38.8	22.0	11.2	15.5	7.8	2.6	5.6	3.4	3.4	4.3	2.6	3.9	0.4	19.8	11.2
	60～64歳	99	43.4	26.3	14.1	11.1	12.1	2.0	5.1	5.1	2.0	2.0	6.1	2.0	0.0	17.2	15.2
	65～69歳	99	37.4	20.2	9.1	11.1	4.0	4.0	3.0	1.0	3.0	0.0	2.0	1.0	1.0	12.1	28.3
	70～74歳	103	25.2	18.4	8.7	14.6	3.9	3.9	6.8	9.7	3.9	3.9	1.9	1.0	1.0	9.7	31.1
	75歳以上	231	41.1	10.4	18.2	7.8	4.3	2.2	0.4	6.5	1.7	3.0	4.8	1.3	3.0	11.7	29.0
校区別	坂崎	107	51.4	17.8	26.2	13.1	7.5	1.9	6.5	4.7	0.9	2.8	4.7	4.7	3.7	13.1	12.1
	幸田	388	38.7	18.0	9.3	18.3	7.2	6.7	5.2	4.6	4.1	4.6	2.8	3.4	0.5	15.2	12.6
	中央	245	38.4	17.6	8.6	15.5	9.8	3.3	5.3	4.9	1.2	1.2	4.1	1.2	0.4	18.4	18.4
	荻谷	169	37.3	20.1	14.8	8.3	10.1	5.9	2.4	4.7	3.0	4.1	1.2	4.1	1.8	17.2	18.9
	深溝	184	31.0	17.9	28.8	10.9	6.5	3.3	3.8	3.8	3.8	3.3	4.3	3.8	1.1	16.8	19.6
	豊坂	164	35.4	24.4	20.7	16.5	5.5	5.5	5.5	5.5	6.1	3.0	3.0	3.0	0.6	12.2	15.2

過去の調査から幸田町の悪いところの評価について経年変化をみると、「交通の便が悪い」と「医療・福祉サービスが不足している」が上位 2 項目で変化はありませんが、平成 28 年度調査では、「医療・福祉サービスが不足している」は 35.2%でしたが、今回調査では 22.3%と、大きく低下しています。その差は▲12.9 ポイントです。

図 33 幸田町の悪いところは（経年比較）（複数回答）



※前回調査までは、「文化やスポーツの機会が少ない」として調査。今年度は「文化に親しむ機会が少ない」として集計

第4章 日常生活における行動・意識調査結果

(問15～問17)

1 日常生活における行動・意識（問 15）

27 項目の「日常生活における行動・意識」について、『はい』、『いいえ』で回答を求めました。

日常生活における行動・意識について、『はい』と回答した割合が高かった項目を順にみていくと、「(11) あなたは、資源・ごみの分別方法を知っていますか」が 95.1%と最も高く、次いで、「(4) あなたは、幸田町に消防団があることを知っていますか」が 95.0%となり、9 割を超えています。

「(12) あなたは、省エネルギーやリサイクルに心掛けていますか」(85.7%)、「(24) あなたは、この 1 ヶ月の間に地域の人とあいさつや会話をしたことがありますか」(85.3%)、「(16) あなたは、普段から健康に心掛けていますか」(81.9%)、「(18) あなたは、日常生活の中で身近に相談できる人がいますか」(80.7%)、「(27) あなたは、広報こつたを読んでいますか」(80.1%) も 8 割を超え、高くなっています。

一方で、『はい』と回答した割合が低かったのは、「(3) あなたは、マイタイムラインを知っていますか」が 11.3%と最も低く、次いで、「(5) あなたは、町が“止まってくれて「ありがとう！」”をスローガンに交通安全運動を実施していることを知っていますか」(28.2%)、「(15) あなたが町外の人に紹介したいと思う幸田町の観光資源はありますか」(29.3%) となっています。

表 21 日常生活における行動・意識

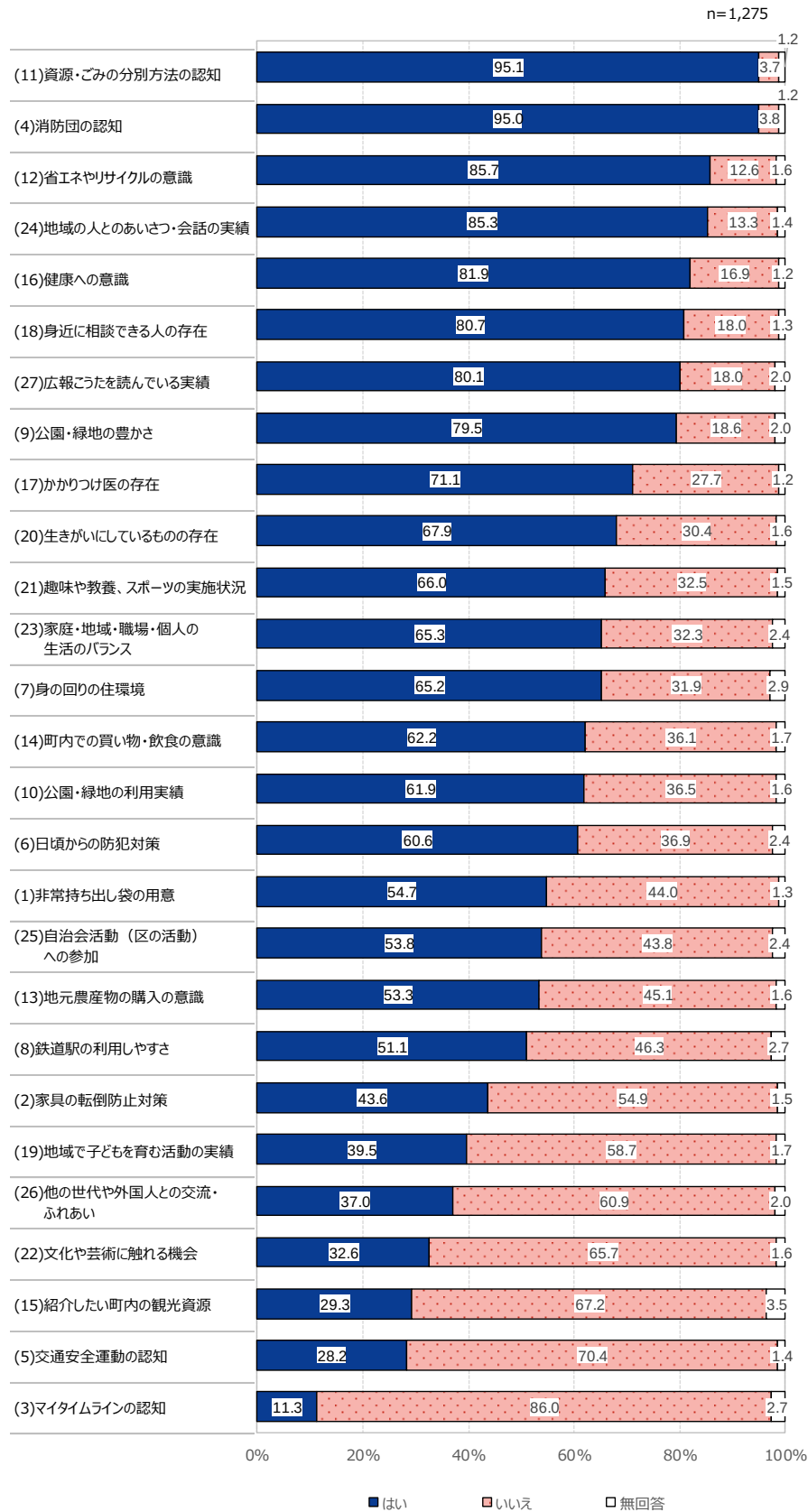
上段：人数、下段：%

		n	はい	いいえ	無回答
安心・安全	(1)非常持ち出し袋の用意	1,275	697	561	17
		100.0%	54.7%	44.0%	1.3%
	(2)家具の転倒防止対策	1,275	556	700	19
		100.0%	43.6%	54.9%	1.5%
	(3)マイタイムラインの認知	1,275	144	1,097	34
		100.0%	11.3%	86.0%	2.7%
	(4)消防団の認知	1,275	1,211	49	15
		100.0%	95.0%	3.8%	1.2%
	(5)交通安全運動の認知	1,275	360	897	18
		100.0%	28.2%	70.4%	1.4%
	(6)日頃からの防犯対策	1,275	773	471	31
		100.0%	60.6%	36.9%	2.4%
環境	(7)身の回りの住環境	1,275	831	407	37
		100.0%	65.2%	31.9%	2.9%
産業振興	(8)鉄道駅の利用しやすさ	1,275	651	590	34
		100.0%	51.1%	46.3%	2.7%
	(9)公園・緑地の豊かさ	1,275	1,013	237	25
		100.0%	79.5%	18.6%	2.0%
	(10)公園・緑地の利用実績	1,275	789	466	20
		100.0%	61.9%	36.5%	1.6%
健康・福祉	(11)資源・ごみの分別方法の認知	1,275	1,213	47	15
		100.0%	95.1%	3.7%	1.2%
	(12)省エネやリサイクルの意識	1,275	1,093	161	21
		100.0%	85.7%	12.6%	1.6%
	(13)地元農産物の購入の意識	1,275	680	575	20
		100.0%	53.3%	45.1%	1.6%
	(14)町内での買い物・飲食の意識	1,275	793	460	22
		100.0%	62.2%	36.1%	1.7%
	(15)紹介したい町内の観光資源	1,275	374	857	44
		100.0%	29.3%	67.2%	3.5%
	(16)健康への意識	1,275	1,044	216	15
		100.0%	81.9%	16.9%	1.2%
	(17)かかりつけ医の存在	1,275	907	353	15
		100.0%	71.1%	27.7%	1.2%
	(18)身近に相談できる人の存在	1,275	1,029	229	17
		100.0%	80.7%	18.0%	1.3%
	(19)地域で子どもを育む活動の実績	1,275	504	749	22
		100.0%	39.5%	58.7%	1.7%

上段：人数、下段：％

		n	はい	いいえ	無回答
教育・文化	(20)生きがいになっているものの存在	1,275	866	388	21
		100.0%	67.9%	30.4%	1.6%
	(21)趣味や教養、スポーツの実施状況	1,275	842	414	19
		100.0%	66.0%	32.5%	1.5%
	(22)文化や芸術に触れる機会	1,275	416	838	21
		100.0%	32.6%	65.7%	1.6%
協働・参画	(23)家庭・地域・職場・個人の生活のバランス	1,275	832	412	31
		100.0%	65.3%	32.3%	2.4%
	(24)地域の人とのあいさつ・会話の実績	1,275	1,088	169	18
		100.0%	85.3%	13.3%	1.4%
	(25)自治会活動（区の活動）への参加	1,275	686	559	30
		100.0%	53.8%	43.8%	2.4%
	(26)他の世代や外国人との交流・ふれあい	1,275	472	777	26
		100.0%	37.0%	60.9%	2.0%
	(27)広報こうたを読んでいる実績	1,275	1,021	229	25
		100.0%	80.1%	18.0%	2.0%

図 34 日常生活における行動・意識



2 この1年間の学習の形式（問 16）

この1年くらいの間に、どのような場所や形態で学習をしたことがあるかを尋ねたところ、「学習したことがない」が13.8%、「わからない」が6.0%となりますので、この2項目と、無回答の2.6%を除いた77.6%は「学習をしたことがある」ということになります。

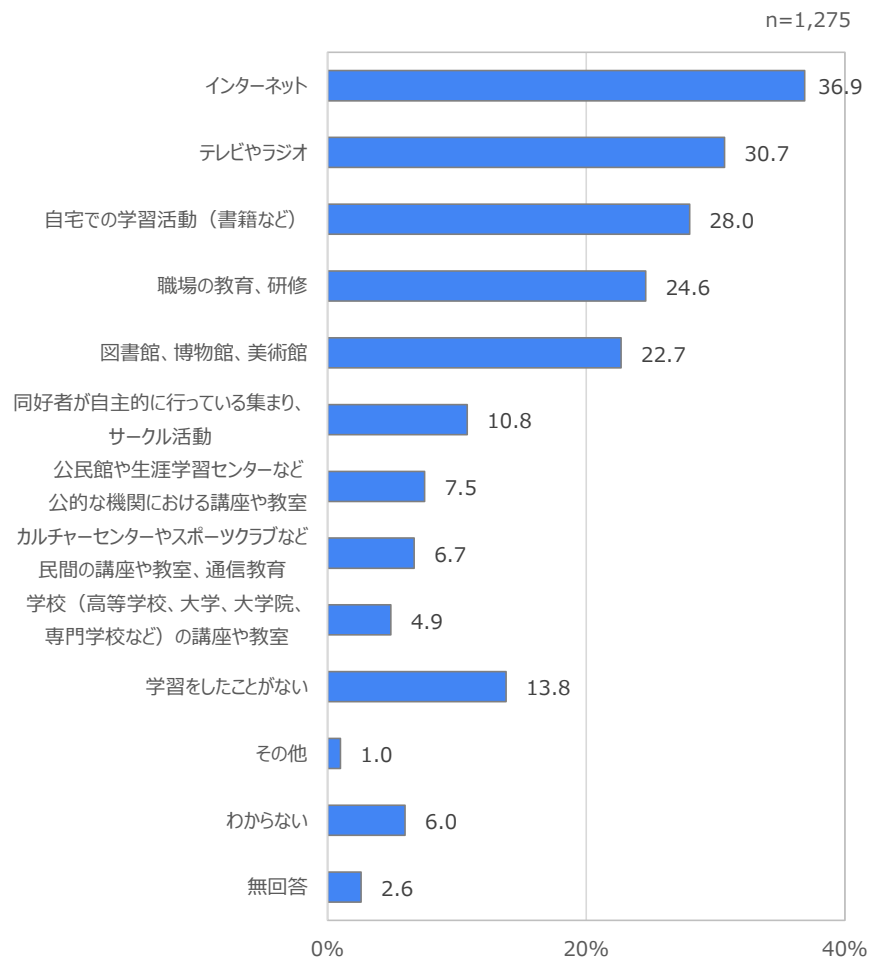
その学習形式の割合は、「インターネット」が36.9%で最も高く、次いで「テレビやラジオ」（30.7%）、「自宅での学習活動（書籍など）」（28.0%）となっています。

表 22 この1年間の学習の形式（複数回答）

回答者数：1,275人

	件数	%
インターネット	470	36.9%
テレビやラジオ	392	30.7%
自宅での学習活動（書籍など）	357	28.0%
職場の教育、研修	314	24.6%
図書館、博物館、美術館	289	22.7%
同好者が自主的に行っている集まり、サークル活動	138	10.8%
公民館や生涯学習センターなど公的な機関における講座や教室	96	7.5%
カルチャーセンターやスポーツクラブなど民間の講座や教室、通信教育	86	6.7%
学校（高等学校、大学、大学院、専門学校など）の講座や教室	62	4.9%
学習をしたことがない	176	13.8%
その他	13	1.0%
わからない	76	6.0%
無回答	33	2.6%
合計	2,502	

図 35 この1年の学習の形式（複数回答）



3 この1年間のスポーツ実施状況（問 17）

この1年くらいの間に、どの程度運動やスポーツを実施したかを尋ねたところ、「運動やスポーツをしなかった」とした人の割合が24.3%で最も高くなっています。

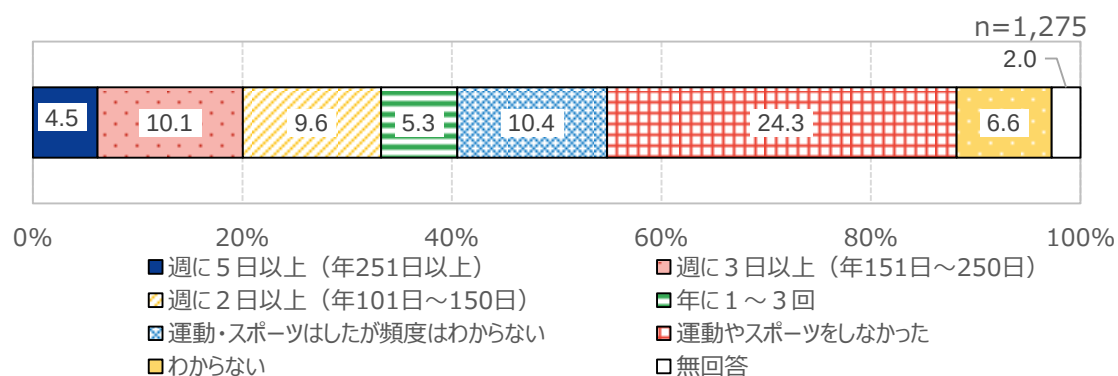
また、「運動やスポーツをしなかった」と「わからない」（6.6%）、および「無回答」（2.0%）を除いた67.1%は「運動やスポーツをした」となります。

その頻度は、「月に1～3日（年12日～50日）」の割合が12.1%で最も高く、次いで「週に1日以上（年51日～100日）」が10.8%、「週に3日以上（年151日～250日）」が10.1%となっています。

表 23 この1年間のスポーツ実施状況

	件数	%
週に5日以上（年251日以上）	58	4.5%
週に3日以上（年151日～250日）	129	10.1%
週に2日以上（年101日～150日）	122	9.6%
週に1日以上（年51日～100日）	138	10.8%
月に1～3日（年12日～50日）	154	12.1%
3ヶ月に1～2日（年4日～11日）	54	4.2%
年に1～3回	68	5.3%
運動・スポーツはしたが頻度はわからない	132	10.4%
運動やスポーツをしなかった	310	24.3%
わからない	84	6.6%
無回答	26	2.0%
合計	1,275	100.0%

図 36 この1年間のスポーツ実施状況



第 5 章 ICT（情報通信技術）の活用についての
調査結果
(問 18～問 19)

1 インターネットを利用する際の端末（問 18）

インターネットをどのような端末で利用しているかを尋ねたところ、「利用したことはないが、今後利用してみたい」が 1.3%、「今まで利用したことがないし、今後も利用する予定はない」が 8.5%でした。この 2 項目と「無回答」2.5%を除いた、87.7%は「インターネットを利用している」ことになります。

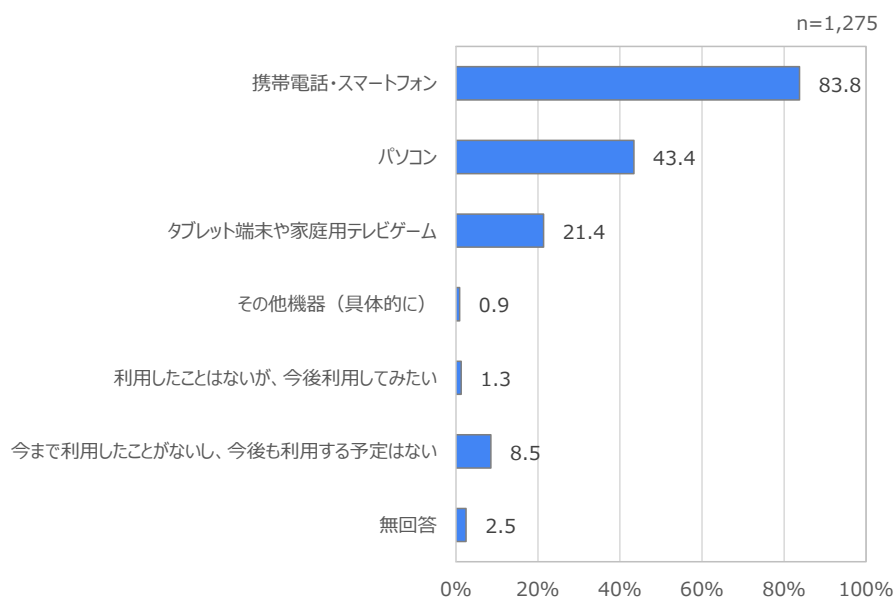
どのような端末で利用しているかについては、「携帯電話・スマートフォン」の割合が 83.8%で、他端末と比べると、極めて高くなっています。次いで「パソコン」の 43.4%、「タブレット端末や家庭用テレビゲーム」の 21.4%などとなっています。

表 24 インターネットを利用する際の端末（複数回答）

回答者数：1,275人

	件数	%
携帯電話・スマートフォン	1,069	83.8%
パソコン	553	43.4%
タブレット端末や家庭用テレビゲーム	273	21.4%
その他機器（具体的に）	12	0.9%
利用したことはないが、今後利用してみたい	17	1.3%
今まで利用したことがないし、今後も利用する予定はない	109	8.5%
無回答	32	2.5%
合計	2,065	

図 37 インターネットを利用する際の端末（複数回答）



2 ICTを使った行政サービスのうち充実していくべきこと（問 19）

ICT（情報通信技術）を使った行政サービスのうち、特に充実していくべきことを尋ねたところ、「自宅のパソコンやスマートフォンから役場の手続きができる仕組み（電子申請）」が52.0%で最も高く、次いで「災害時に避難所（小学校など）で使える公衆無線LANの整備」が43.2%となっています。

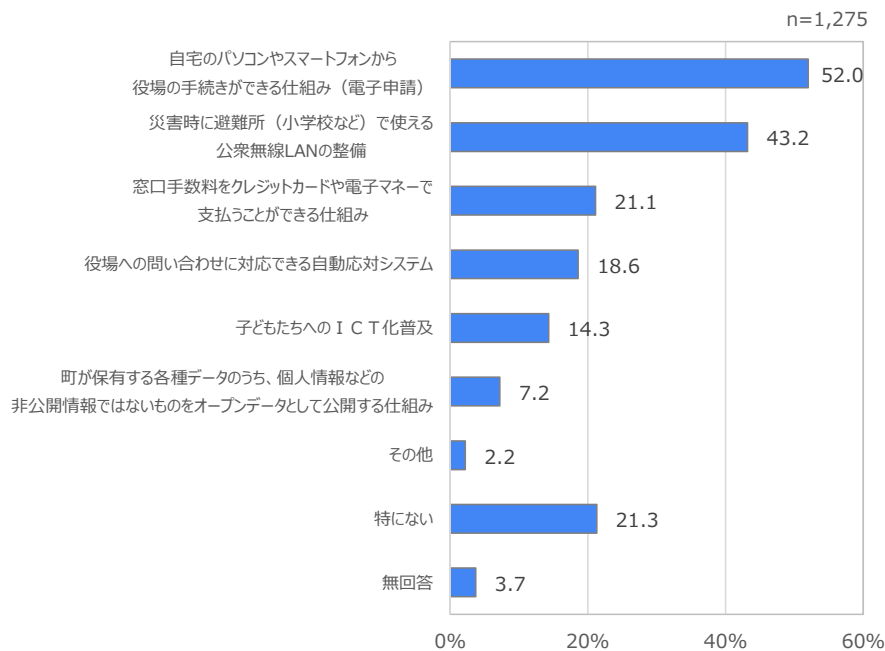
このほか、「窓口手数料をクレジットカードや電子マネーで支払うことができる仕組み」が21.1%、「役場への問い合わせに対応できる自動対応システム」が18.6%、「子どもたちへのICT化普及」が14.3%などとなっています。

表 25 ICTを使った行政サービスのうち充実していくべきこと（複数回答）

回答者数：1,275人

	件数	%
自宅のパソコンやスマートフォンから 役場の手続きができる仕組み（電子申請）	663	52.0%
災害時に避難所（小学校など）で使える 公衆無線LANの整備	551	43.2%
窓口手数料をクレジットカードや電子マネーで 支払うことができる仕組み	269	21.1%
役場への問い合わせに対応できる自動対応システム	237	18.6%
子どもたちへのICT化普及	182	14.3%
町が保有する各種データのうち、個人情報などの 非公開情報ではないものをオープンデータとして公開する仕組み	92	7.2%
その他	28	2.2%
特にない	272	21.3%
無回答	47	3.7%
合計	2,341	

図 38 ICTを使った行政サービスのうち充実していくべきこと（複数回答）



第 6 章 感染症等の影響についての調査結果 (問 20)

1 新たな感染症対策として重点的に実施してほしい施策（問 20）

今後、新型コロナウイルス感染症のような新たな感染症が発生した場合に、重点的に実施してほしいと考える施策を尋ねたところ、「安定した医療体制の確保」が 77.6%となり、他の施策と比べると、極めて高い割合となっています。

次いで、「感染状況や感染防止対策などの情報発信」が 36.9%、「町民の感染防止対策」が 36.8%と続きます。

表 26 新たな感染症対策として重点的に実施して欲しいこと（複数回答）

回答者数：1,275人

	件数	%
安定した医療体制確保	990	77.6%
感染状況や感染防止対策などの情報発信	471	36.9%
町民の感染防止対策	469	36.8%
高齢者の生活支援	318	24.9%
子育て世代への経済的支援	233	18.3%
小・中学生の学習支援	185	14.5%
雇用対策・労働環境の改善	106	8.3%
テレワークなど新しい働き方への対応	102	8.0%
大学生など若者世代への支援	74	5.8%
町内商業施設、商店などの消費喚起	59	4.6%
町民活動・地域活動への支援	35	2.7%
スポーツ活動への支援	27	2.1%
文化活動への支援	13	1.0%
その他	15	1.2%
特にない	38	3.0%
無回答	24	1.9%
合計	3,159	

図 39 新たな感染症対策として重点的に実施して欲しいこと（複数回答）



第 7 章 公共交通に関する調査結果 (問 21～問 22-2)

1 公共交通の利用のしやすさ（問 21）

幸田町のそれぞれの公共交通について利用のしやすさを尋ねたところ、「利用しやすい」との回答は「(1) JR（幸田駅、三ヶ根駅、相見駅）」では 41.0%と比較的高いものの、それ以外については総じて低くなっています。

「幸田町における公共交通全般」の評価についても、「利用しやすい」との回答は、9.3%にとどまっています。

表 27 公共交通の利用のしやすさ

上段：人数、下段：%

	n	利用しやすい	どちらとも いえない	利用しづらい	利用したことが ない	無回答
(1)JR（幸田駅、三ヶ根駅、相見駅）	1,275	523	381	192	72	107
	100.0%	41.0%	29.9%	15.1%	5.6%	8.4%
(2)タクシー	1,275	128	313	197	518	119
	100.0%	10.0%	24.5%	15.5%	40.6%	9.3%
(3)コミュニティバス えこたんバス	1,275	65	178	179	746	107
	100.0%	5.1%	14.0%	14.0%	58.5%	8.4%
(4)福祉タクシーチケット	1,275	31	137	39	950	118
	100.0%	2.4%	10.7%	3.1%	74.5%	9.3%
(5)高齢者タクシーチケット	1,275	30	135	33	963	114
	100.0%	2.4%	10.6%	2.6%	75.5%	8.9%
幸田町における公共交通全般	1,275	118	506	278	194	179
	100.0%	9.3%	39.7%	21.8%	15.2%	14.0%

図 40 公共交通の利用のしやすさ

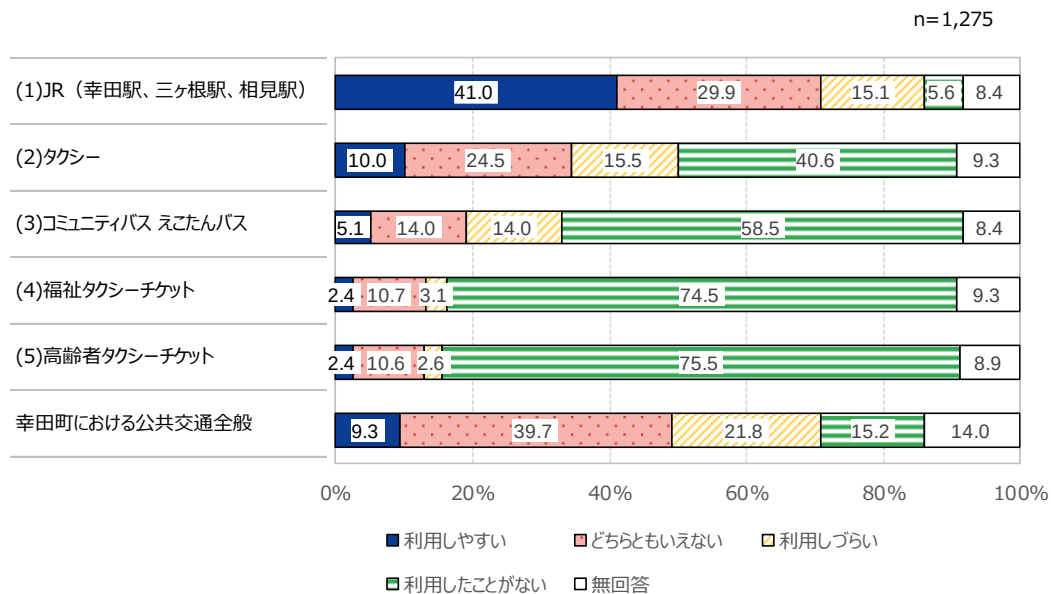


図 41 公共交通の利用のしやすさ「(1) J R (幸田駅、三ヶ根駅、相見駅)」(性・年齢・校区別)

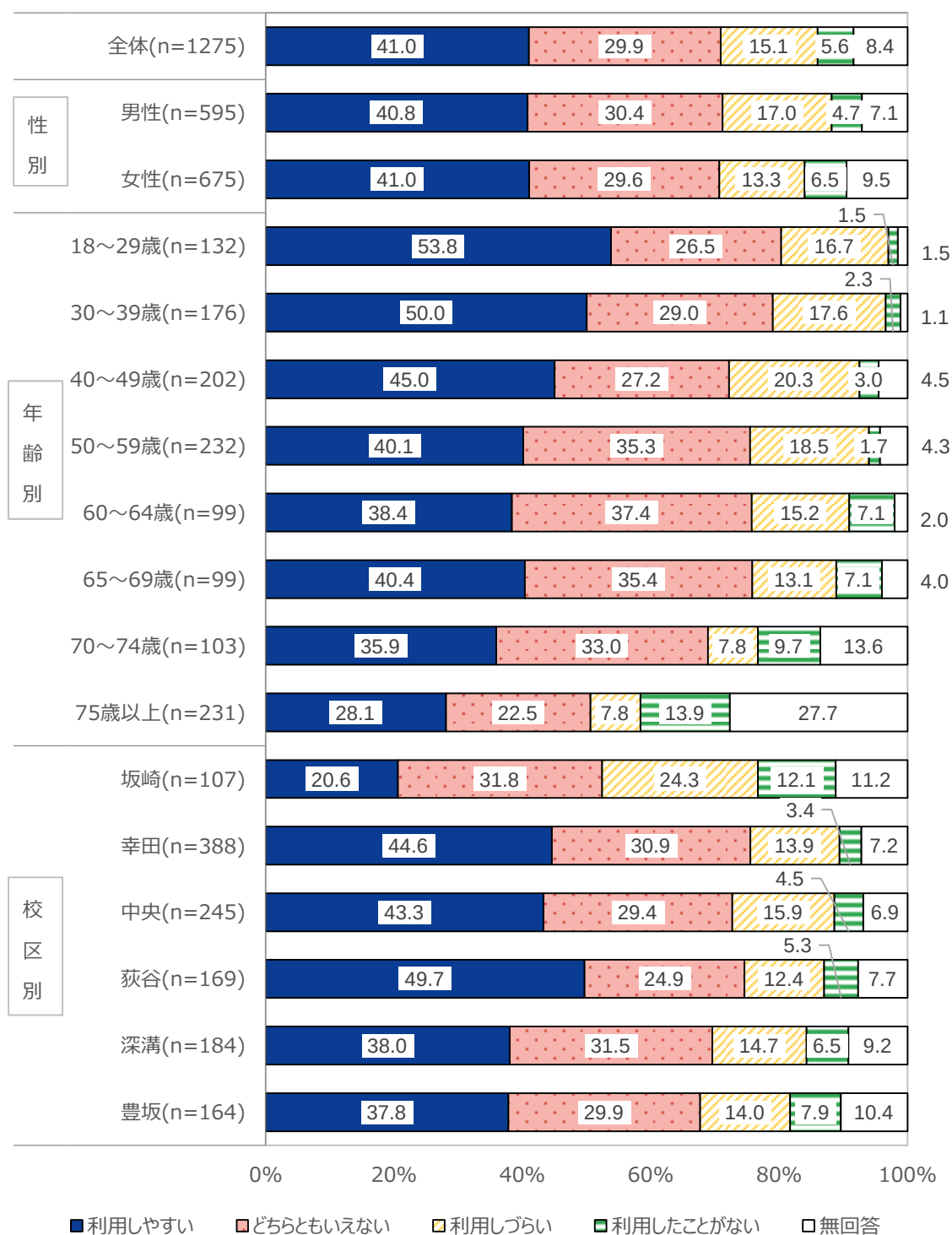


図 42 公共交通の利用のしやすさ「(2) タクシー」(性・年齢・校区別)

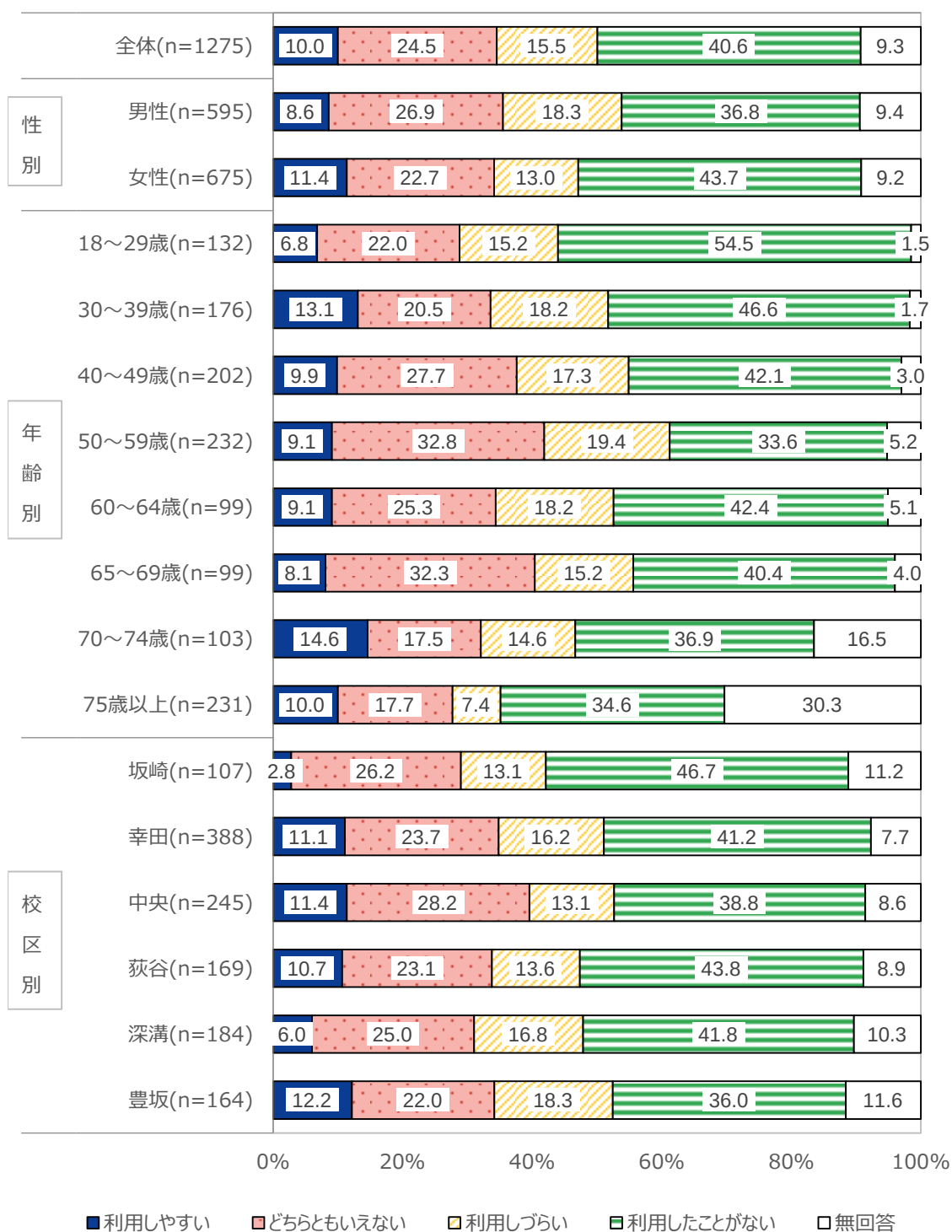


図 43 公共交通の利用のしやすさ「(3) コミュニティバス (えこたんバス)」(性・年齢・校区别)

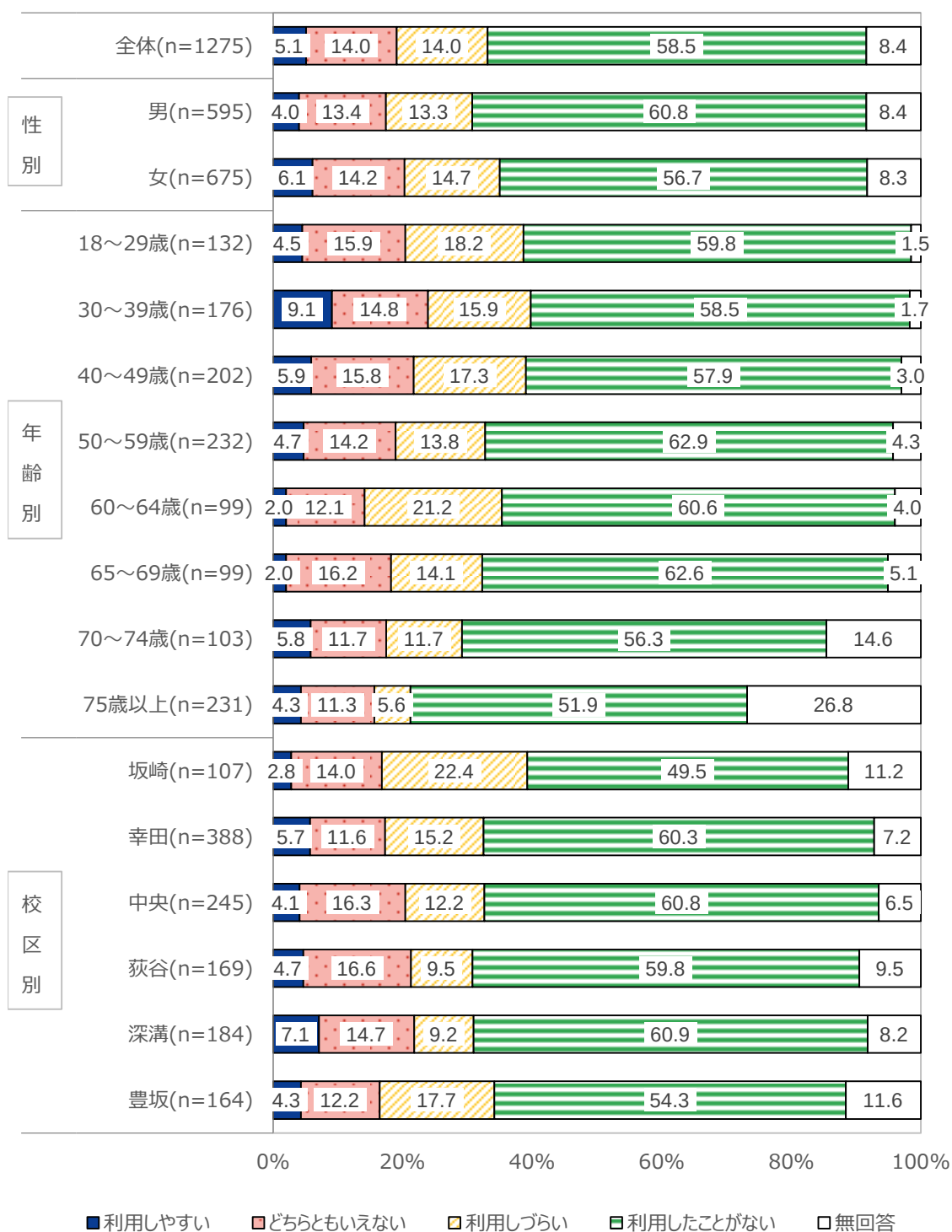


図 44 公共交通の利用のしやすさ「(4) 福祉タクシーチケット」(性・年齢・校区别)

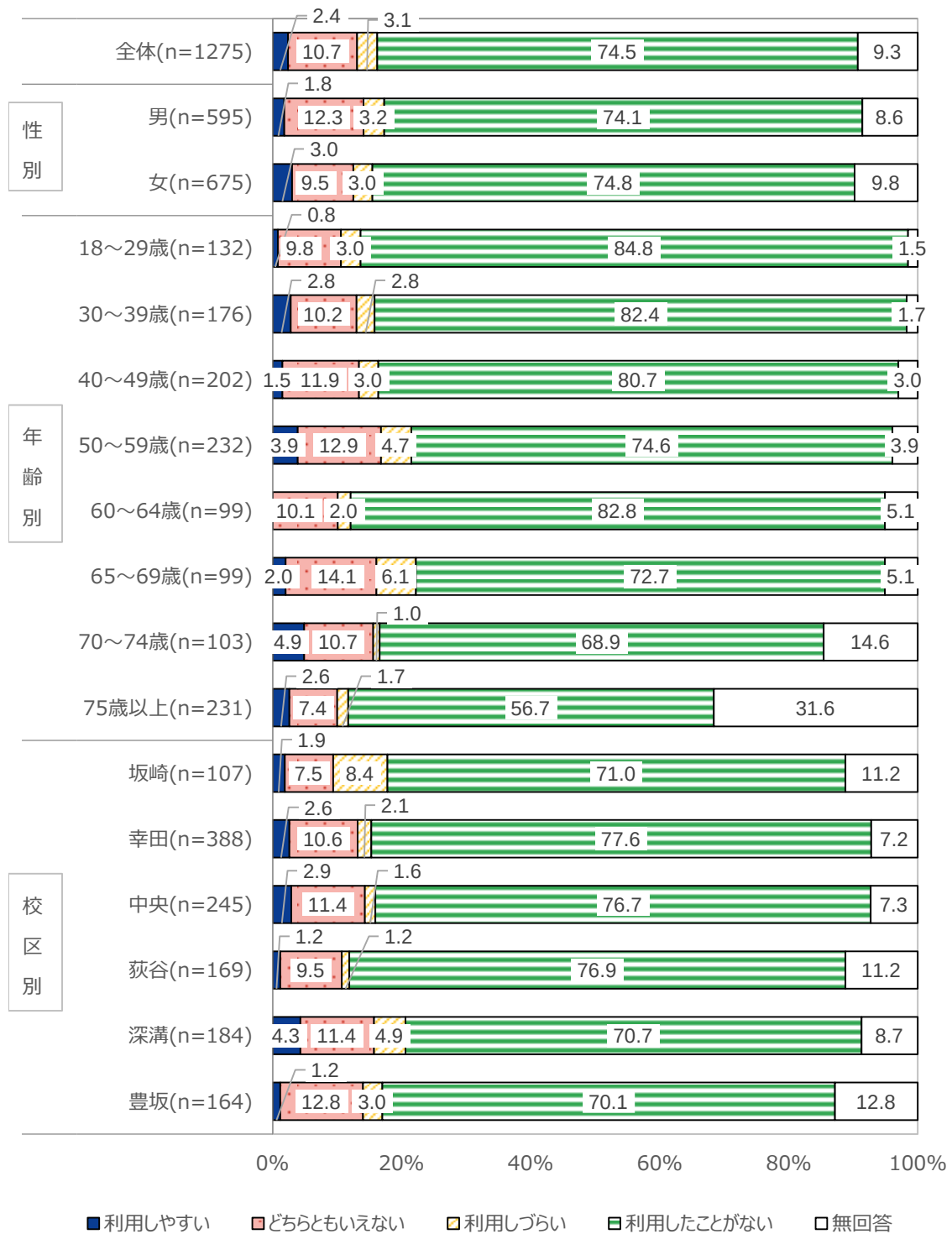


図 45 公共交通の利用のしやすさ「(5) 高齢者タクシーチケット」(性・年齢・校区別)

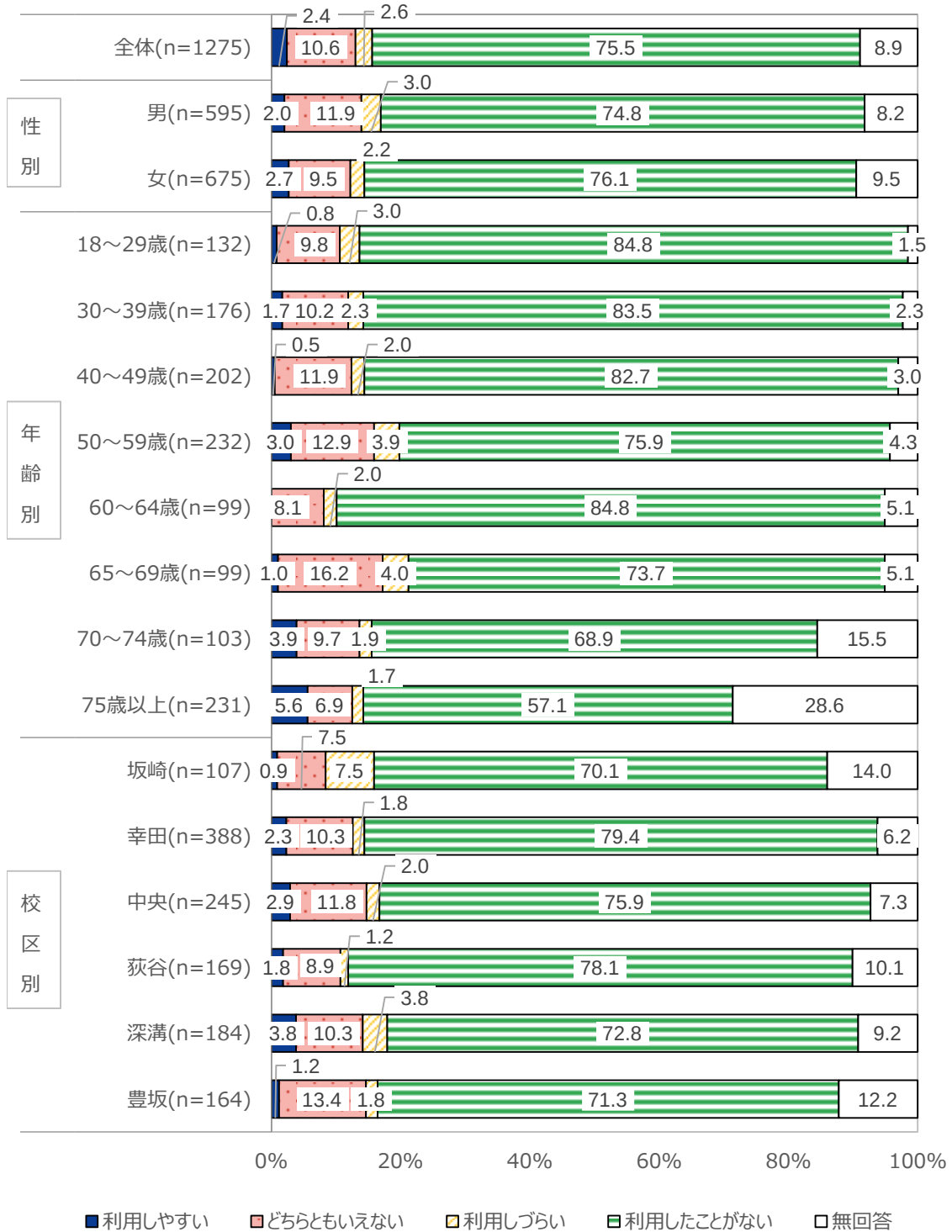
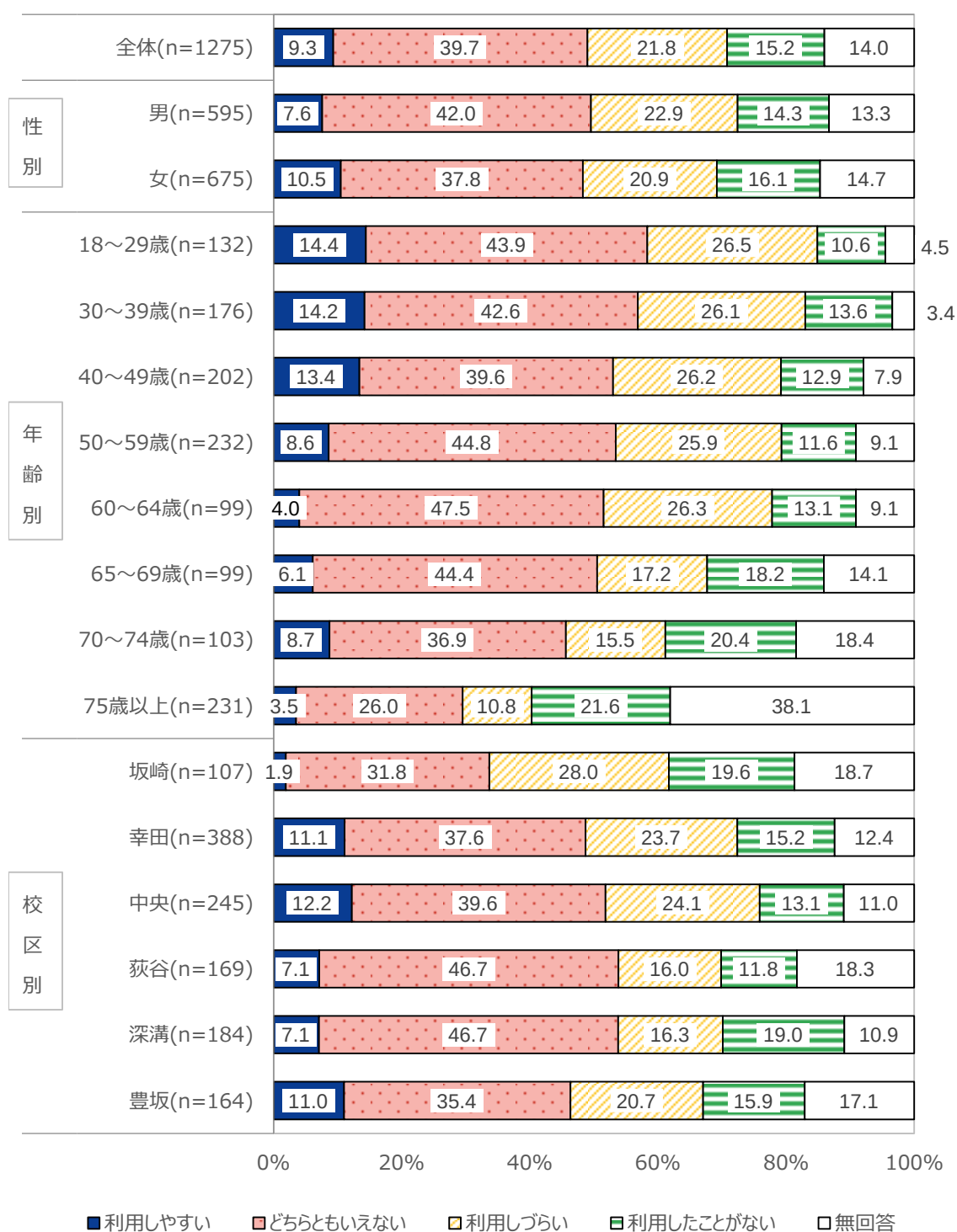


図 46 公共交通の利用のしやすさ「幸田町における公共交通全般」（性・年齢・校区别）



2 新しい移動手段の認知度（問 22－1）

藤田乗合直行タクシー並びにチョイソコといった新しい交通手段の認知度について尋ねたところ、藤田乗合直行タクシーは「詳しく知っている」（5.3%）と「名前くらいは知っている」（37.9%）を合わせた 43.2%が認知しています。前回調査（令和 4 年度調査）では 46.8%であり、認知度は 3.6 ポイント低下していますが、前々回調査の令和 2 年度（41.1%）からは、2.1 ポイント上昇しています。

一方、チョイソコについては、「詳しく知っている」（3.8%）と「名前くらいは知っている」（42.0%）を合わせた 45.8%が認知しています。前回調査（令和 4 年度調査）では 44.8%であったので、わずかに上昇したものの、ほぼ同水準となっています。

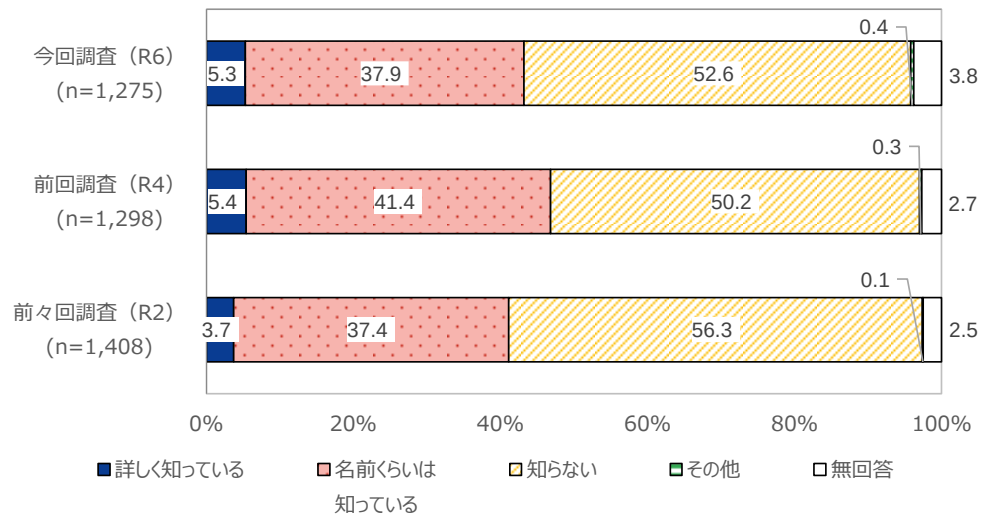
表 28 新しい交通手段の認知度（経年比較）

上段：人数、下段：%

新しい交通手段	調査年度	n	詳しく知っている	名前くらいは知っている	知らない	その他	無回答
藤田乗合直行 タクシー	今回	1,275	68	483	671	5	48
	(R6年度調査)	100.0%	5.3%	37.9%	52.6%	0.4%	3.8%
	前回	1,298	70	538	651	4	35
	(R4年度調査)	100.0%	5.4%	41.4%	50.2%	0.3%	2.7%
	前々回	1,408	52	527	793	1	35
	(R2年度調査)	100.0%	3.7%	37.4%	56.3%	0.1%	2.5%
チョイソコ	今回	1,275	48	535	637	5	50
	(R6年度調査)	100.0%	3.8%	42.0%	50.0%	0.4%	3.9%
	前回	1,298	52	529	674	4	39
	(R4年度調査)	100.0%	4.0%	40.8%	51.9%	0.3%	3.0%
	前々回	1,408	34	359	975	0	40
	(R2年度調査)	100.0%	2.4%	25.5%	69.2%	0.0%	2.8%

図 47 新しい交通手段の認知度（経年比較）

【藤田乗合直行タクシー】



【チョイソコ】

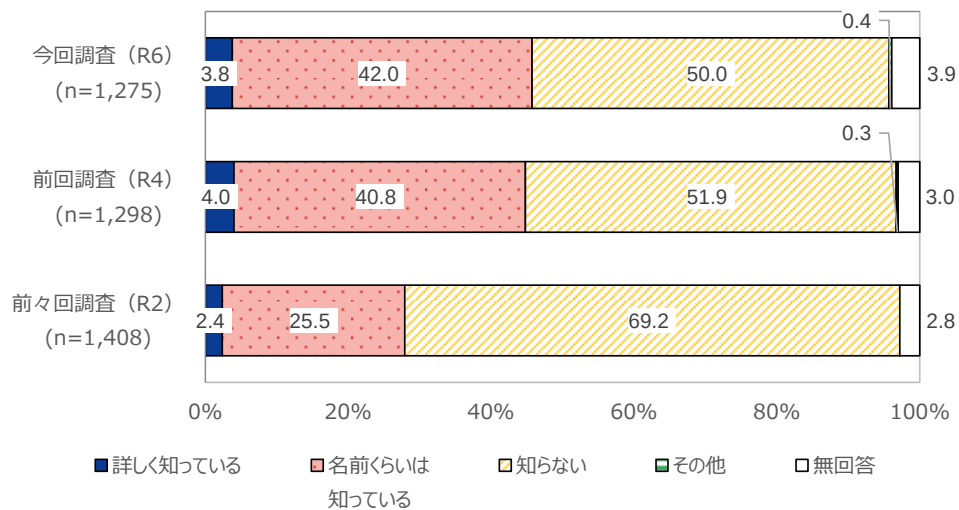


図 48 新しい交通手段の認知度【藤田乗合直行タクシー】（性・年齢・校区別）

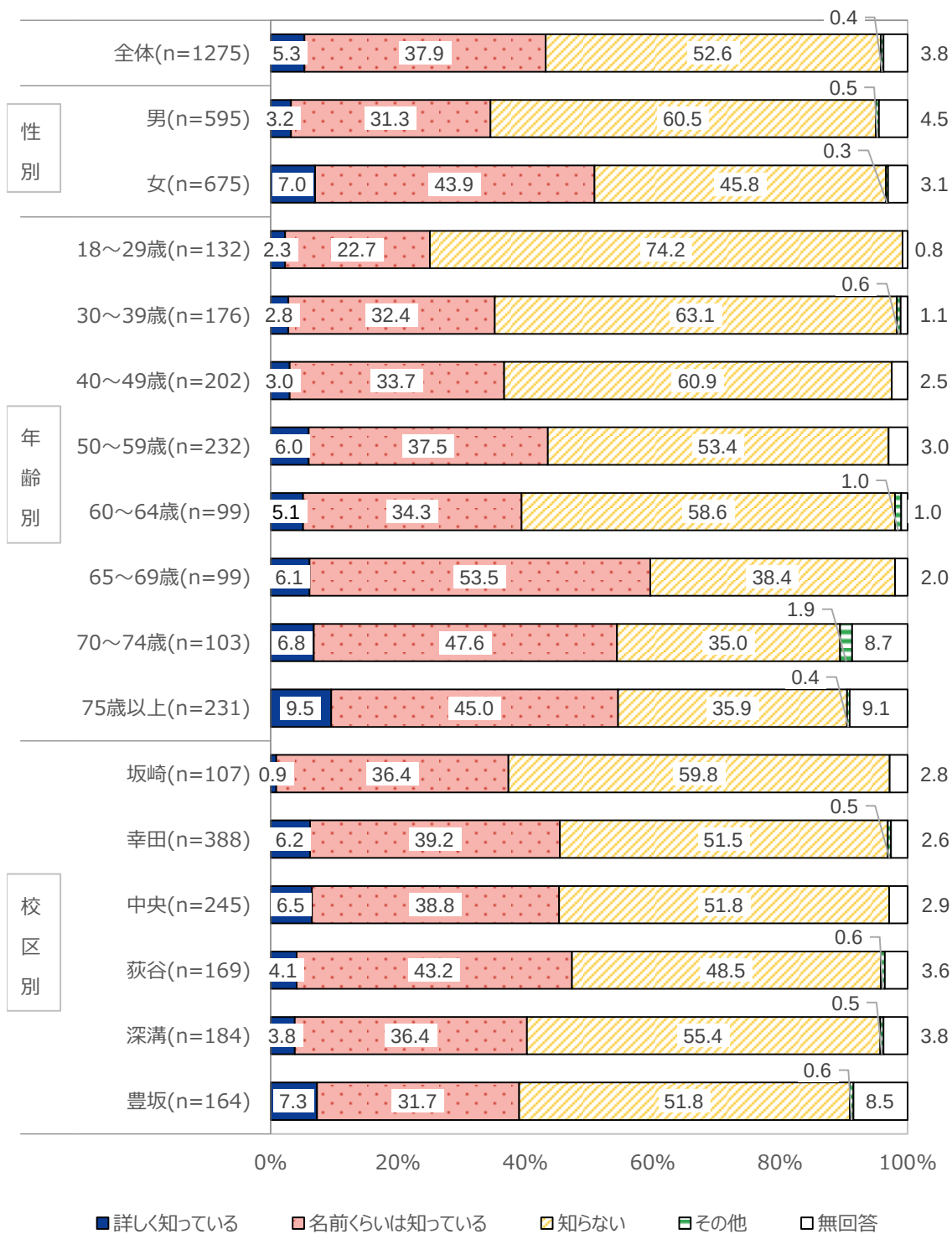
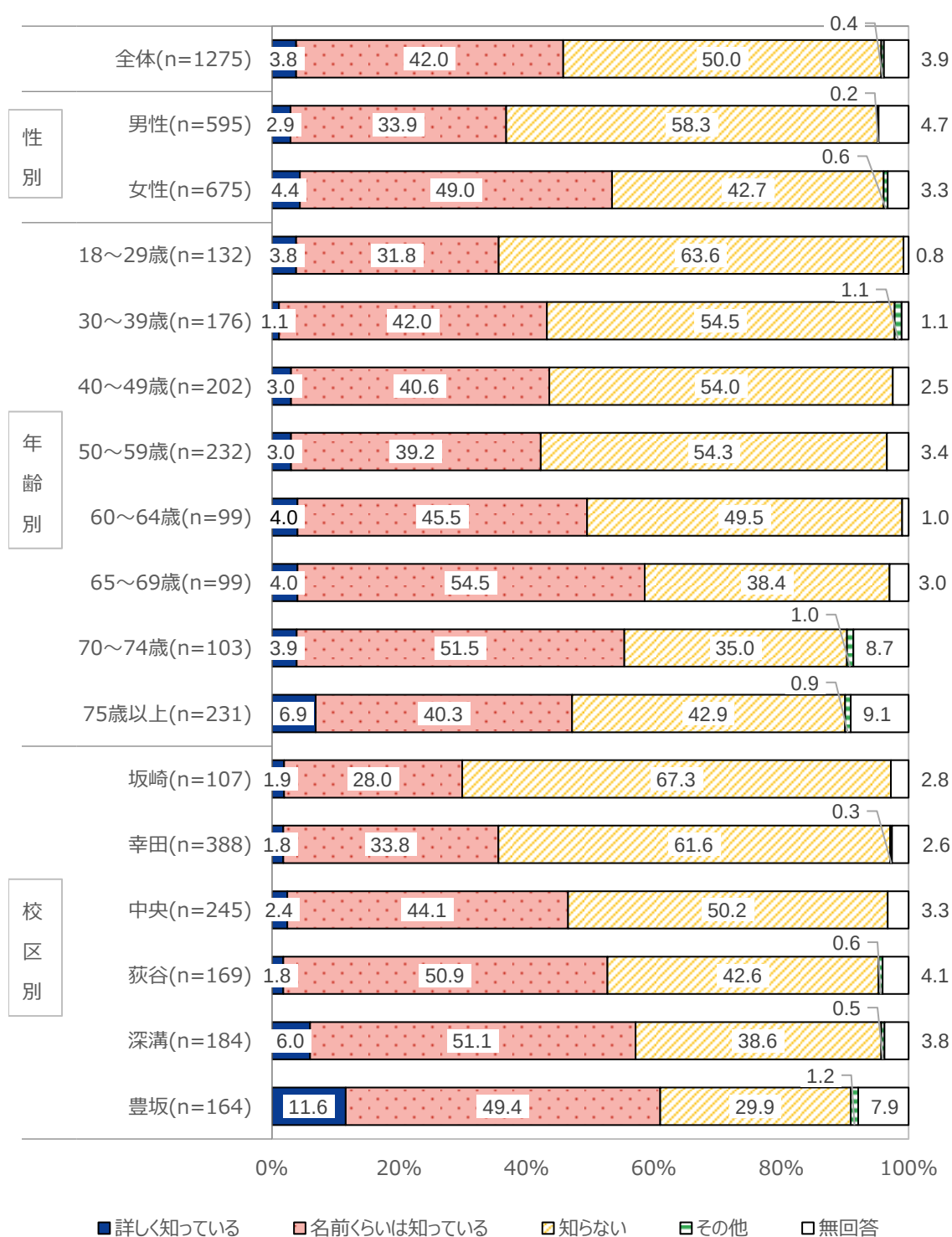


図 49 新しい交通手段の認知度【チョイソコ】（性・年齢・校区別）



3 新しい移動手段の利用意向（問 22－2）

藤田乗合直行タクシー並びにチョイソコの利用意向について尋ねたところ、「利用したことがある」は、藤田乗合直行タクシーで 1.6%、チョイソコで 0.9%でした。いずれも 1%程度とごくわずかでした。前回調査（令和 4 年度調査）ではそれぞれ 0.9%、0.4%であったので、利用意向はごくわずかですが上昇しています。

また、「利用したことはないが利用したい」は、藤田乗合直行タクシーで 29.5%、チョイソコで 23.4%という結果となりました。前回調査（令和 4 年度調査）ではそれぞれ 32.2%、21.3%であったので、藤田乗合直行タクシーではわずかに低下し、チョイソコではわずかに上昇しています。

表 29 新しい交通手段の利用意向（経年変化）

上段：人数、下段：%

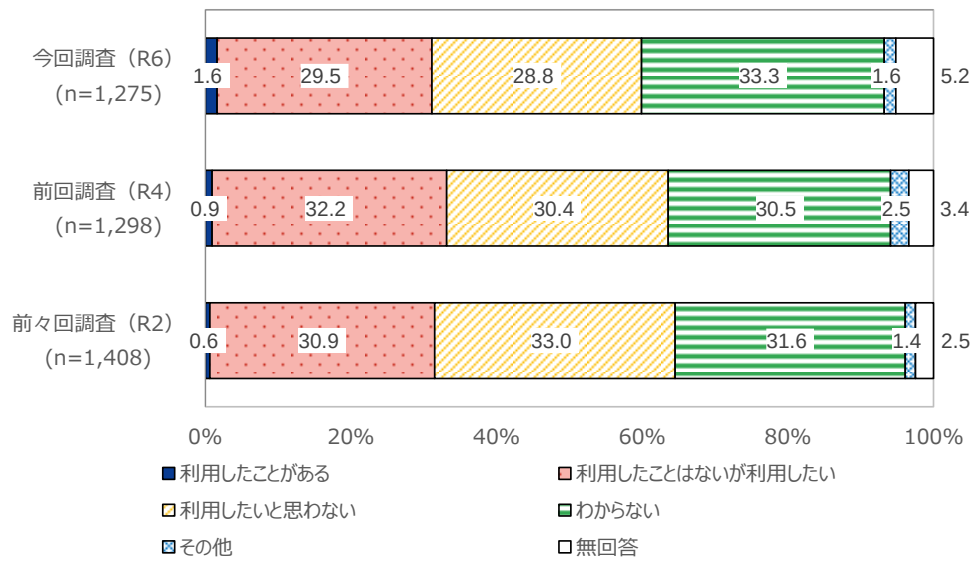
新しい交通手段	調査年度	n	利用したことがある	利用したことはないが利用したい	利用したいと思わない	わからない	その他	無回答
藤田乗合直行 タクシー	今回	1,275	20	376	367	425	21	66
	(R6年度調査)	100.0%	1.6%	29.5%	28.8%	33.3%	1.6%	5.2%
	前回	1,298	12	418	395	396	33	44
	(R4年度調査)	100.0%	0.9%	32.2%	30.4%	30.5%	2.5%	3.4%
	前々回	1,408	8	435	465	445	20	35
	(R2年度調査)	100.0%	0.6%	30.9%	33.0%	31.6%	1.4%	2.5%
チョイソコ	今回	1,275	12	299	340	508	28	88
	(R6年度調査)	100.0%	0.9%	23.4%	26.7%	39.8%	2.2%	6.9%
	前回	1,298	5	277	362	531	37	86
	(R4年度調査)	100.0%	0.4%	21.3%	27.9%	40.9%	2.9%	6.6%
	前々回	1,408	4	325	371	593	34	81
	(R2年度調査)	100.0%	0.3%	23.1%	26.3%	42.1%	2.4%	5.8%

【チョイソコ】今回（R6年度調査）

「利用したことはないが利用したい」299人の内訳	n	%
：利用したことはないが利用したい（豊坂小学校区の方）	123	9.6%
：事業拡大されれば利用したい（豊坂小学校区外の方）	176	13.8%

図 50 新しい交通手段の利用意向

【藤田乗合直行タクシー】



【チョイソコ】

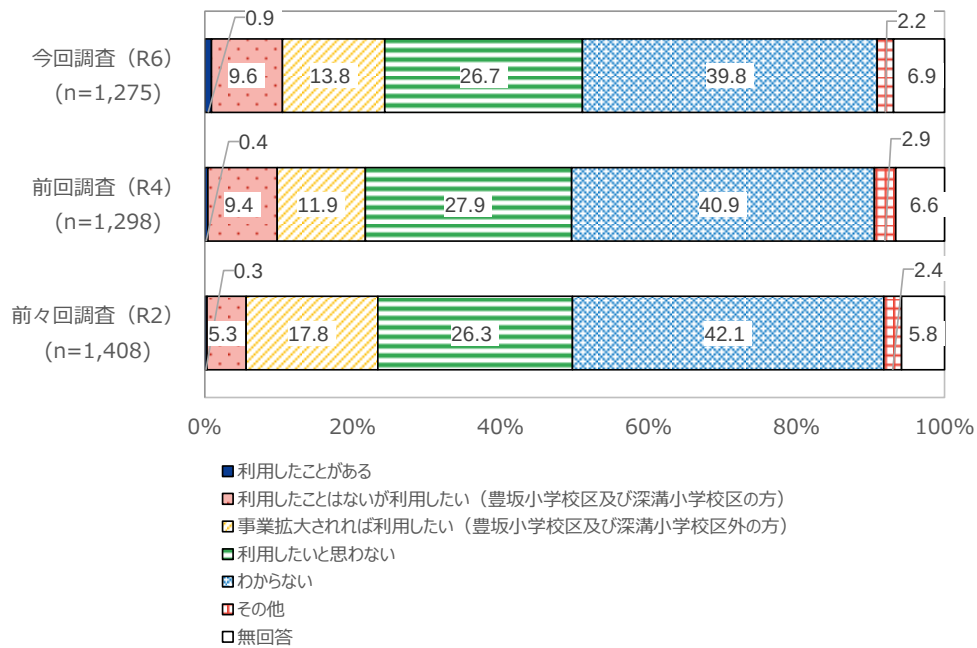


図 51 新しい交通手段の利用意向【藤田乗合直行タクシー】(性・年齢・校区別)

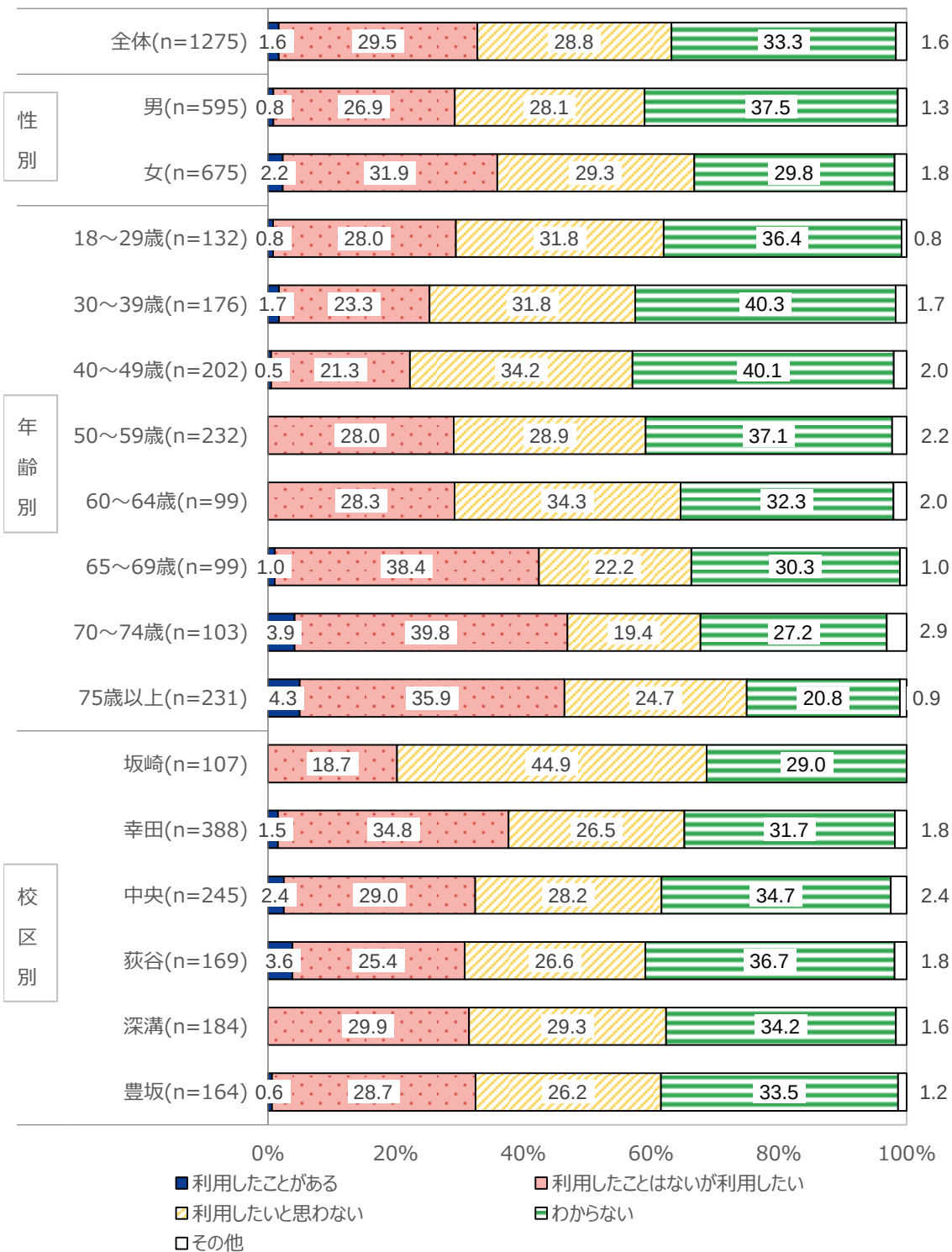
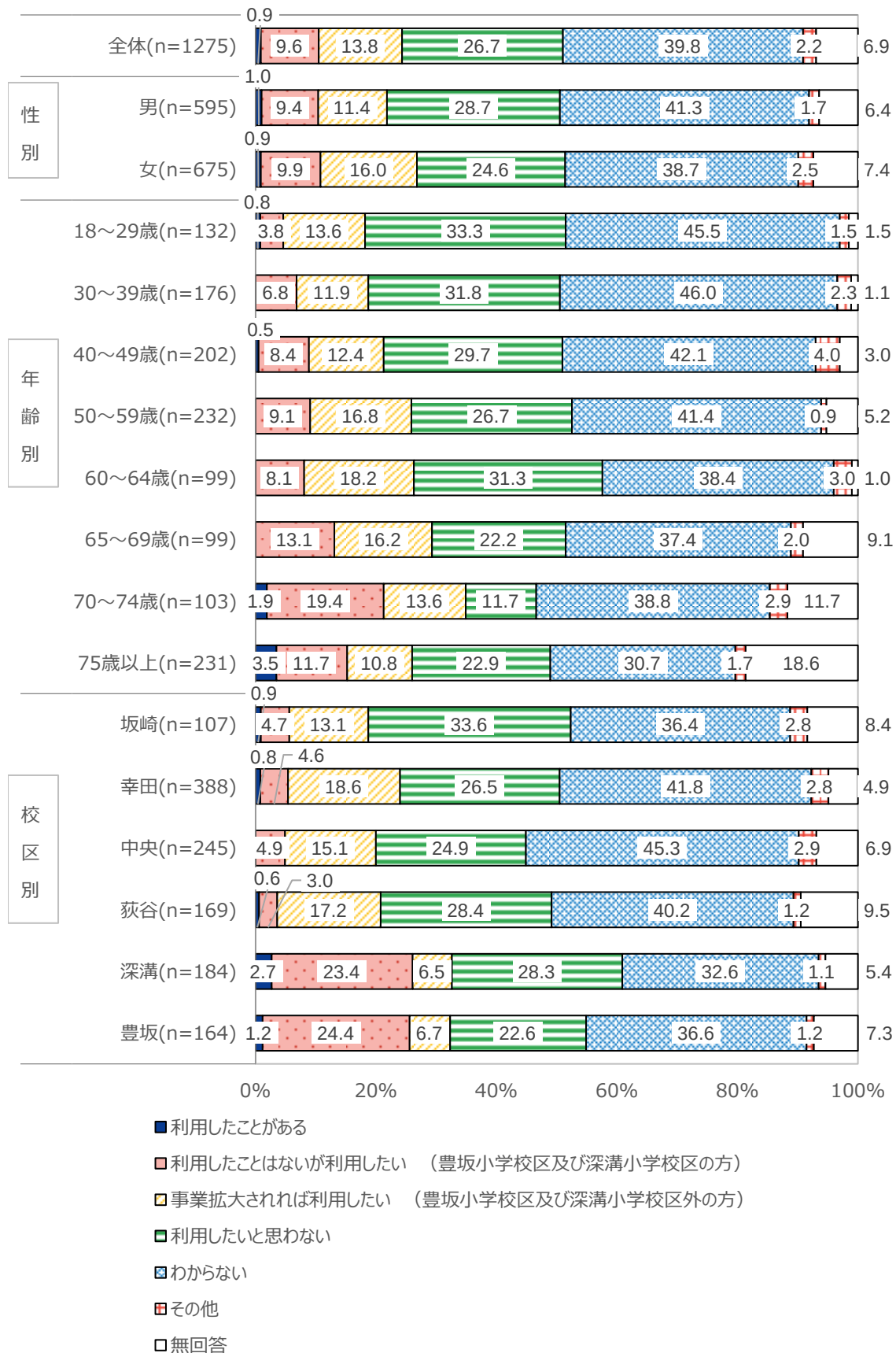


図 52 新しい交通手段の利用意向【チョイソコ】（性・年齢・校区別）



藤田乗合直行タクシー並びにチョイソコを「利用したいと思わない」と回答した方にその理由を尋ねたところ、「車など別の交通手段を利用する」（藤田乗合直行タクシー：62.1%、チョイソコ：71.8%）が最も高く、6割以上となりました。

図 53 新しい交通手段を「利用したいと思わない」理由

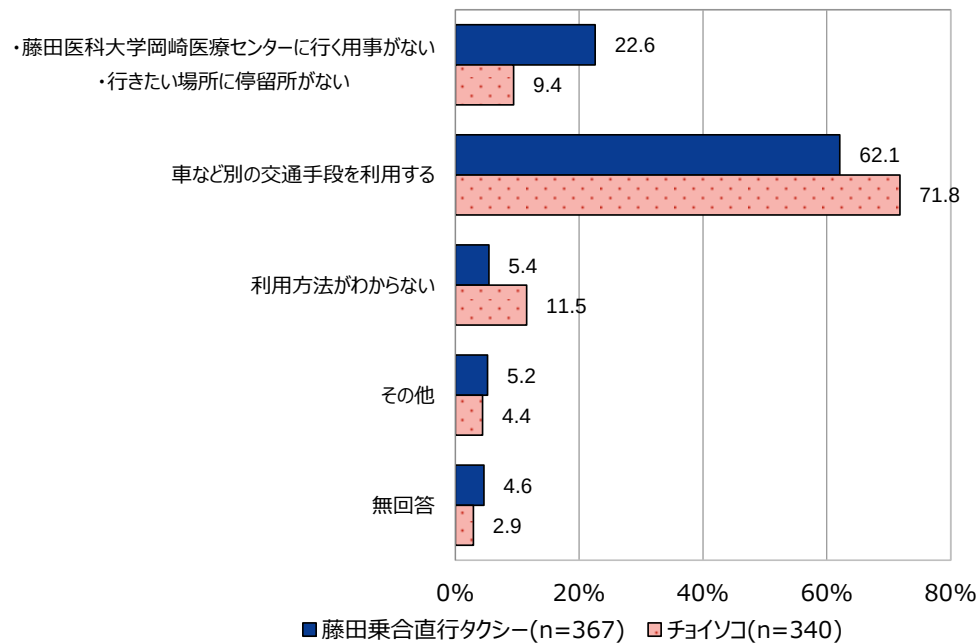


図 54 新しい交通手段【藤田乗合直行タクシー】を「利用したいと思わない」理由（性・年齢・校区別）

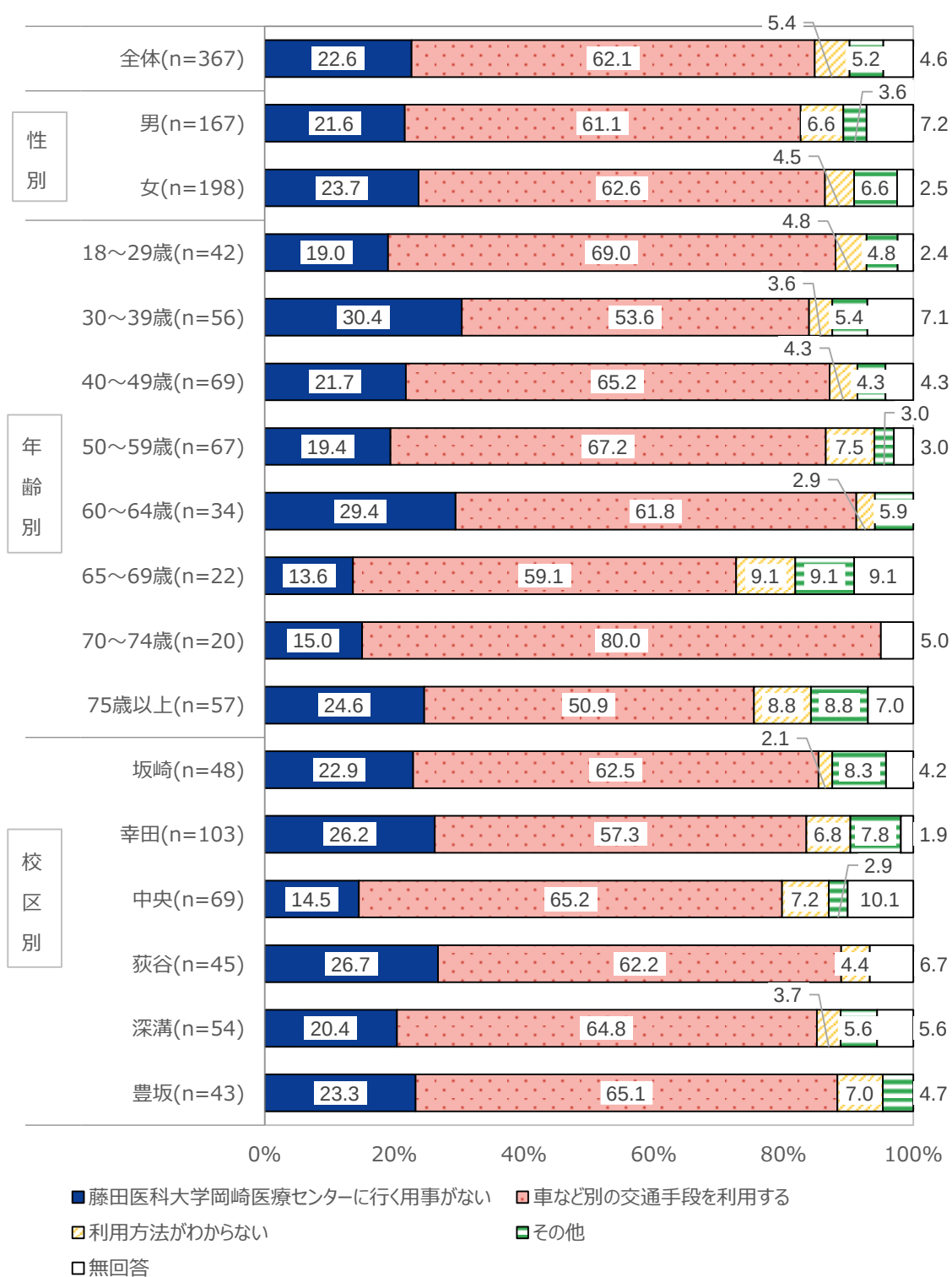
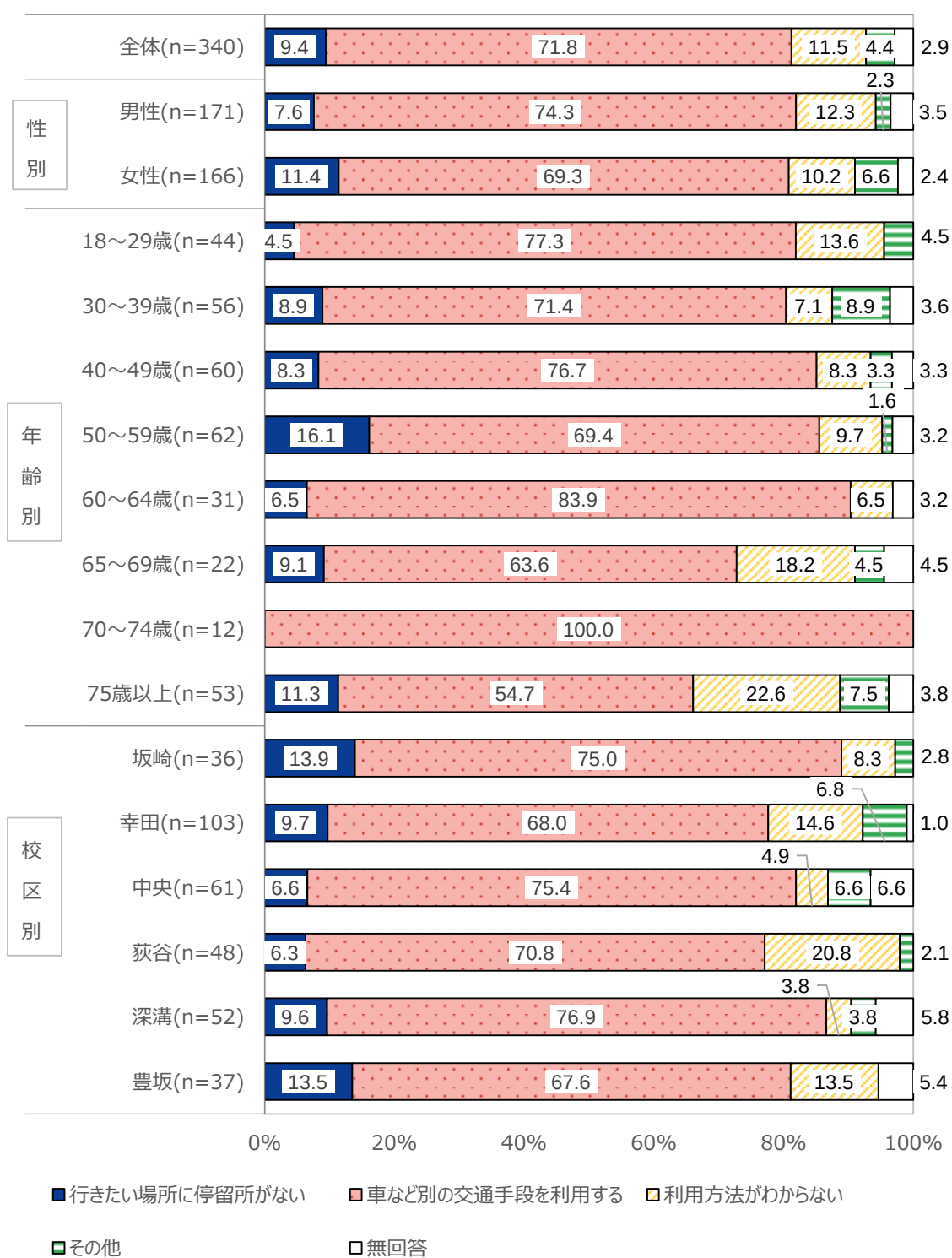


図 55 新しい交通手段【チョイソコ】を「利用したいと思わない」理由（性・年齢・校区別）



第 8 章 人口減少対策についての調査結果 (問 23～問 25)

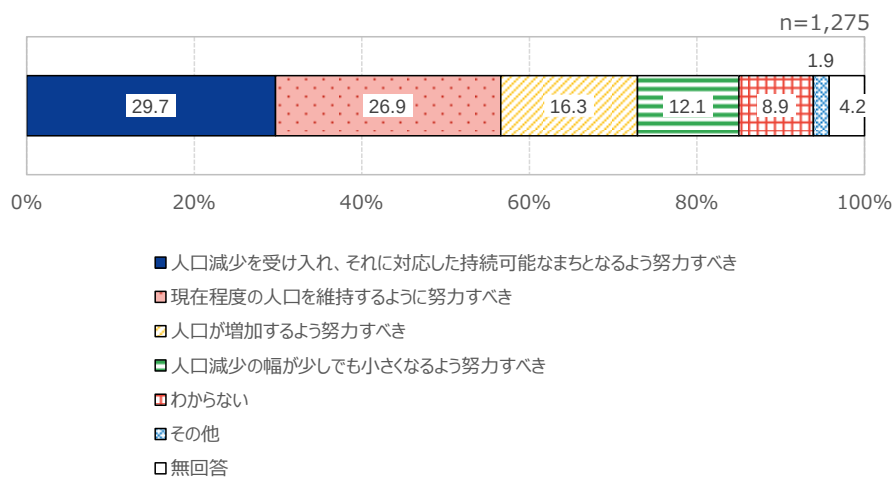
1 町が取り組むべき人口減少対策について（問 23）

日本の人口減少に対して、幸田町はどのように取り組むべきだと思うかたずねたところ、「人口減少を受け入れ、それに対応した持続可能なまちとなるよう努力すべき」が 29.7%と最も高く、次いで、「現在程度の人口を維持するように努力すべき」が 26.9%となりましたが、この上位 2 項目には大きな差はありませんでした。また、上位 2 項目とも、3 位の「人口が増加するよう努力すべき」（16.3%）よりも、10 ポイント以上高くなっています。

表 30 町が取り組むべき人口減少対策

	件数	%
人口減少を受け入れ、それに対応した持続可能なまちとなるよう努力すべき	379	29.7%
現在程度の人口を維持するように努力すべき	343	26.9%
人口が増加するよう努力すべき	208	16.3%
人口減少の幅が少しでも小さくなるよう努力すべき	154	12.1%
わからない	114	8.9%
その他	24	1.9%
無回答	53	4.2%
合計	1,275	100.0%

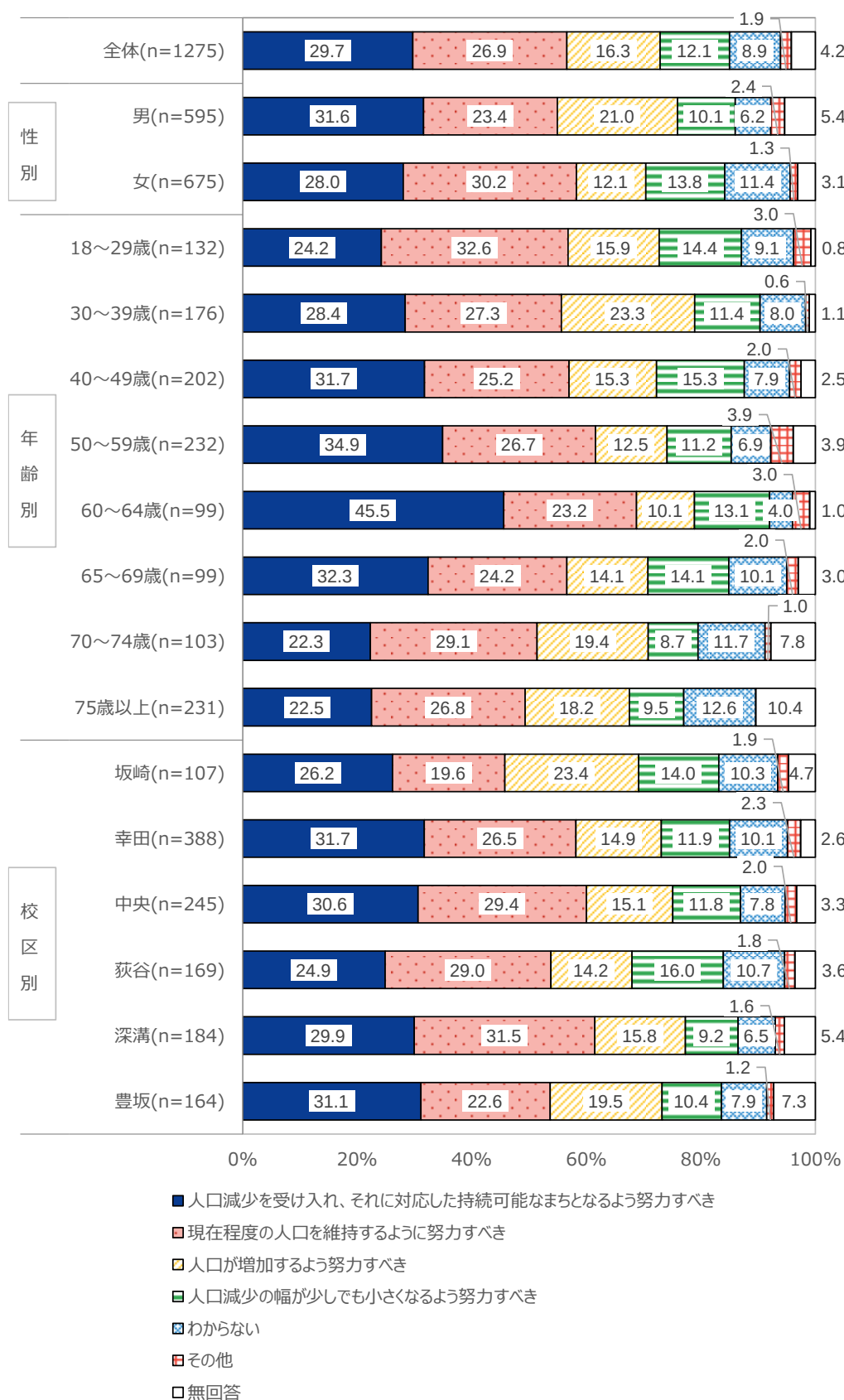
図 56 町が取り組むべき人口減少対策



性別で比較すると、男女ともに、「人口減少を受け入れ、それに対応した持続可能なまちとなるよう努力すべき」「現在程度の人口を維持するように努力すべき」が上位 2 項目となっていました。3 項目目では、男性が「人口が増加するよう努力すべき」（21.0%）、女性が「人口減少の幅が少しでも小さくなるよう努力すべき」（13.8%）となりました。

年齢別で比較すると、60～64 歳で「人口減少を受け入れ、それに対応した持続可能なまちとなるよう努力すべき」が半数近い 45.5%となり、他の年齢と比べても高くなっています。

図 57 町が取り組むべき人口減少対策（性・年齢・校区別）



2 人口減少や少子高齢化の影響について（問 24）

お住まいの地域で、人口減少や少子高齢化の影響が出ている（と感じる）ことはあるかたずねたところ、「高齢者のみ世帯の増加」が 53.6%と最も高く、次いで、「子どもの減少」が 44.4%、「自治会などの担い手不足」が 20.5%となっています。

表 31 人口減少や少子高齢化の影響について（複数回答）

回答者数：1,275人

	件数	%
高齢者のみ世帯の増加	683	53.6%
子どもの減少	566	44.4%
自治会などの担い手不足	262	20.5%
地域の繋がりの希薄化	245	19.2%
商店の閉鎖	245	19.2%
空き家の増加	183	14.4%
伝統的行事・祭事の維持が困難	176	13.8%
特に発生していない・感じない	213	16.7%
その他	11	0.9%
無回答	25	2.0%
合計	2,609	

図 58 人口減少や少子高齢化の影響について（複数回答）

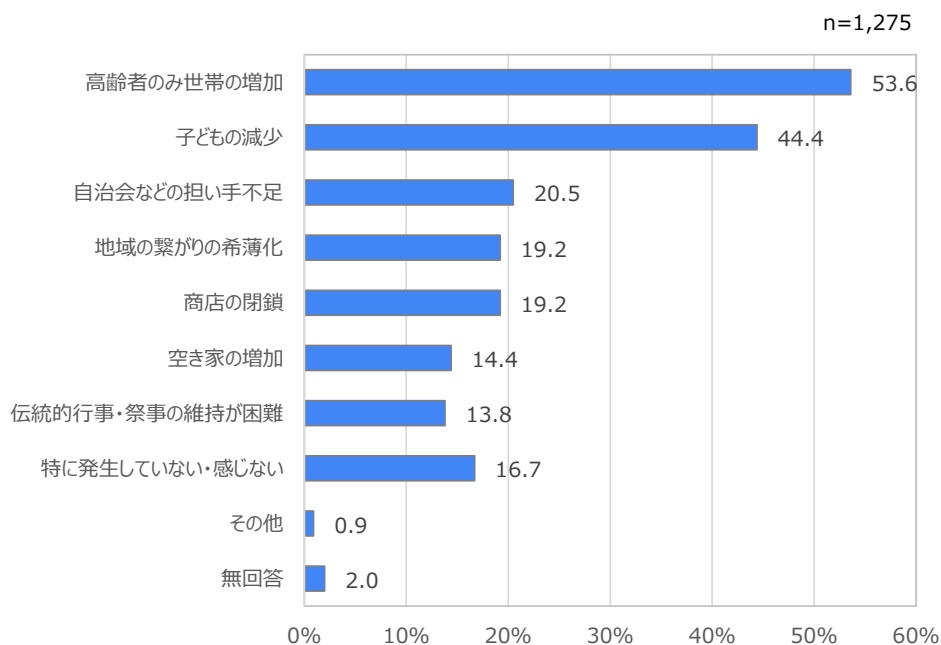


表 32 人口減少や少子高齢化の影響について（複数回答）

区分		n	高齢者のみ世帯の増加	子どもの減少	自治会などの担い手不足	地域の繋がりの希薄化	商店の閉鎖	空き家の増加	・祭事の伝統的行事の維持が困難	特に発生していない	その他	無回答
全体		1,275	53.6	44.4	20.5	19.2	19.2	14.4	13.8	16.7	0.9	2.0
性別	男性	595	57.8	46.6	21.0	17.8	18.5	13.9	13.4	15.6	1.0	1.2
	女性	675	49.9	42.5	20.0	20.4	19.9	14.8	14.2	17.6	0.7	2.7
年齢別	18～29歳	132	34.1	32.6	15.2	17.4	22.7	9.1	11.4	29.5	0.8	0.0
	30～39歳	176	37.5	36.4	21.0	17.0	23.3	12.5	11.4	28.4	0.0	1.7
	40～49歳	202	41.1	39.1	17.8	16.8	13.9	14.9	13.9	21.8	2.5	1.5
	50～59歳	232	49.6	46.1	23.7	16.8	18.5	12.5	13.8	14.2	0.4	1.3
	60～64歳	99	68.7	53.5	28.3	20.2	17.2	20.2	17.2	7.1	2.0	2.0
	65～69歳	99	65.7	44.4	17.2	16.2	12.1	8.1	9.1	14.1	0.0	3.0
	70～74歳	103	74.8	52.4	23.3	24.3	18.4	15.5	20.4	3.9	1.0	1.9
	75歳以上	231	70.6	52.4	19.5	24.7	23.4	19.9	14.7	9.5	0.4	3.9
校区別	坂崎	107	53.3	65.4	20.6	17.8	8.4	11.2	12.1	15.0	0.9	1.9
	幸田	388	46.9	35.6	19.1	20.6	18.0	15.2	15.5	24.5	0.8	1.5
	中央	245	53.9	38.8	16.3	18.0	20.8	11.8	9.8	17.6	1.2	2.0
	荻谷	169	52.7	66.9	21.9	19.5	25.4	10.7	14.8	8.9	1.2	0.6
	深溝	184	64.1	41.8	22.8	19.6	18.5	20.1	17.4	9.2	0.5	2.7
	豊坂	164	58.5	42.7	28.0	19.5	19.5	15.2	12.8	14.0	0.6	2.4

3 人口減少対策としてどのような施策が有効か（問 25）

人口減少対策として、どのような施策が有効か、17 項目の中から、上位 1～3 位の施策を選択してもらい、次に示す点数をつけ、有効な施策の順位を算出しました。また、算出に当たっては、以下の式を使用しています。

【順位に対する得点】

順位	得点
1位	3
2位	2
3位	1

【順位の算出の仕方】

施策優先度 = (「1位の該当項目を選んだ人数」×3点) + (「2位の該当項目を選んだ人数」×2点) + (「3位の該当項目を選んだ人数」×1点)

結果は、表 33 の通りです。1 位は「子育て環境の充実」、2 位は「結婚・妊娠・出産・産後への支援」、3 位は「雇用の確保や就労支援」となっています。

表 33 人口減少対策としてどのような施策が有効か（無回答を除く）

施策	優先度	
	ポイント	順位
子育て環境の充実	1,244	1
結婚・妊娠・出産・産後への支援	1,013	2
雇用の確保や就労支援	922	3
産業の活性化	882	4
医療環境の整備	742	5
交通ネットワークの充実	562	6
移住・定住の促進	457	7
魅力あるイベントや観光資源の活用	281	8
防災・防犯・交通安全の強化	275	9
質の高い教育の提供	198	10
多様な人材が活躍する地域の推進	139	11
自然環境の保全	119	12
他市町村等との広域的な連携・交流	112	13
地域コミュニティの醸成	72	14
生涯学習・スポーツの充実	47	15
歴史・文化の保存・継承	19	16
その他	53	

第 9 章 自由意見

1 自由意見

幸田町の今後のまちづくりへの御意見や御提案を記入していただいたところ、合計で 421 件の御意見が寄せられました。

施策		件数	施策		件数
安全・安心	(1) 防災体制の強化	10	健康・福祉	(23) 健康づくりの推進	4
	(2) 河川の整備	1		(24) 医療体制の充実	10
	(3) ため池・山の整備	1		(25) 子育て支援	27
	(4) 消防・救急体制の充実	1		(26) 就学前教育・保育の充実	0
	(5) 交通安全・防犯対策の強化	9		(27) 子どもの居場所の充実	9
	(6) 消費生活の安定向上	0		(28) 障がい者福祉の充実	3
	(7) 道路の整備	21		(29) 高齢者福祉の充実	11
	(8) 公共交通の整備	29	教育・文化	(30) 学校教育の充実	10
	(9) 新しい移動手段の検討・導入	10		(31) 健やかな青少年の育成	4
	(10) 上水道の整備	0		(32) 生涯学習の推進	0
	(11) 下水道の整備	0		(33) スポーツの振興	0
	(12) 住宅の整備	6		(34) スポーツ施設の充実	1
	(13) 市街地の整備	30		(35) 歴史・伝統文化の継承	1
	(14) 公園・緑地の整備	12		(36) 文化の振興	5
	(15) 墓園の整備	1	協働・参画	(37) 男女共同参画の推進	0
環境	(16) 自然環境の保全	6		(38) 地域活動の推進	24
	(17) 公害対策の推進	0		(39) 多文化共生の推進	3
	(18) ごみ問題への対応	9		(40) 広域行政の推進	0
産業振興	(19) 農業の振興	4		(41) 情報の発信と管理	12
	(20) 新産業の創生・企業の立地	12		(42) 効率的で健全な行財政	13
	(21) 商業の振興	29	その他		83
	(22) 観光の振興	10	全体		421

【安心・安全】
(1) 防災体制の強化
・災害時の交通網確保、ライフラインの早急な復旧が出来るか。 ・災害時に対応できる女性の防災担当者を増やしてほしいです。 ・地震対策の強化（水道管、電中、道路拡充、備蓄等）。 ・自然災害に強い町づくりの実現。 ・水道管が 50 年以上経過しており、地震の時にトラブルが起きそうで心配です。非常時の給水対策として、中央公園に手汲み式の井戸を設置したらどうでしょうか。 ・大雨時の災害対策強化をお願いします。現在相見地区に住んでいますが、ここ数年で 2 度冠水しています。台風や大雨予報の度に家族や自宅、車の事が気になってしまいます。 ・防災に対する備えが少ない。国道 23 号が近い事から、防犯に力を入れてほしい。町を東西に道路は良いが、南北の道が少ない。 ・防災対策の統一、徹底。皆で助け合える仕組み作り。 ・災害時の発電機の確保、ペットの保護、解体処理の事前承諾（法的に無理ならいい） ・幸田生れではない為、ハザードマップを見ても、災害時に子ども達が安全を確保できる場所を伝えてあげられない。地区と学校と家庭と全体での定期的な避難訓練をしてほしい（公園に防災かまどベンチが 1 個だけあるが、1 個ではたりないし、作る訓練が必要）。六栗の川添公園の川のむこう側にフットサル場ができる予定がなくなったと聞いた。もう一度、地区の声を聞いて、災害時にあつまれる安全な広場を作してほしい。
(2) 河川の整備
・河川の改修
(3) ため池・山の整備
・治山
(4) 消防・救急体制の充実
・幸田駅前通りの大火災について。消火作業に手間がかかり消火活動が遅れ大火となった。①火災建屋の裏には J R が走っており、消火活動がうまくいかず、又町の中に消火栓の数が少なく消火に時間がかかった。②消火栓からの水圧が少なく消火活動がうまくいってなかった。町内も人口が過密になり建屋も増加。これに対して消火栓の数がすくない様に思う。町内の消火栓の数の見直しと水圧（水量）の見直し。
(5) 交通安全・防犯対策の強化
・交通のマナーが悪い人が多すぎである。 ・防犯カメラをもっとつけてほしい。 ・色々な所に防犯カメラをつけるとよいと思う。 ・23 号バイパスを使う機会は多いが、暴走車が多く危険を感じる。 ・防犯カメラを電柱につけてほしい。 ・街灯が少なく夜道を歩いていると暗く防犯面で不安なので、街灯を増やしてほしい。 ・孫が塾から夜遅く帰ってきますが、街灯が少なく、暗くて怖いと言っていました。街灯を増やして下さい。 ・青パトはいいけど早く走りすぎです。ゆっくり走るといいね。 ・防災・防犯・交通安全の強化…他所から幸田町に来るに、防犯は絶対確認するはず。不審者を減らす取り組みを

してほしい（例に外灯を増やす）。
(7) 道路の整備
・幸田町の道には草が多く、もう少し町の美化を考えてほしい。 ・中央分離帯や歩道に生えている雑草をこまめに除草してほしい。車はともかく子ども達が自転車や歩行で通る所は綺麗な道にしてほしい。 ・朝、通勤時間の須美のＴ字路が渋滞しすぎのため信号のタイミングを見直してほしい。 ・とにかく幸田駅前の道路の整備を早く終わてほしい。交通量が多い割に危険だし、時間がかかりすぎていると思う。 ・道路整備は急務だと思います。 ・自転車専用レーンを作してほしい。 ・住宅街の道路に「みなし道路」が多すぎる。道路が狭く見とおしが悪く危険である。 ・歩道が草に覆われて歩けない。自転車の輪にからみそうでこわい。 ・道路がツギハギの所が多いです。予算の関係もありますが、整備してほしい。 ・住宅が増加し人口が増える一方で、車が多くなり、出勤時の渋滞が多くなった。信号の短さや車線の少なさ、狭さが原因かなと思うことがあり、矢印ありの信号や、車線が広がったらいいなと思います。 ・幸田町は、住んでみると坂が多く登り坂の頂点に小さな交差点（住宅団地）が多く、その近辺はカーブがあったりして、いつもヒヤヒヤしながら自宅から町への出入りをしています。又 23 号から町内への流入、通勤等、車の台数が相当数増えています。町全体が車の通り抜け道に近い感じで、道幅もせまく、住宅の垣根の樹木等で、そこから出て来る車が見えなくてびっくりする事が多い。 ・県道芦谷蒲郡線の稲基池手前付近に隣地の山林の倒木などが歩道に放置してありますが、交通安全上片付けていただきたい。 ・消防車が活動しにくい狭い道の解消早急に。 ・右折帯のある交差点に、右折指示を使えるように設置してほしい。 ・道路脇の草が伸びすぎている所が多く、歩道にまで伸びてふさいでいる事が多く歩きづらい。車道にも伸びていて、草を避ける為にセンターラインをこえることもあり、よくないと思っている。何とかならないでしょうか。 ・街路樹の下の草が管理できていない。町が管理できないのであれば、近隣住民の花壇や畑にする事を考えてほしい。ゲリラ豪雨の増加が見込まれる。アンダーパスの状態をリアルタイムで把握したい。幸田岡崎線の右折ゾーンの増設。リアルタイム渋滞情報も発信してほしい。幸田駅付近の事故で幸田高校まで渋滞する。 ・道路を平らに。将来の為に。狭い道を車がスピード出して、ぬけ道にして、ケガさせられ逃げられた。 ・幸田駅からトライアルへ続く道（歩道）の整備もお願いしたい。クロネコさんからは安全な歩道がなく、歩いていても車に乗っていても怖いです。 ・幸田町は、道路や木など雑草の除去などにとても積極的で、いつも感心して見えています。感謝もしています。仕事場は町外なので、市の方に行くと全然手入れをしないなあ、歩道が歩道じゃなくなってるなあと見えています。このまま変わらず早い気づきの幸田町であってほしいです。いつもありがとうございます。 ・自転車道をもう少し整備して下さい。駅裏の川の工事を進めて下さい。何年も前から言っているのに少しも始まりません。早くして頂きたいと思います。 ・道路もいつまで経っても歩道整備が進まず、転入の誘致をして人口や交通量が増えても以前のままで、小さな子どもが安心して過ごせる場所とは思えません。誘致するならまず整備を進めてください。

(8) 公共交通の整備

- ・三ヶ根駅に快速が止まってほしい。
- ・年中無休 1 時間に一本くるえこたんバスの運用
- ・名鉄バスの復活
- ・相見駅の電車が 30 分に 1 本ではなく、1 時間に 3 本にしてほしいです！
- ・駅を綺麗に、快速が毎回止まるようにしてほしい。
- ・幸田駅駐車場及び駅構内のリフォーム改装工事。使いやすい駅作りを期待します。
- ・幸田駅に止まる電車を増やしてほしい。
- ・高校生や大学生が駅を利用するのにも優しい街づくりとして、朝だけは、本数を増やす有料えこたんバスなども考えてほしいです。暮らしやすい街づくりを是非考えていただきたいと思います。よろしくお願いします。
- ・自然環境を守りつつ、交通の利便性がよりはかられるといいと思う。
- ・幸田駅西口にも改札を作してほしい。
- ・幸田駅に全ての快速が止まるようにお願いしたいです。そのことにより、定住化、人口減少対策になる為です。
- ・昔のバス通りにバスが通らなくて不便にはなった。若い人が外に出ていくのではなく、幸田に住みながらも働きやすい住みやすい町になってほしい。年寄りの近くには若い人もいて助け合えるとよい。年をとって運転できなくなると、バスもなかったりすると、若い人もいなかったりすると、本当に不便だと思う。
- ・1 つでもいいので、有人の駅にしてください。私は学生ですので、定期を買うことがあります。岡崎か蒲郡まで出ていかないといいけません。めんどくさいです。えこたんバスは路線を増やし、車でなくても生活できるようにした方がいいと思います。運転免許証をもっておらず、色々困ることがあります。高齢者の方も、車に乗らない選択をとる方がいると思います。
- ・坂崎区に住んでいますが、自然に囲まれていて良いと思う一方で、生活するには車がないと買い物にも不便です。周りが店など何もなく、発展している感じがありません。若いうちは良いけれど、自動車を運転できなくなったら生活できないなという不安があります。病院も少ないと思います。もう少し便利になってほしいです。
- ・幸田町には 3 つの J R 駅がありますが、三ヶ根駅、幸田駅においては、駐車場の整備が整理されていないと思います。
- ・幸田駅裏駐車場は、夜間もう少し明るくして、出入り口をわかりやすくしてほしい。
- ・J R 幸田駅に全ての快速電車を停車し、交通の利便を図る。
- ・J R の本数がもう少しあれば、すごくいいと思います。住むにはとてもいい所なので。
- ・免許返納後も J R が利用しやすい様に、バス利用を考えてほしいです。もっと小型のバスで充分だと思います。
- ・病院にいますと、高齢の方が「この時間を逃がすとバスがずっと来ないと話しているのを聞く。私たち世代は車に乗れるからどこでも行けるが、えこたんバスやタクシーの人は大変そう。ぐるっと大まわりルートではなく、直線で横切れるルートもあると便利なのでは…」と思った。バスがあるだけでありがたいけど。
- ・車ありきの生活があたりまえでなく、J R が止まったら岡崎、蒲郡にゆけられない所を考えるべきだと思う。高齢者が免許返納しても気軽にタクシーなど利用できる様、チケットなど考えてほしい。
- ・えこたんバスの運行時間、運行本数が少ない。運行ルートが大きく不便である。基幹路線を 1 路線もしくは 2 路線を決めて支線を作る。コースター等の小型バスをやめる。乗車数がガラガラ。他の自治体みたいに料金を取ってもサービスを向上する。かならずしも無料であるべきでない。
- ・子どもが名古屋の大学に行ってます。電車数が少ないためとても不便です。
- ・現時点で住みやすく良い町だと思います。公共の交通手段が利用できないのが一番不便です。えこたんバスを有料の時

間をつくるなどしてでも、もっと利用者が利用しやすいしくみにして活用できるようにしてほしいです。もしくは、タクシーを利用しやすくしてほしい。相見駅でタクシーがつかまらず、2 k m歩いて帰ることもあるので。 ・他の都市へ出かける場合に、電車が止まっているとたいへん困るため、何か行ける方法があるとよい。また、集合で近くの駅や、どこでも行けるとよい。 ・えこたんバス、改善点は色々あるがせめて時間通りに運行してほしい。監視までとはいかないが、町でやっているものにしては、目が行き届いてないのではないかと、思うところもあるのが正直なところ。（無料だから贅沢いかなという話かもしれないが…）でもそういうちょっとしたゆるさ、みんなが寛容な心でいいよってなるのも幸田の魅力。というか、幸田町民の魅力。だけど、町民に甘えてはいけないと思う。 ・75 才以上のタクシー料金を考えてほしい。 ・今現在、車の運転ができ、移動手段はありますが、今後の移動手段の心配があり、えこたんバスの走る本数を増やして頂きたいと思います。 ・交通ネットワークの充実…幸田駅以外（三ヶ根、相見）は電車が毎時停まらないので、人口増加に伴い本数を増やしてほしい。
（9）新しい移動手段の検討・導入 ・チョイソコこうたの台数を増やしてほしいのと、エリアも幸田町全域にしてほしい。 ・若い（車有り）世代は生活に不自由がないが免許返納後困っている方が多い。外出の低下により介護度の悪化などに繋がっている。交通支援が必要。 ・藤田乗合直行タクシー、チョイソコなどの運営の拡大等、マイカーを使わない事の整備。 ・「藤田乗合直行タクシー」は、よく利用させて頂き、とても助かっています。 ・幸田町外への移動が困難です。駅へはえこたんバスで行けるが、例えばはるさきセンターへの移動が困ります。はるさきでの女性健診。人間ドック等通うすべのない人はどうすればよいでしょう。車の運転が出来なくなったらどうすべきか。 ・チョイソコを充実して、今後末永く利用出来るようにしてほしい。 ・えこたんバス以外もほしい。 ・チョイソコは社会実験中であるようだが、利用者がサービスのシステムを理解不足。チョイソコがじまな所で待機、休憩している。 ・藤田乗合直行タクシーが役場まで行かなければならないのが不便。 ・チョイソコは、なぜ 65 歳以上と手帳持ちの方が対象なのか。せめて子育て世代を入れるべきではないか。若者にも手厚い行政であってほしい。
（12）住宅の整備 ・空き家バンクを充実させ、移住、定住を促進させる。安い料金で提供する。 ・住民サービスの強化（自宅メンテナンス、耐震への補助）。 ・幸田駅のトイレがきたなくて使えない。きれいにしてほしい。 ・今後増加する耕作放棄地の有効活用をしていただきたい。 ・空き家対策。 ・空き家、空き地、農地の活用を幸田町でしてほしい。
（13）市街地の整備 ・天の丸一帯を購入して、町民の憩いの場として環境を整備する。

- ・幸田駅前の、ロータリーや駐輪場の場所などもっとちゃんと考えて整備する必要があったと思う。駅の新しくできたロータリーはみんなに知られていなくて、駅前から離れているので利用者は少なく、雨の日は駅前が車で満員になっている。これは以前から変わっていない。利用者のことを考えて設計すべきだった。残念に思う。
- ・幸田駅を高架タイプの駅にしてほしい。階段が 1 つだと通勤・通学の人で混雑している。
- ・幸田駅の壁や天井が落ちてきていたら剥がれていることが結構あるので、工事をした方がいいと思う。
- ・風揚げをやる際に駐車場を整備してやらないと路上駐車ばかりで道は走りにくいし、人は道路で見ているため、迷惑でしかない。
- ・幸田町に住んでいることを人に話すと「冠水が酷いらしいね」「隣の家までどれくらい離れてるの」とネガティブなイメージであることが分かります。職場からの距離の関係で幸田町に住んでいますが、そうでなければとうの昔に引っ越しています。住みやすい環境の整備をお願いします。
- ・駅から上がる歩道の整備、駅前のコンビニエンスストア横の横空き地の活用、歩道の草刈り。
- ・幸田駅を使いやすく整備してほしい。歩道がある道路に整備してほしい。
- ・人口減少が著しい坂崎小学校区エリアの市街化を推進してほしい。
- ・公用地、公共団地の美化。全国、他から注目される町でなくても良い。住みよい、生活しやすい町であれば良い。町民会館の外壁の色をもっと美的センスのあふれる色にしてほしい。
- ・三ヶ根駅前の駐車場整備。形原、西浦、幡豆から利用者を呼ぶ。
- ・駅前の再開発。他の市町村の人達が寄って来る様な新しい町作りをしてほしい。
- ・幸田町の顔となる幸田駅は、利用者も多くいるが、古く、きたないイメージがある。新しい駅にしてほしい。
- ・幸田町駅前の整備。
- ・三ヶ根駅が古く、雨の降る時、ホームの屋根の長さがなくてぬれてしまうので、屋根を大きくしてほしい。
- ・幸田駅周辺の活性化。
- ・J R 幸田駅前の工事中の道を早急に完成させてほしい。現状ではポールが危険で車のすれ違いが怖い！いつまでこのような状態が続いているのか。J R 幸田駅前の空き地を早く有効活用してほしい。年寄りが考えないで、30 才以下の人達に考えてほしい。
- ・J R 幸田駅の駅裏から改札まで遠い、行きにくいので、駅裏からもホームに行けるようにしてほしい。
- ・幸田駅（周辺も含む）を整備して、町外の人を訪れる町にしたいです（訪れたい→住みたい→人口増加）。
- ・現在進行しているかわからないが、三ヶ根駅通路、自転車でも通行できるように、階段の修理、補足を希望。
- ・町内の時報がうるさい。深溝愛宕山の交差点があぶない。幸田駅までの道に歩道がない。
- ・駅の近くに住んでいます。利用者のごみのポイ捨て、深夜の話し声に迷惑しています。何か対策をしてほしい。
- ・相見駅西側の更なる開発。
- ・幸田駅周辺が、電車に乗る目的だけの利用にならないよう、若い人や学生が集える本屋、文具店、飲食店が増えると、いつもにぎやかになると思う。駅前がさみしい。
- ・幸田町の老朽化が進んでいると感じるので、幸田ならではの（筆がきモチーフ）の駅にしてほしい。
- ・三ヶ根駅バリアフリー化が早くすすむとうれしいです。駐車場もできるとうれしいのですが、土地がないので難しいですね。
- ・住みやすい場所にして頂きたいと思います。
- ・古い都市計画の見直し。新しい都市計画の策定。
- ・主要道路沿の市街化。
- ・幸田駅はとても P R する大事な場所です。寒い時は暖かい場所、暑い時は涼しい場所があり、電車が止まったり災害のと

き、利用者も安心安全なひなん場所になれる。幸田はいいなーここに住みたいなーと日常で感じてもらえる駅に。
(14) 公園・緑地の整備
・子どもを遊ばせたり、老若男女みんなが利用できる大きな公園があると嬉しい。 ・子どもが夢中になるアスレチックなどの遊び場がほしいです。 ・ゲートボール場整備にお金をかけるなら子どもが遊べるような公園づくり整備をすべき。 ・公園の整備と運動ができる公園を増やしてほしい。 ・危ないところや直してほしいところを迅速に直して下さりいつもありがとうございます！公園をキレイにして下さりありがとうございます！私は幸田が大好きです。幸田町に住めてよかったと思いません！！いつも感謝感謝です。 ・すてきな公園がほしい（安城市とかは遊べる公園が多い）。 ・三ヶ根ハイキングコースの整備、駐車場の確保。自分の住む所に公園が無いので作ってほしい。 ・緑化運動は持続可能なものやってほしい。幸田駅前をよくしてほしい。 ・しだれ桜公園のまわり、1年を通じて手入れをしてほしいです。 ・草が多すぎる。248の歩道にも草が多くて歩けない。歩きたくない。公園にも草が生えすぎ。地域の草取りで対応できるレベルではないし、そもそも行政の仕事だと思う。「公園が荒れている地域は治安が悪い」と言われるので、もっとしっかり整備してほしい。子育て世代が増えているので、急務だと思う。お年寄りも大切だが、今後子どもたちのために動けない市町村は衰退すると思う。 ・幸田町らしい自然が溢れた町づくり。河川に花を植えたり木の植栽（さくら）をしたり、緑をもう少し増やしてきれいな町づくりをした方がいいと思います。 ・深溝地区のスポーツ施設および生涯学習施設、農業体験・実習施設など、自然環境を利用した公園を作ってほしい。逆川区の山、川を利用した自然公園を。
(15) 墓園の整備
・墓地は必ず不足すると思う。現状では全てお寺さんまかせになっていると思う。
【環境】
(16) 自然環境の保全
・自然が多く、空気の綺麗な幸田町が好きなのでこれからも頑張ってください。 ・商業施設を増やしていくのもよいが、自然を守り幸田町の良さを残した上で、住みやすい街を作っていただきたいと思います。 ・再エネ推進はやめるべき。不安定な電力は不便、後々廃棄の問題もある。 ・人口増加より自然環境の維持に力をこめて頂きたいと思います。幸田町の魅力だと思います。 ・人口増加も良いけれど、自然は大事に守ってほしい。 ・自然の保存。
(18) ごみ問題への対応
・ゴミについて、燃えるゴミとプラスチックゴミは家庭内でよく出るゴミですが、なぜか捨てる場所が違っており遠いため、とても不便に感じているので改善してほしい。 ・とても住みやすい良い街だと思います。段ボールの回収場所を増やしてほしいです。 ・ウォーキングしていますが、とにかくゴミが多い。 ・ごみ分別をもっと簡単にしてほしい。岡崎、豊田の様に袋で出す（不燃ごみ、プラゴミ等）様になれば仕事行く時に出す

のが楽になります。

- ・粗大ゴミの収集日（日）50～60 台の車があつまり1 時間以上待つ時がある。日曜日にできる日を月2 回としてほしい。火～木の間は1 日休みとしてはどうか。また混雑すると思われる日は予約制としてみたら良いか。
- ・週に3 日程ウォーキングをしており、ウォーキングをしながらゴミを拾っています。週に3 日もゴミを拾っているが、とても大量のゴミが捨てられています。たばこは、多い時では50 本程になります。たばこだけでなく、コンビニで購入した物の食べた袋、ペットボトル、アルコールの缶など多いです。きれいな町というより、ゴミはゴミ箱へ捨てる人が住む幸田町になっていくといいです。
- ・ゴミ捨て場所が遠い。
- ・ゴミの集荷場所をもっとふやしてほしい。今は車でやっているが、車の運転が出来なくなった時、もって行けなくなる。特に燃えないゴミの場合、場所が遠すぎて車でしか行けないし、回収時間（朝8 時）が早すぎる。もっと遅くまでやってほしい。
- ・ゴミ袋が安くなったのはいいのですが、物が悪くなりすぐやぶれる。

【産業・振興】

（19）農業の振興

- ・休耕農地の草が目立つ。
- ・イノシシの害が多くなり困っている。農業が出来ない状態が続いている（2 年前から）。
- ・高齢化により農業に従事できる人が減少している上に、イノシシなどの害獣の被害も大きく、耕作放棄地が増えています。わが家でもイノシシ対策に頭を悩ませています。柵の助成はあるものの、費用対効果を考えると躊躇してしまいます。町として、今後どのような支援や方策を考えているのか教えていただきたいです。持続可能性のある自治体としてあげられている幸田町をほこりに思います。役場の皆様ありがとうございます。
- ・田園の管理(畦草管理、水位管理)の出来ない坂崎地区の農家への町からの直接的な指導がほしい。

（20）新産業の創生・企業の立地

- ・産業の定着と新たな開拓。
- ・地域産業の活性化（農業等＋企業誘致）。
- ・幸田町は産業基盤がしっかりとあり、経済的に豊かに暮らせるまちだと考えます。一方で、若年の女性を中心に、多様な人材が活用できるという地域の雰囲気はあまり育っていないように思います（私自身、大学を卒業後数年間関東で仕事をしていました）。産業構造をより多様にし、文化資本を今以上に充実したりといったことが実現すると、この点を解決に向けて近づけられるのではないかと考えています。
- ・JR 幸田駅は、働く人が多く利用しています。その集客力を生かして、彼らが仕事帰りに立ち寄れる居酒屋やジム、外食チェーンなどを誘致してほしい。あと、車のディーラーも（トヨタ、日産、スバル、マツダなど）あっても良いと思う。
- ・もっと工場の誘致が出来るといいと思います。難しいですが。
- ・街がすたれていく共通点として、若者が離れていくことだと思います。若者が離れる理由は、（就職場所が無い）（子育てし辛い環境）だと思います。幸田町は、デンソーやパナソニックもありますし、近くの市が大きいので、就職場所はそこまで困らないと思います。だからこそ、子育てしやすい環境で他の市と差をつけることで住みやすくなり、若者世代が結婚後に住みたいと感じると思います。地元の人もしくはそうじゃない人、どちらのタイプでも不安なく子育て出来るように、経済的、精神的にフォロー出来る環境を大切にしてください。
- ・山間部への工場立地。
- ・有名企業誘致。インフラ整備。

- ・製造業のみでなく、多様な人材を必要とする産業（人材）、企業を集めて人口を増加されてゆく方向も考えること必要かと思います（長期計画として）。幸田町は緑も多く、川もそうである。ただ単に多だけでなく、緑化という見方で人々が楽しみに来るという方策があると良いと思います。
- ・工場が増えすぎ。
- ・古くは「三菱レーヨン」により活性化していた。
- ・ＩＴ産業などの新しい工場企業の誘致。中途半端なものではなく、一流企業を呼ぶことが、この幸田の将来の躍進につながると思います。久保田の方のフタバ産業近辺の山の中に、将来性のある企業を是非呼んでほしい。昔、坂崎にＳＯＮＹの会社を誘致した時にはものすごく画期的で新鮮に感じました。友人に「えっ！幸田にＳＯＮＹが有るの？！」と驚かれました。その様な誰でも知っている一流のＩＴ企業が良いのです。あれから見事に幸田は発展したのでは？と思われます。

（21）商業の振興

- ・幸田に遊びに行きたいと思うような施設を誘致してほしい。
- ・買い物も近隣の市に行って町民が町外で消費することは町としてはもったいないことです。魅力のある商業施設もできるといいなと思います。
- ・スターバックスなど若者世帯に響く魅力を持つ施設の誘致。インフルエンサーへの案件依頼による幸田の魅力発信。隣町の岡崎への移住者が増えているところに相乗しべく、まずは家賃の安さやわかりやすい魅力をきっかけに幸田を知ってもらい、若者世代の幸田への移住を促進する。
- ・UNIQLO や無印など、ファッションや雑貨のお店が町内に増えたら便利だなと感じます。
- ・環境は良いのに飲食店が少ないので、飲食店など出店しやすい制度があると活性化しやすいのではないかな。
- ・スターバックスとミスタードーナツを作してほしい。
- ・最近若い方を多く見かけるようになりました。私の家の近くのカフェにも若い方が歩いて来て見えます。これからはおしゃれなお店が増えるのかなと思っています。
- ・魅力あるお店の誘致。
- ・気軽に利用できる飲食店を増やしてほしい。丸亀製麺やサイゼリヤなど、リーズナブルで家族で利用しやすいお店。
- ・駅周辺のお店の整備、若者が行きたいショッピングモールがあると町外に行かなくてもすむ。
- ・飲食店を増やしてほしいです。
- ・若者が来そうなお店を作る。
- ・商業施設を充実させてほしい。
- ・商業施設の充実。
- ・スーパーは多くあるが、喫茶店（コメダコーヒー）が少ないと感じる。
- ・豊坂学区は買物が不便。シニアは免許返納したら本当に困る。過疎地みたいで医院も遠い。誘致してほしい。高齢者は車が使えないと行動できません。
- ・買物に行くことができない人のために移動販売を活用できるように、システムがあるなら教えてほしい。
- ・幸田の商店街の発展と活生化を図ってほしい。
- ・スターバックスがほしいです。国道 248 号線沿いに建てたら人が来ると思います。
- ・娯楽施設がもう少しほしい（有料でも、アスレチックとかカラオケ、駅近くに居酒屋とか）。
- ・23 号バイパスに憩いの農園を新設する。上下線どちらからでも出入りが出来るようにすると、町が活性化すると思います。

・幸田駅前にもっと商店を作してほしい。もっとイベントやフリーマーケットもしてほしい。 ・大型商業施設や医療施設の充実。 ・幸田駅周辺の再開発。安城駅近くの「アンフォーレ」のような施設を駅の近く（又は駅上）に建設。 ・室内で遊べる場所を作してほしい。子どもと一緒に食べれる飲食店を増やしてほしい。 ・幸田駅周辺の店舗等の活性化。 ・駅のうらで大きな平屋でなんでも屋がほしい。 ・幸田駅前がもっともっと昔みたいにお店が出来てほしい。火事になったのがショックでした。 ・幸田駅前銀座商店街については、大失敗だと思います。
（22）観光の振興
・通過する町、幸田町から愛知県や全国に発信できるイベント施設の充実が急務。 ・幸田町へのドラマ、映画の誘致は必要ないと思う。町民はあまり興味無いし、街の活性化に繋がっているとはあまり思えない。 ・子どもたちは幸田レンジャーが大好きと言っています。消防ひろばのイベント、笑顔の方が多くて雰囲気もよく、とても楽しかったです。来年度以降も気軽に参加できるイベントがあると嬉しいです。 ・相見駅前の芝生で夏祭り開催。 ・幸田町に越して来て3年が過ぎました。近所には医院もスーパーも歩いて行ける距離にあり、週1回程のウォーキングでの遠望峰山もステキだし、町民会館でのイベントも参加してますし、フィットネスルーム等の設備もとても良いと思っています。が、唯一、J R 幸田駅を小さいならその小ささを生かして可愛いレンガ造り等（o r 木造でも）にして、可愛さを前面に出すと観光的にもプラスになると思います。うわさによると、ジブリ作品のモデルになったとも聞きましたよ。 ・幸田町は河津桜やしだれ桜がとても綺麗なので、ソメイヨシノの名地も作ってほしいです。 ・幸田町を知ってもらうこと、立ち止まってくれることが重要だと思う。SNSで話題になることも重要なので、思い切った大胆なイベントやPRをしてほしい。例：アイボ動物園、ペイペイ買物イベント。 ・町が費用負担し、若者が中心になって実施されるイベントで活性化（例えば名古屋のど真ん中祭りの様なイベント） ・質の低い観光資源づくりを、むりに資金をつかって行わないでほしい（ロケツーリズム、キャラクターづくり）。今すでにある観光資源（本光寺や遠望峰山など）を、地道に整備しながら山林保全を行うなど、複合的に政策をすすめてほしい。 ・幸田町の良いところは、とにかく自然が豊かで田んぼや山がきれいな環境です。山の中に、又、美しい海が眺められるところにおしゃれなレストランやカフェがあったら豊かな時間がすごせます。既存の三河湾スカイラインの道路が（今はすたれていますが）あるので、それに手を入れて見直し、途中の景色の良いところにステキなレストランや子どもの遊べる広場の公園を作してほしい。商業主義のディズニーランドのような物ではなく、幡豆のこどもの国のように、芝生の広場、キャンプ場、アスレチックなど、広い自然公園が良い。そこに行くためのアクセス手段も提供しないといけない（たとえばこたんバスとか…）。
【健康・福祉】
（23）健康づくりの推進
・健康の町を表面に出し福祉や医療の充実と各種生涯スポーツの取り込み ・老人でも散歩がてらやれる器具などある老人向公園があると良いと思います。1人でも軽く出来る様な。 ・健康促進イベントを増やしてほしい。健康寿命を延ばすにはウォーキングが最適。幸田町の豊かな自然を感じるイベントを。 ・健康なまち幸田の本当の健康の探究を願います（アレル源の原因、薬に頼らない健康作り、不妊の原因などの啓発、探

究など）。ふだんの日常で健康への弊害があるものの存在。国にまどわされない、振りまわされない健康づくり（ワクチンは本当に必要なのか。ワクチン接種を拒否してる市もあると聞きました）。

（24）医療体制の充実

- ・幸田町は適度な規模の町だと思います。みんなが親しみやすい、意見が反映されやすい、新しいことも取り入れやすくなるというと思います。暮らしやすさには医療の充実が不可欠です。病院に行くために岡崎や蒲郡など近隣の市に行かなければならないことは不便であり、町の人口減少にもつながります。
- ・高齢化が進んでいる中で、やはり医療設備の充実化が必須ではないでしょうか。検査などをわざわざ岡崎まで行かないと出来ないのは大変です。
- ・小児科が少ない木曜日休みの医院が多く困る。
- ・子どもの検診内容を見直してほしいです。検診したく無い訳ではありません。時代と共に見直して、お互いに効率よく意味のある事をやっていく事は財政の無駄を省くことにもなります。お医者さん也多忙な方が多いです。時代に合わせて変わって行く事が、何事も大事だと思います。取り残されると、新しい世代は入って来ません。より良い町になる事を願っています。よろしくお願いします。
- ・総合病院の誘致
- ・産婦人科の設立求む。
- ・藤田医大岡崎医療センターが幸田の近くにでき、大変便利になりました。運転手さんも、病院で働いている人もみんな親切で、一生懸命やってくれて素晴らしいと思います（幸田町も病院建設のために多額の補助やコロナ下の支援、乗合タクシー等、又、ベット等の寄付のおかげです）。
- ・住民健診と胃・大腸健診を同日に行える事を早く教えてほしかった。大腸ガンのキットが事前に用意されていないのが残念。
- ・幸田町内に総合病院を設置し、医療等の利便性及び充実を図る。
- ・医療サービスをもう少し受けやすく、情報発信をしっかりと行ってもらえると嬉しいです。以前節目年以外の歯科検診を受けましたが、事前に電話したり書類を受けとりして行ったりと不便で、歯科の料金明細も不明瞭で次の年からは受けるのをやめてしまいました。他の検診に関しても、受付終了のお知らせなどは来るものの、受けられることや申請方法の案内はなく不満です。改善していただけると嬉しいです。

（25）子育て支援

- ・子育て支援として、大型ショッピングモールがあればよい町になる。
- ・子育て支援
- ・地元の PR も大事だと思いますが映画作りよりも、公共施設や教育、子育て支援に向けた財政を行ってほしいです。
- ・母子手帳のデザインがもっとかわいいのだと嬉しい。
- ・高齢者を優遇する施策より、子育て世代をサポートする施策をお願いします。
- ・母子家庭や子ども支援などを今以上にわかりやすく充実させていただきたいです。
- ・子育て支援の充実化。
- ・子どものイベントがたくさんあるとよい。
- ・子育ての環境の充実がもっと大切。
- ・女性が働きながら子育てしやすい環境を整えて下さい。中学校までの給食費の無料化を望みます。団塊の世代がふえていくので、老々介護が問題になってくるかと思います。支援の施策をお願いします。
- ・子育て世帯が激増していると思いますが、支援は後手と感じます。今後の幸田町が発展するか（愛されるか）、衰退す

るかは、今が正念場だと思います。期待しています。

- ・未来を見つめ、子育て環境に力を注いでほしい。自然環境の保全維持。幸田町の良い所は、住・職・自然のバランスが良い点であり、これをこれからも維持する町政をすすめてほしい。児童、生徒の運動クラブ、高齢者団体等の運営に、ボランティアの積極的参加の支援を町より啓発するとともに支援をしてほしい。
- ・大学生にも通院入院医療費無料にして下さい。下の子どもも大学に行く予定です。
- ・人口が増えている全国の市町村の中で、子育てに力を入れている市をモデルにしたいと思っています。人口増加が著しい市がいくつかあるのですが、いずれも子育てのしやすさで選ばれています。
- ・これからは未来の子どもたちのために投資すべきだと思います。子育て世帯への支援が充実していれば、おのずとファミリー層は増えて行くと思います。幸田町は子育て世帯に対しての支援が他の市町村に比べて乏しいと思います。
- ・低所得以外の世帯でも、お金に苦労しています。子育ては中学から大学までが大変です。幼い子どもはお金はかかりません。中・高・大に暖かい支援を願います。
- ・少子化の時代に4人の子どもを育てていますが、仕事、子育てのバランスが難しいため、子育て世帯の働き方についてもう少し重きをおいてもらいたい。また、物価高で子どもはとにかくお金がかかるため、町独自で対策してほしい。子育て世代はとにかく忙しいです。
- ・高校生まで医療費無料は本当にありがたいです。
- ・子育てしやすい環境。
- ・2023年の全国の合計特殊出生率は1.20になり、過去最低となった。年間出生数は約75万人である。年間死亡者は約150万人を超えているのに…。子育て支援の充実には欠かせないのが保育士であるが、保育士の賃金は全産業平均と比べ、5万円以上低い（月額で）。手厚い支援のために保育士を増やすだけでなく、賃金の引き上げも当然必要である。バランスの取れた施策が必要と思われる。高齢者数の増加によって財政的に厳しいと思われるが…。
- ・須美地区の通学は大変で子ども達が安全でいてほしいので、スクールバスをぜひ運用してほしいです。
- ・子育て環境の充実として、0才児の保育の支援、子どもの家等、学童の保育、遊び充実。
- ・今後、人口減少していくことがわかっています。子育てしやすい環境を充実させて頂きたいです。特に若い人が好むショッピングモールが欲しいです。
- ・子どものときは楽しくて良かったけど、大人になって戻ってきたら、残念なことが多く感じる。子育て環境は悪くないが、久保田から支援センターは離れており、行きにくい。公園は歩いていける距離にはないし、駐車場もない。古くから行こうとは思わない。坂崎学区に大きな公園や支援センターがあったら…と思う。
- ・子育てしやすい町づくりをしていただきたい。岡崎市みたいに、役場に行かなくても手続ができる仕組みを作してほしい。岡崎イオンモールの中に土日でも市役所手続ができる場所がある。幸田町にも同様のしくみをつくってほしいです。
- ・子育て環境の充実…人口減少対策として、若者を幸田町に引き込むのには、子どもを育てられる・育てやすい環境であることが重要だと思います。「保育園の受け入れ先がない」ことは小さな子が多いという良い証拠であり、解消すべき問題と言えます。
- ・子どもは幸田町で育って幸田町が好きなので（地域の自然や学校など）、そんな子ども達のがのびのびと遊べたり、見守ってくれる大人がいたり、また将来的にここで子育てがしたいと思えるようなまちにしていってほしいと思います。

(27) 子どもの居場所の充実

- ・児童館など、子どもの遊び場が古く、遊んでいる時に地震がきたらと思うと心配な時があります。
- ・共働きです。児童クラブの延長を強く希望します。18時30分では仕事を終わらせて迎えに行くにはなかなか難しいです。

延長を希望できる制度など必要だと思います。これからの時代、人口を増やすには新しい世代が必要です。安城市や岡崎市の友達から『幸田って昔から子育てママに厳しいよね』と言われます。高齢者対策も大切ですが、子育ての環境を充実させることはとても大切だと思います。

- ・幸田町は緑も多くとてもいい街だと思う。だが、本当に子育て支援施設が残念に思う。是非とも乳幼児の子どもたちののびのびと遊べる屋内施設、家庭ではなかなか用意できない木の玩具など、子どもたちが遊びから学べる環境を提供していただきたいと思います。豊橋の未来館や蒲郡の児童館のようにとは言わないが、そのような施設があると子どもたちもじっくり遊びに集中でき、子育てもより充実できると思っています。子育て支援の充実が人口増加に強く関係すると思います。
- ・児童館の老朽化が気になります。雨漏りや手すりや壊れたままになっているところもあるので部分修繕だけでなく、全面改修も検討してほしいです。
- ・雨の日でも子どもが遊べるような施設を作してほしい。
- ・0～3才児の子をもつ親になりますが、雨の日でも体いっぱい動かすことのできる支援センターなどがあるといいです。利用のない体育館を無料開放などしてもらえるといいです。空調の整備もお願いします。また、スーパーに託児施設があるとすごくありがたいです。
- ・働きながら小学生の帰宅後の育児をするのは、ほっておくことがほとんどになってしまいます。部活動やクラブもなく、夏休みプール開放もなく、裕福な家庭はいいのかもしれませんが、うちのような習い事も特にない子が能力をのばせるような施設があるといいです。豊坂ほっと館のようなところは、午後7時くらいまで使えると良い。ルールも（親の送迎等）必要はありますが、放課後デイのようなところは、発達の支援の有無を広げてほしい。病院の診断がなくても必要な子どもが多いです。
- ・最近感じるのは、共働き世帯の多い中、子ども達が帰宅後に公園等で過ごしていることです。放課後児童支援の充実を。
- ・自然が多く、地域の方たちもやさしく、子どもを育てるには良い所だと思う。が、反面、共働きの親としての意見は、周りに頼れる親せきがない中、フルタイムで共働きしていると、子どもの体調不良時の対応に困る事がある。病児保育（こっこ）は時間が対応できず、仕事も休めないという中で、保育園にあずけるのも嫌がられる。役場も平日しかやっていない為、用事がある時は仕事を休まないといけない（3人育児中、入院、退院対応で有休残が少ない状況）。そういう時に安心して子どもをあずけられるような対策・施設を作っていただきたい。

（28）障がい者福祉の充実

- ・障がい者にやさしい町政や仕組みをお願いします。町民にとって利益となる情報をきちんと伝える役場であっていただきたいです。親切・丁寧な幸田町職員さんの育成をよろしくお願い致します。
- ・農作業や清掃など、動きのあるB型事業所を作してほしいです。
- ・身体障害者の連絡体制、医療環境の整備。夜間の医療相談、整備。

（29）高齢者福祉の充実

- ・ニュースなどを見ても、少子化に対する対策や支援は色々見聞しますが、高齢者に対する政策も支援も少ないと感じています。確かに未来を担う若者はとても大切だと思いますが、老後が安心してなければ若者にとっても未来は不安だと思います。明るい未来が保障されていれば、子どもを育て、頑張って仕事をし、だんだんと年をとっていつか病気をしたりケガをしたり、1人になったりしても不安なく過ごせると思います。行く道が明るくなければ明るい未来は想像できませんよね！
- ・住民が安心して老後も住みやすいような町政を望みます。
- ・幸田町には高齢者の憩いの場所が少ない様に思います。町が運営するスーパー銭湯風のものであればうれしいです。
- ・私達はだんだん年を取るので、よりよい福祉をお願いします。

- ・私は現在 71 歳になりますが、70 歳を過ぎ、急に雇用が少なくなりました。まだまだ働きたいのにこの先が不安です。高齢者の雇用促進対策を考えて下さい。現在シルバー人材センターとシニア・シルバー世代サポートセンターを利用していますが、それでも少ないです。私は、現在アパートで一人暮らしをしています。子ども達とは疎遠になっているので、この先施設に入ることを考えています。保証人等、入居するためのハードルが高いです。町の方で保証人等肩代わりできる対策を考えてください。民間に頼むと費用が高いので頼めません。
- ・独居老人に対しての支援。金銭的支援ではなく（老人は意外とお金持ち）、人的支援が必要なのではないか。認知症の進行を遅らせるような活動を推進する。
- ・生活用品、食品、飲食店からのウーバーイーツなどの配送を別でサービスとして確立し、出向かなくても消費が進むよう体制を作る。もしくは運転補助機能の車へ投資し、高齢者でも安心して乗って移動出来る車を作り、レンタル出来る政策があるといいなと思いました。難しいし（金銭など）何年かかるかわかりませんが、これまで通りお体に気を付けて頑張って下さい。
- ・高齢者の雇用機会を充実させてください。
- ・最近問題になっている老人介護施設について、安心して入れる施設を是非もっと町に作ってほしいです。子ども達が遠くで生活しており、親の面倒を見たくても出来ない家族が多々あります。地主さん達の問題も多いと思いますが、その人達も年を取ったら必要です。その為に年寄りも入居する前から準備として、毎月積立貯金をするとか何らかの手段も計画して是非やってほしいです。幸田町は空気の美味しい町。最後迄生活したいです。
- ・高齢者、老人にコミュニケーションの場がほしい。
- ・高齢者の能力を地域で活かせる仕組みをつくってほしい（特に子どもの見守りや学校行事など）。

【教育・文化】

（30）学校教育の充実

- ・小学校の特別支援学級を担当している教員、支援員の専門知識が乏しく、支援級全体の意識、知識改革が必要だと思う。支援に当たる人員の増員だけでなく、各人員の意識、知識の向上が急務だと感じる。学校外の専門家を常駐（あるいは頻回訪問）させ、監督・指導を行い、全面的に見直すべき。
- ・教育環境の整備。
- ・小・中・高だけでなく、大学まであるべき。
- ・小、中、高、大学生の支援。
- ・幸田高校のレベルをもっとあげてほしい。教育熱心な家庭も多いのに、近いからと幸田高校へ進学していく子が多い。もしくは町外へ行ってしまう。町外からも来たい学校になってほしい。
- ・幸田町に病院の次に「大学」を誘致してほしいです。誰もが行きたいと思う学校を世界中の中から選抜し、世界中で活躍する人材を輩出する。幸田町のシンボルとなれる大学を。幸田町ならできますよ。
- ・小、中学生にもっとタブレット教育を活用してほしいです。
- ・豊橋市立八町小学校のイマージョン教育をテレビで見ました。とてもすばらしいと思ったので、幸田町にも導入できれば、町外からの転入もあるかと思います。
- ・学校教育の面で、小、中学校の不登校が増えています。自宅でも授業がオンラインで受けられるようにしてあげてほしいです。
- ・フリースクール設置

（31）健やかな青少年の育成

・こどもたちが大人になっても住み続けたいと思う町になってほしいです。そのためにはこどもたちの活動(スポーツ、勉強、体験等)を町内で充実させ、幸田町で子育てしたい、幸田町で生まれて良かったなどと思えるような環境があるといいと思いました。町外から引っ越してきた人たちも、幸田町の人の優しさに触れ、いい意味で伝染していったら、思いやりのある温かい町になると思いました。 ・学校で授業以外の時間の活動やイベント、部活動が減っているので、外部のサポートを入れて生徒の育成に力を入れてほしい。 ・中学校の部活は外部コーチを雇うなり、なんとか続けていってほしいです。部活がなくなる→体力が落ちる、ゲームの時間が増える、不健康な体ができあがる→医療費が増える→悪循環です。 ・児童クラブ(特に夏休み)高学年でも利用しやすい内容を作るなど(有料でもいいので、生活に役に立ったり、学習等の内容を取り入れるなど)、また、職員の高齢化しないようにしてほしい。
(34) スポーツ施設の充実
・運動のできる器具をあちこちの広場などに設置して(外国の様に)、気軽に運動ができるようにしてほしい。
(35) 歴史・伝統文化の継承
・昔からある地域の集まりやお祭りが負担になり若い人が住みたいと思わない地域もあるので時代に合わせて廃止するなど考えた方がいいと思う。
(36) 文化の振興
・町民会館周辺の駐車場について。夏休みやイベントのある土日など満車になることが多いので、図書館に少しでも用事がある時など駐車できずに不便です。駅前のように入口にゲートを設置して土日のみ時間制にすれば混雑緩和になるかもしれません。 ・ハピネスヒルでの各種イベントはとても充実していて、とても良い。 ・各地区にある老人憩いの家のような、箱だけの施設ではない、しっかりした文化施設がほしい。常駐の学芸員や指導の係がいて、文化的な学習や発表ができる施設がほしい。幸田の歴史が分かる博物館がほしい。小学生が菱池の歴史や古代の生活の様子を学びたい時、そこで学習できるような施設がよい。必ず学芸員がいて対応してくれるものであってほしい。 ・文化の保存、継承。 ・図書館に電子書籍を入れてほしい。
【協働・参画】
(38) 地域活動の推進
・やる人とやらない人などで、住民同士が分断しなくてもいいように、今の時代の価値観や共稼ぎ世代などの価値観にあった負担感が少ない町内会やPTA活動を率先して推進してほしい。 ・現役世代の、地域活動への参加を応援すると街が活性化すると思います。地元企業にボランティア休暇制度の作成と届出を助成するとともに、現場でボランティア証明証を発行(用紙を町が用意、認可団体へ無償支給)してはどうでしょうか。 ・とにかく町内会やPTAといった昭和の遺構が残っていることが許せない。それらの積極的な廃止支援を町で進めてほしい。例えば、今まで町内会費となっていたものは住民税を上げてでもそちらから徴収。またはNPOや3セク化などして、町内会が"自主的"にやっていた清掃活動や資源ごみ回収を任せるなどをしてほしい。 ・区費などが高い。会議などで出されているお茶はなくてもいいと思う。奉仕活動が多い。 ・町内の誰もが自由時間に利用できる施設がほしい。

- ・草刈などいつも大変です。1年に何回もあります。ずっと変わらないので、この先、年をとっていった時やれなくなります。何か良い方法ないでしょうか。
- ・ボランティア（軽い）活動に参加しやすい環境があると良いかと思います。
- ・高齢者が多く、区の草刈りが困難なので、町から業者に依頼してもらえたらまちはもっときれいになると思う。
- ・地域によって差はあるが、子供会、PTA、老人会どれも継続していくのが難しく、隣の地区と合併を考えると反対意見も多い。資源回収も以前程集まらないが、やめてしまうと高齢者の方で運転できない方が困る。集める側の子どもも少なく困る。住宅を増やす計画があると聞くと、その時はよいが、その後桜坂区のように現在は子どもの数が減少してしまい困ることになる気がする。田畑を維持するのが難しいのはわかるが、計画的に増やされすぎるのも困る。
- ・幸田町に住んで50年以上になります。住みやすく、良い人が多くて第2のふるさとですが、車に乗れなくなったとたん、不便でくらしにくい淋しい町になりました。つくく感じます。又、古いしきたりなのか、町税の他に地域の負担金や寄付も多く、今の時代にそぐわないと思っています。
- ・各組や町の役をなくしたり減らすべき。住みにくい町幸田町と聞くことがあります。
- ・地域の奉仕作業が多すぎる。町民や公務員に負担を強いるのではなく、業者に委託すると思う。若い人は、作業が多いのを嫌がって転出していると思う。
- ・地域の奉仕活動が多すぎる。町内費が高い。
- ・地域活動の内容をもっと教えてほしい！！参加しやすい様に！！
- ・幸田のイベントなどで、子育て世代フリマ出店料無料でできるようにしてほしいです。出店料無料だと、タダ同然やお安く、他の子育てでしている、ほしいと思ってもらえる方におゆずりできると思うので。半田や大府、東浦のような大きい楽しい公園うらやましいです。新城も外食や娯楽施設、ゲームセンターやショッピングモールがあれば嬉しい。学校の近くに児童館があったら嬉しいです。産婦人科もあれば、映画とかドラマより生活が充実してほしいし、幸田に来て地域のそうじ多すぎて困るよねとよく話してます、ママ友と。
- ・切の役員が強制的に年寄にも回ってくるので困ります。
- ・地域の草刈が大変で、私は一人暮らしなので、年何回かの草刈が大変です。自分の畑の草刈りも出ない時があります。
- ・本当に心苦しいのですが、草刈りへの参加が大変です。仕事とか用事が日曜日に集中しているので、毎回負担に思っています。時間が朝早く（6時）とかなら喜んで参加できますが、辛いところです。出れない人は他の日に各自で行うとか、やれる日に頑張るようなルールがあったらいつも思っています。辛いです。すみません。
- ・若い人が楽しく気軽に参加、企画できるイベントやコミュニティの場所が多く有ると良い。合コンの様なものも有ると良いかと思う。年代を問わずオープンな遊べる場所、いつ行っても楽しくなる何か（マージャンとかゲームとか体操とか）が出来る場所が有るとおもしろいかも。2024年10月20日半崎美子コンサートに行きました。とても感動しました。勇気と希望が湧きました。幸田町の歌“こたの空へ”、CDは何処に行けば手に入りますか？回覧などでお知らせ頂くと良いですが。幸田町は住みやすい町です。大好きです。
- ・人口減少、高齢化になり、区の道役、川役は非常にたいへんである。草は年々大きくなり、気温は高くなり、熱中症にもなりかねないので考えてほしいです。行政の方で考えて下さい。
- ・子どものワークショップ等のイベントなどは、幸田町在住に限らず他市町村の子どもたちも来られるようにしてほしいです。幸田町に住んでいなくても、幸田町の魅力を知ってほしいから。
- ・お祭りの時、朝7時から号砲（音花火）を上げないでほしい。うるさくて寝てられない。
- ・朝早くに花火が鳴ることが多々ありますが、何の花火かわかりません。タウンメールで何の花火なのか教えてほしいです。
- ・産業などもっと坂崎学区を住みやすい場所にして移住者が増えてほしい。人が少なく、コミュニティが大変。共働き時代だか

ら、そういう活動は減らしてほしい。
(39) 多文化共生の推進
・埼玉県川口市のような移民政策は反対です。身近にも中国人に傘を持っていかれそうになった経験があり、日本人の住みやすい町を推奨願います。 ・外国人の増加による治安の低下防止（日本人も含む）。外国人への差別ではなく、幸田町の人口増加による中の問題点として、外国人の増加に対応が追いついてないのは日常生活の中で明らかな問題点の1つだと思う。実際トラブル（近隣）の9割は外国人になっている。幸田町の位置等考えても問題点だと思うので、今後の幸田町のまちづくりに何か対策を考えて頂きたいと切にお願いしたいと思います。 ・ゴミ当番をせずに地域のゴミ集積場にゴミ捨てをする海外の方が多い。注意しても「日本語ワカラナイ」と言って不法投棄している。特に集合住宅の方がルールを守らずゴミを捨てている。せめてゴミ当番をしてほしい。小、中学校に補助員を増やすといいと思います（特別支援クラスや各学年に1人など）。
(41) 情報の発信と管理
・町の目指す姿を議論し、また、出来るだけ具体化し町民にシェアしてほしい。 ・町内放送がいつも聞き取りにくい ・広報以外にも情報発信してほしい。しているのかもしれないが知らない。 ・町内放送が聞き取りづらい。 ・幸田町のイベントのPRを増やしていただきたいです。知らずに終わってしまったり、情報が少なくて行かなかったりしてしまってます。家族みんなで楽しく幸田にいたいです。よろしくお願いします。 ・防災無線が聞こえづらいです。 ・引っ越しをして間もないため、地元のお祭りなどの情報が手に入らない（調べても分からなかった）。 ・情報がみなさんに届いていない。そんなに大きくない町なのになぜなのか。（SNS、インターネット、広報なども）あるのに知らない人が多い。幸田町にもっと関心を持つようなことをしなければ若い子はでいてくし協力してもらえない。別の人の意見など聞き考え方をかえるべき。調査票もそうだから分かりにくいし、きちんと答える人がいるのかが疑問。 ・毎月の配布紙が多い。切れ長の負担が多くなるし、ペーパーレスの時代に紙がもったいない。岡崎市より遅れてる。 ・ペーパーレス化と言われており、広報こうたなど、紙面でなくウェブ化検討。広報こうたの町中の放送が聞きとりにくい（災害など困るのでは）。このアンケートも携帯で返答しようとしたが、エラーがでてしまい送信できない。何が原因で送信できないのか表示していただけるようにしてもらおうと助かります。 ・SNS等を活用し、情報発信を行ってください。現状どのような政策があり、どのように進めていくのかなど、行政の情報を得ることが出来ていません。紙などもあるかと思いますが、文字では読まなく、目に停まりません。情報を得る欲求は高いと思うので、発信する媒体を現代に合わせて下さい。 ・幸田町のふるさと納税などの金額が県内でもトップにあるので、PRはできていると思います。周りの西尾の抹茶や岡崎の家康や味噌といったものが強いので、幸田町から進んで周りの市町村とコラボできたらいいと思います。筆柿の生産量などアピールできる点は多いと感じます。名古屋の方で働いているのですが、「どこ？」と言われることばかりだったので、ガンバってほしいです。
(42) 効率的で健全な行財政
・ふるさと納税の充実化で収入アップ。 ・ふるさと納税の返礼品のさらなる充実による税収の強化を図り政策の促進に充ててください。

- ・幸田町の町県民税が高いと感じる事が多いです。少し下げる事を検討してくださると幸いです。
- ・問 25 で掲げた 1（産業の活性化）、8（子育て環境の充実）、9（質の高い教育の提供）を推進するために、一般会計の内の寄附金を重点的に使うべき。バラマキはだめである。集中投資が肝要。
- ・幸田町は、他に比べ町県民税が高い。
- ・80 才以上世帯の町県民税の減額を特にお願します。
- ・税金安くしてほしい。物が高い。
- ・50 年以上経った家などの固定資産にかかる税金などを安くしてほしい。75 才以上の方が自殺をしない為にも頑張って下さい…。議員の人数を半分にして税金を安くしてほしい。国民年金（介護保険を引くと）4 万で、固定資産（1 万円）、電気ガス水道（1 万円）、病院代（5 万円）、食事代（5 千円）を引くと、どうして生きていけるのですか。
- ・町の行政を効率化して、その分税金や負担すべき料金を下げる方向に努力してほしい。
- ・広報こうたを配布ではなく、回覧で回したら良いと思う。資源ごみになるとは言え、もったいないと思う。
- ・社会保険料等が非常に高い。身のたけにあった財政運営をすべき。区＜隣組＞の半強制加入はやめるべき。区の行事が多く強制参加をなくすべき。昭和初期の隣組制度と変わらない行政の出先機関の区のシステムを時代の変化に合わせて行うべき。区の行事と行政サービスはわけて考えるべきである。
- ・減税
- ・無駄な施設や高齢者への負担を減らすべき。

【その他】

- ・町民プール東側の田園地帯の担い手が居なくなると予想される。そういった所に体育館や駐車場といった施設を建設するといふと思う。
- ・幸田町の議員の方は高齢の方が多く思う。昔から幸田町に住んでいなかった方や、若い世代を議員にできる環境にして、活気のある町づくりをしてほしい。
- ・引越して 2 年弱ですが、町民サービスも利便性も高く住みやすいです。生活応援チケットありがとうございました。
- ・今までの考えでなく、新しい発想でまち作りをしてください。
- ・意見は選びましたが、行政のみなさんがいつもがんばって町づくりをしてくださっていることに感謝します。ありがとうございます。
- ・役場の方も大変立派に仕事される方もいますが、大変仕事出来ない方もいます。研修も必要ではないか。
- ・住民の声が集まる幸田町役場には、もっと頑張ってほしい。また、週に一度遅めの時間まで窓口を開けてほしい。仕事を休まないと役場に行くことが出来ない。他の市では実施しているところもあるのでお願いします。
- ・考えが古いと感じることがある。今回のアンケートのようにもっと色々意見を聞き、取り入れるべき。
- ・20 年程住んでいる我が家はもちろん、相当お年を召された方であってもずっと他所の人とされていることを聞き、住み続けたく無いと、親子共々思っています。地元の方優遇で、学校なども、知っていて当たり前で進むことも大いにありました。この現状だと町外から転入が増えているのに、そのまま住み続けるのは地元の人だけになって、高齢化が進むだけだと思います。
- ・地産地消を唱えていらっしゃいますが、スーパー乱立で地元の物の消費減らしているのではないですか。地元店舗を守るのも大切かと思いますが、スポーツ用品や、衣類、雑貨などが買える店舗の方が需要です。多種多様な雇用も生まれるのではないのでしょうか。今の子育て世代の方の子ども達がここに住み続けてもいいと思える街にして頂きたいと思います。
- ・質問とは異なりますが、私は生まれ育ったこの街が好きです。良い意味で、話題となる街として子育てしやすい街は TV でも特集を組まれるのは少子高齢化だからこそその部分があるかと思います。もちろん限界集落だからこそ移動型スーパーもあ

りますが、どちらも日常生活が送りやすい、町になってほしいです。昔に比べて幸田町はかなり住みやすくなりましたが、もっともっと各分野での質を上げてほしいです。ほかの市町村の良いところをどんどん真似して素敵な街になればと思います。

- ・共働きが標準的になってきて昔より忙しい生活をしているから親の負担を減らすべき。
- ・コンビニで傘が盗まれる心配がないのが凄いと思った。これからもこういう平和な町であってほしい。
- ・まだ住み始めてすぐなのであまりわかっていませんがだいぶ慣れてきて静かで自然もたくさん感じられて空気が綺麗です。引っ越した時に住所変更が役場でスムーズに対応していただけたことが良かったです。
- ・とりあえず町民の声を聞いて、聞いたからには考えてます、ではなく、結果を出してほしい。1つのことにお金をかけても失敗したら終わりだから、複数やった方がいいと思う。頑張ってるのは伝わる。でもなんか違うと思う。幅広い層の意見を聞いているのか疑問に感じる。新しいことをやるのは目に見えて違いが出るから、力を入れがちだが、もともとあるものをもっと強化するべきではないか。宝の持ち腐れ。役場にいったときに待つ時間が長い。
- ・子育て中の女性にとっては自身が安定した職(正規職)に就けるかどうかと、若者(自分の子)の雇用があるかどうかは住む場所を決める際に重要なので、選ばれる自治体になるために雇用の創出に力を入れてください。
- ・役場の待ち時間緩和。
- ・より一層 ICT、DX を活用してほしい。
- ・町議会議員削減。町役場職員の増員、待遇改善。図書館の 24 時間営業。
- ・アンケートが想像の 5 倍くらい長い。
- ・幸田町の優れている自然の豊かさ、公共交通機関の便利さ、農工商とバランスの良い町等、現状の特色をより押し進めて他の都市との差別化を図れば、人口減対策にもなり、現住民の満足度も向上すると思う。
- ・限りある税金の使い方を再考し、若い世代が納得するように使い、若者が長く暮らせる町を目指したい。また、それを町の魅力として発信する方法を再確認してほしい。
- ・お年寄り向けのテレビ番組を作成してほしいです。老年人的コーナを切望します。そして幸田の老人達はそれを見て町の様子見聞きすれば、元気でボケないと思うのですが、如何でしょうね。60 年前よりすごくよい幸田ですよ…。幸田の歌をみんなが歌えるよう、有線放送に入れて皆さんに聞かせて歌えるようになるといいね。役場の皆さんありがとうございます。心からお礼を申し上げます。
- ・私は幸田町はととてもすみやすく喜んでます。各地に住んでいましたので良くわかります。ありがとうございました。
- ・以前の住民意識調査で、幸田駅前駐車場の白線を引き直してほしい旨を書いたところ、すぐに対応していただきました。ありがとうございました。幸田町に住んで日が浅いですが、町民の声がすぐに反映される素晴らしい町だと感じました。中央公園のトラックの地面が走りやすくなっていて利用しやすくなりました。どうか、駐車場や通路の街灯を増やしてほしいです。夕方以降、怖くて利用出来ません。
- ・非常に良い町で愛着があります。更に良い町になるよう、がんばりましょう。
- ・公共施設を町民優先で使えるようにしてほしい。
- ・より良くなる様をお願いします。
- ・日々、新聞をみても幸田町長様は斬新なアイデアで提携を結ばれて、すばらしい事と思っています。ますますの幸田町発展を心より願っています。
- ・人だけでなく、動物にやさしい町にしてほしい。捨て犬、ネコがかわいそう。
- ・町づくりは人づくり。人づくりにかわる分野の充実を。学校の大木処理。電線や電話線に触れる大木。地震で倒れそうな木はありませんか（避難所になっている場所にふさわしい環境づくり）。
- ・近隣市との合併。ふるさと納税収入…学校のソーラーパネル化。

- ・町政、行政にあまり関わりがないため“どちらともいえない”の回答が多くなってしまいました。特に不満なく生活できており、また幸田町は概ね暮らしやすい町だと思っております。
- ・成瀬町長は、いろんなイベントにきちんと出席されていて、あいさつやお話も面白いです。町民にとって親近感のわく町長だからこそ、様々なイベントにたくさんの町民が出席して、町を盛り上げているのだと感じました。ありがとうございます。
- ・深溝地区に住んでいますが、敬老会の名簿は配布されました。近頃老人宅をねらった強盗の被害をよく耳にします。今時名簿を悪用されるおそれがあると思います。回収をお願いします。配布したものを回収が無理でしたら、来年度から配布をやめるように御指導して下さい。P T A 会費は学校に通っている子がいないにもかかわらず毎年強制的におさめています。こんな町なんて全国にあるでしょうか。学校に通っている家庭でも納めていない市や町があるのにどうにかありませんか。
- ・町長が少し強過ぎではないか。
- ・若い世帯の方々に住んでいただき、活気ある幸田町にしてほしいです。
- ・地球温暖化により今年の猛暑はすごかったです。アメリカのある地域では町づくりのため、冷却効果のある植物を植える所もあるようです。真夏に過ごすことのできる涼しいスポットを増やして頂きたいです。
- ・私は 85 才。過去より現在、現在より未来が心配。亡くなった後はどうでもよいとは思わない。今より少しでもよくなっていく世の中を見たい。
- ・最近越してきたばかりであり出かけたりもしないので、よくわからなくてすいません。
- ・特にありませんが、一緒に盛り上げたいです。できる範囲で協力したいです。
- ・過度な発展でなく、ゆるやかで生きていることの豊かさを実感できる町であってほしい。経済的な豊かさ（例えばふるさと納税収入）も大事だが、老若共に町民ひとりひとりが心豊かに生活できるようにしたい。
- ・高齢者はそのまま幸田町に住み続ける人が多いと思います。若い世代の人がより住みやすく、求めているものを行っていくことで、幸田に住みたいと思い、人口減少も幅が少なくなっていくと思います。
- ・幸田駅裏側、六栗周辺に大手の塾がほしい（自分で通うのに駅をこえると危険なため）。
- ・アンケートは若い人たちだと思います。これから幸田町の町づくりをしていく人たちだと思います。
- ・問 11、25 の重点と同じと思われるが再度。問 25 の結婚に対する魅力と支援を幸田町独自の方向性を見い出して実践してほしい。
- ・いつまでも大企業が有ると思えない。有るうちに将来の為に今できる事をしてほしい。若者のためにできる事を考え、興味をもてる行政を目指して下さい。
- ・ゴミ分別も他の地域に住んでいたときは分別詳細の冊子がもらえたのに、幸田はネットで見てください？ 毎年とかはいらないけど、5 年？ 10 年に 1 回は配ってほしい。人も減り、草取りなど小さい子どもがいるとなかなかできないし、大変不便が多い。戻ってきて後悔。どうかして下さい。
- ・分散住居施設等まとめて維持。管理支援が楽で充実する事が良い。
- ・高齢化が進み女性の負担が大きい。高齢男子の協力が欲しい。高齢者の給食センター（同居でも O K の）があればうれしい。
- ・アンケートの項目が多すぎます。
- ・幸田町の将来を考えて町を運営していただいていることに感謝しています。今もとても住みやすい町と思っていますが、他市町村の良い所を取り入れるなどして、幸田町を今後も住みやすい町にしていってほしいと思います。
- ・これからも住みやすい町作りを目指してがんばっていただきたい。
- ・町の行政職員が積極的に地域に、また行政として意見している様に感じられない。元気な町づくりにも、頭にいれていただきたいと思います。

- ・誰もが過ごしやすい町を目指してがんばって下さい。
- ・節目健診はあっても、節目同窓会は無い。25 才、30 才、35 才、40 才くらいに開催してはいかがかと思います（婚活の一助になるかも知れない）。
- ・昔の村がやっていた様なお役はやめた方がいいと思う。時代おくれです。町議員が多すぎる。
- ・役場にあった木がなくなっちゃった。なんでか知らなかった。さみしい。また緑だと良い。
- ・若者の意見が聞ける行政になってほしい。特に上司（役場）クラスの人々。
- ・住み良い町づくりに勤めてもらいたい。
- ・安全安心で住みやすい町であってほしいです。
- ・幸田町に住んでいることに自信や愛着の持てるような提案や発信をしてほしい。町外の人から「幸田町は財政が豊かだね」と言われるが、実感はない。どうしてだろうか。この間、福祉課で「マイエンディングノート」をもらって来たが、「2019 年 3 月発行のものしかない。今年度中に発行します。」との返事だった。過日、岡崎市の「終活ノート」を頂いたが、毎年発行されてるとの事。中身はほぼ一緒であり、独自性を出してほしいです。
- ・幸田町は若い方が住みたい町のランク 1 位だと聞いた事があります。
- ・このような調査で困っていることやニーズを申し出られる人はそもそもそんなに困っていないと思います。貧困や持病などで回答をするゆとりがない人たちの声をひろい、町政に活かしてほしいと思います。“より良い”も大切と思いますが、本当に困っている人たちの可視化、福祉の底上げを願います。
- ・町内のお仕事いつもお疲れ様です。今後よろしくお願い致します。幸田町が豊かになりますようによろしくお願い致します。
- ・鷺田区の公民館、住民広場等一体となった開発を早急に進めてほしい。特に公民館は古く陳腐化しており、使い勝手が悪い。
- ・物事に対して、昔からの習慣を理由にするのではなく、価値や重要性を改めて見直し、無駄を排除したり、改善を図ったりしてほしいです。世の中が非常に速いスピードで変化する中、幸田町の変化にも期待したいです！
- ・住みやすく、様々なサービスも向上してきていると思います。しかし高齢になると、生活のための利便性が上がるとありがたいです。とてもよい環境のため、さらにそれを活かして、また特産物も多く開発され、他の地域からの人々が訪れたい、また他の地域の方々に紹介したいものが増えるとうと思っています。
- ・8050 問題が日常化していますが、高齢の親が子どもの相談をしたくても窓口が分からないという。また、生活保護支援の P R など、自律・自立が困難な住民の人権を積極的に保護する体制を強化すべきである。
- ・J R 幸田駅を従業員が利用する企業のコンプライアンス授業が不十分で、駐輪場を待機場場とし利用するなどマナーが悪く、トラブルを見かける。企業の総務部に対して定期的に駅に出向き実態把握と改善に取り組むよう、公共の場の安全対策として、行政が企業に助言指導すること。様々なトラブルが絶えない。
- ・お世話になってます。よろしくお願いします。
- ・年をとっても住みやすい町であってほしいです。
- ・情報・通信環境の整備、充実（特に独居老人世帯、高齢者世帯を）。身近な環境整（並路等の草刈、路側線等の塗り替えなど）。街をきれいに。
- ・問 19 の 1 についてですが、ネットでの手続きにしまうと、ネットの使い方がわからない高齢者にとっては不便になってしまうおそれがあると思います。また、問 19 の 5 については、I C T は便利かもしれませんが、なるべく若いうちはアナログのものに触れさせた方がいいと思います。
- ・現状で満足していますが、議員報酬を上げ、若い世代の成り手が増えると良いと思います。

- ・いつも尽力下さりありがとうございます。これからもよろしくお願いいたします。
- ・意識調査ということですが、引っ越してきてからあまり日のたっていない住民の調査内容が役に立つのかが疑問に思っています。正直町のことがよくわかっておらず、回答しようにも知らないことが多すぎて難しかったです。
- ・住んでいる人が幸田町を自分のふるさと思えるまちづくりを願います。幸田には大きなお祭りがないとずっと思っていたが、ありましたと今思えます。新幸田音頭、運動会で踊らされていた子供が大きくなって踊れるよーと笑ってます。夏祭り、町外の人達も来てくれて、幸田はいいねーとほめられます（暑さもハピネスヒルでしのげます）。最後の花火でジーンとして、また来年ねーと町に感謝しつつ帰宅します。
- ・保育園、学校で選挙に行こう、お金のこと、税金のこと、行政の大切さを何年も体験させていただきたいです。幸田町大好きです。町長さんみなさんいつも優しくしてくださってありがとうございます。町の広報誌など届くのがいつも楽しみです。町政が一番わかりやすいのは議会だよりです。町の職員の皆様と町長さんがみんな笑顔で働けますように。
- ・家や車など高い買い物せず必要としない考えをよく聞くので、そういったことに対して良くしてほしいです。
- ・役場は、自分の回りが住み良い意見しか聞いてない気がする。まず若者等、人が集まる場所を作るかアピールするべき（スポッチャなど作れば駅前にも人が集まりお金を使ってくれる）。幸田セントラルがラウンド1になればいい。もっと全体的（年れいとわず）に意見を聞くべき。
- ・婚活のイベントを開催してほしい。
- ・スマホからやってみましたが、少しでも時間がたつと最初からになりました。用紙での回答となりましたが、改善して下さい。

資料 調査票

あなたの調査票番号：00000000

第24回幸田町住民意識調査

～ あなたの声をお聞かせください ～

日ごろから、町政に御理解と御協力をいただきありがとうございます。

住民意識調査は、町民の皆さまから幸田町のこれまでの取り組みに対する評価をいただくとともに、これからのまちづくりに対するお考えをお聞きし、今後の町政運営の基礎資料とするために実施するものです。昭和54年から実施しており、今回で24回目となります(原則2年に1回実施)。

今回実施する調査にあつては、町内にお住まいの18歳以上の方の中から2,000人を無作為に選び、調査票を送らせていただきました。

お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨を御理解いただき、御回答くださいますようお願い申し上げます。

令和6年10月 幸田町長 成瀬 敦

御記入にあたってのお願い

【調査の取り扱い】

- 回答の内容は、すべて統計的に処理し、他の目的に利用することはありません。
安心して率直な御意見をお聞かせください。
- 調査集計結果は、広報こうた、町ホームページなどで公表します。

【記入上の注意】

- 宛名の御本人が回答するようお願いいたします。**ただし、事情により御本人が回答できない場合は、18歳以上の御家族の方が回答していただいても結構です。

【回答方法】

- 回答期限までに、①または②のいずれかの方法で御回答ください。
 - ①Webページから入力
右の二次元コードまたは
URL (<https://forms.gle/sXv4YCSMEq3DGkbV9>) から
Webページにアクセスし、御回答ください。
Webでご回答いただいた方は、本調査票の郵送は不要です。
 - ②調査票に記入
この調査票に直接記入し、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて御投函ください。



【回答期限】

令和6年10月31日(木)

【問合せ】

幸田町 企画部 企画政策課 政策グループ
電話：(0564) 63-5132 FAX：(0564) 63-5139
Eメール：kikakujoho@town.kota.lg.jp

こちらの調査票のみ返信用封筒に入れて郵送してください。

A. あなた自身についてお聞きします。

問 1 あなたの性別は。(○は1つだけ)

- | | | |
|------|------|--------|
| 1. 男 | 2. 女 | 3. その他 |
|------|------|--------|

問 2 あなたの年齢は。(○は1つだけ)

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 18～29 歳 | 2. 30～39 歳 | 3. 40～49 歳 |
| 4. 50～59 歳 | 5. 60～64 歳 | 6. 65～69 歳 |
| 7. 70～74 歳 | 8. 75 歳以上 | |

問 3 あなたの職業は。(○は1つだけ)

- | | |
|----------------------|--------------|
| 1. 農林漁業 | 2. 自営業 |
| 3. 会社員など（会社役員・公務員含む） | 4. パート・アルバイト |
| 5. 学生・専門学校生 | 6. 家事専業 |
| 7. 無職・その他 | |

問 4 あなたが同居している家族の構成は。(○は1つだけ)

- | | | |
|---------------|---------|------------|
| 1. 単身 | 2. 夫婦のみ | 3. 親子（2世代） |
| 4. 親・子・孫（3世代） | 5. その他（ | ） |

問 5 あなたのご家族（一緒に暮らしている方、あなたご自身も含む）の中に次の方はいらっしゃいますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|----------------------|------------|---------------------|
| 1. 小学校入学前の子 | 2. 小学生・中学生 | 3. 中学校卒業以上 18 歳未満の子 |
| 4. 65 歳以上の方 | 5. 介護を要する方 | 6. 障害者手帳を所持されている方 |
| 7. 上記（1～6）に該当する者はいない | | |

問 6 あなたが住んでいる小学校区は。(○は1つだけ)

- | | | |
|--|-------|-------|
| 1. 坂崎 | 2. 幸田 | 3. 中央 |
| 4. 荻谷 | 5. 深溝 | 6. 豊坂 |
| ※小学校区がわからない場合は、お住まいの大字、小字を御記入ください。
（幸田町大字 字 ） 例：菱池字元林 | | |

問 7 あなたが幸田町に住んでいる年数は。(○は1つだけ)

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 1 年未満 | 2. 1 年以上 5 年未満 |
| 3. 5 年以上 10 年未満 | 4. 10 年以上 20 年未満 |
| 5. 20 年以上 | |

B. 町政についてお聞きします。

問 8 町政に関心をお持ちですか。(○は1つだけ)

1. 非常に関心がある 2. 多少関心がある	3. あまり関心がない 4. まったく関心がない
---------------------------	-----------------------------

問 8 で 1,2 を選んだ方にお聞きします。

問 8-1 関心がある理由は。

(○は2つまで)

1. 行政に住民の意見が反映される 2. 住民参加の機会がある 3. 町に愛着がある 4. 自分の生活と関係が深い 5. 町の情報発信が積極的 6. 税金の使われ方に関心がある 7. その他 ()

問 8 で 3,4 を選んだ方にお聞きします。

問 8-2 関心がない理由は。

(○は2つまで)

1. 行政に住民の意見が反映されない 2. 住民参加の機会がない 3. 町に愛着がない 4. 自分の生活と関係していない 5. 町の情報発信が不足している 6. 関心を持つ余裕がない 7. その他 ()
--

問 9 町政の情報源は何ですか。(○はいくつでも)

1. 広報こうた 3. 町ホームページ 5. ケーブルテレビ 7. タウンメール 9. SNS (Instagram、LINE等) 11. 町議会議員 13. 情報源がない	2. こうた議会だより 4. 回覧板 6. 新聞 8. 友人・近所・家族などの口コミ 10. 子どもの学校や保育園 12. 区長 14. その他 ()
---	--

C. 幸田町のまちづくりについてお聞きします。

問 10 まちづくりに対する評価と期待

幸田町の行政施策に対する「現状の満足度」と「今後の重要度」について、あなたのお考えに最も近いものを1つずつ選んで番号に○印をつけてください。

※（ ）内にとり組内容の一部を挙げていますので、回答の参考にしてください。

設 問 項 目	現状の満足度					今後の重要度				
	満足している	やや満足している	どちらでもない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない
回答例	5	④	3	2	1	5	④	3	2	1
【安全・安心】										
(1) 防災体制の強化 (防災リーダーの育成、防災備蓄品の配備、安全テラスセンター24)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(2) 河川の整備 (河川改修)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(3) ため池・山の整備 (ため池耐震補強、森林保全、菱池遊水地)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(4) 消防・救急体制の充実 (消防車の整備、救急救命士の養成、AEDの講習会、消防団活動支援)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(5) 交通安全・防犯対策の強化 (安全な通学路の整備、防犯灯の設置、不審者情報の提供)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(6) 消費生活の安定向上 (消費者被害未然防止講座、消費生活相談)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(7) 道路の整備 (町道の整備・維持管理)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(8) 公共交通の整備 (えこたんバスの運営、駐車場の整備)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(9) 新しい移動手段の検討・導入 (藤田乗合直行タクシー、チョイソコなどの社会実験・サービス開始)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(10) 上水道の整備 (上水道整備、耐震化・老朽化への対策)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(11) 下水道の整備 (下水道整備、耐震化・老朽化への対策)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(12) 住宅の整備 (木造住宅耐震診断、耐震改修費補助、町営住宅の運営、住宅地の整備)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(13) 市街地の整備 (土地地区画整理事業、駅周辺の整備、景観の配慮)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(14) 公園・緑地の整備 (公園の整備・維持管理、緑地の保全)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

設 問 項 目	現状の満足度					今後の重要度				
	満足している	やや満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
(15) 墓園の整備 (地域の共同墓地の新規区画の確保、多様化する墓地需要への取組)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
【環境】										
(16) 自然環境の保全 (環境に関する学習会の開催、新エネルギー利用への補助)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(17) 公害対策の推進 (河川水質の監視、事業所指導)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(18) ごみ問題への対応 (リサイクルの推進、資源回収の推進、不法投棄の監視)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
【産業振興】										
(19) 農業の振興 (特産物のPR、農道・水路等の整備、農地の保全)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(20) 新産業の創生・企業の立地 (産学金官の連携、企業の誘致)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(21) 商業の振興 (経営支援、商業団体の育成)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(22) 観光の振興 (イベントの実施・PR、観光地の整備、近隣市との連携、ロケツーリズムの推進)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
【健康・福祉】										
(23) 健康づくりの推進 (予防接種・健康診査の実施、自主活動グループの育成、健康教育・相談)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(24) 医療体制の充実 (地域で必要な医療を受けられる体制の構築)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(25) 子育て支援 (子育て支援センター運営、ファミリー・サポート事業)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(26) 就学前教育・保育の充実 (保育園の運営・整備、幼稚園就園補助金、認定こども園等給付費支給)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(27) 子どもの居場所の充実 (放課後児童対策、児童館の整備)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(28) 障がい者福祉の充実 (障がい者の自立支援、障がい者福祉サービスの充実)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(29) 高齢者福祉の充実 (介護予防教室、介護支援、見守り訪問、老人クラブ活動支援)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

【教育・文化】										
(30) 学校教育の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(地域に根ざした学校づくり、学校施設・設備の整備、特別支援教育)										
(31) 健やかな青少年の育成	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(家庭教育学級の実施、「家庭の日」の啓発)										
(32) 生涯学習の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(講座・教室の開催、生涯学習活動の支援)										
(33) スポーツの振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(スポーツイベント・大会の開催、スポーツ教室の開催)										
(34) スポーツ施設の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(スポーツ施設の整備、スポーツ施設の修繕)										
(35) 歴史・伝統文化の継承	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(文化財の保存・展示・周知)										
(36) 文化の振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(町民会館の施設整備・イベントの開催)										
【協働・参画】										
(37) 男女共同参画の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(男女共同参画の啓発、審議会委員への女性の登用)										
(38) 地域活動の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(コミュニティ活動への助成、地域活動施設の整備)										
(39) 多文化共生の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(行政サービスの多言語化、日常的な外国籍町民との交流・共生)										
(40) 広域行政の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(近隣市との連携強化、広域連携の推進)										
(41) 情報の発信と管理	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(広報こうた、ホームページやSNSでの情報発信、個人情報の保護)										
(42) 効率的で健全な行財政	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(使用料・手数料の見直し、行政改革の推進)										

問 11 (1)～(42)の行政施策のうち、今後、特に力を入れてほしいものは。
番号とその理由を下欄に御記入ください。(3つまで。番号は3～5ページに掲載)

番号	理 由

D. 幸田町への定住の意向についてお聞きします。

問 12 あなたは、これからも幸田町に住み続けたいと思いますか。(○は1つだけ)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 住み続けたい | 2. どちらかというに住み続けたい |
| 3. どちらかという町外に転出したい | 4. 町外に転出したい |

↓

問 12 で 3,4 を選んだ方は理由をお聞かせください。
()

問 13 幸田町のよいところは。 番号とその理由を下欄に御記入ください。(3つまで)

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1. 緑や川などの自然環境が豊か | 2. 公園や緑地が多い |
| 3. 子育てがしやすい | 4. 教育環境がよい |
| 5. 就業の機会が豊富である | 6. 買い物が便利 |
| 7. 地域での人間関係がよい | 8. 文化に親しむ機会に恵まれている |
| 9. スポーツの機会に恵まれている | 10. 災害に強い |
| 11. 治安がよい | 12. 医療・福祉サービスが充実している |
| 13. 交通の便がよい | 14. その他 () |

番号	理 由

問 14 幸田町の悪いところは。 番号とその理由を下欄に御記入ください。(3つまで)

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1. 緑や川などの自然環境が乏しい | 2. 公園や緑地が少ない |
| 3. 子育てがしにくい | 4. 教育環境が悪い |
| 5. 就業の機会が少ない | 6. 買い物が不便 |
| 7. 地域での人間関係が悪い | 8. 文化に親しむ機会が少ない |
| 9. スポーツの機会が少ない | 10. 災害に弱い |
| 11. 治安が悪い | 12. 医療・福祉サービスが不足している |
| 13. 交通の便が悪い | 14. その他 () |

番号	理 由

E. 日常生活における行動・意識についてお聞きします。

問 15 下記のことについて、あなたの日常生活における行動や意識は、「はい」「いいえ」のいずれにあてはまりますか。 いずれか該当する方を選んで番号に○印をつけてください。

No	質 問	回答 (いずれかに○)	
【安全・安心】		はい	いいえ
1	あなたは、災害に備えて非常持出袋を用意していますか。	1	2
2	あなたは、自宅の家具転倒防止対策を行っていますか。	1	2
3	あなたは、マイタイムラインを知っていますか。 ※一人一人の防災行動計画で、台風の接近による河川の水位上昇に備えて行動する内容を、接近前から時系列に整理したもので、どのタイミングで避難するかを考えるための一助にする。	1	2
4	あなたは、幸田町に消防団があることを知っていますか。	1	2
5	あなたは、町が、“止まってくれて「ありがとう！」” をスローガンに交通安全運動を実施していることを知っていますか。	1	2
6	あなたは、日頃から防犯対策を行っていますか。	1	2
7	あなたは、身の回りの住環境が整っていると感じていますか。	1	2
8	あなたは、町内の鉄道駅は利用しやすいと感じていますか。	1	2
9	あなたは、幸田町は公園・緑地が豊かであると感じていますか。	1	2
10	あなたは、過去1年間に町内の公園・緑地を利用したことはありますか。	1	2
【環境】		はい	いいえ
11	あなたは、資源・ごみの分別方法を知っていますか。	1	2
12	あなたは、省エネルギーやリサイクルに心掛けていますか。	1	2
【産業振興】		はい	いいえ
13	あなたは、地元の農産物を購入するように心掛けていますか。	1	2
14	あなたは、町内の商店で買い物や飲食サービスを利用するように心掛けていますか。	1	2
15	あなたが町外の人に紹介したいと思う幸田町の観光資源はありますか。	1	2
【健康・福祉】		はい	いいえ
16	あなたは、普段から健康に心掛けていますか。	1	2
17	あなたは、かかりつけ医がいますか。	1	2
18	あなたは、日常生活の中で身近に相談できる人がいますか。	1	2
19	あなたは、地域で子どもを育む活動をしたことがありますか。	1	2
【教育・文化】		はい	いいえ
20	あなたは、生きがいにしているものはありますか。	1	2
21	あなたは、趣味や教養、スポーツなどの活動を楽しんでいますか。	1	2
22	あなたは、日頃から文化や芸術に触れていますか。	1	2

【協働・参画】		はい	いいえ
23	あなたは、家庭・地域・職場・個人の生活のバランスがうまく取れていると思いますか。	1	2
24	あなたは、この1ヶ月の間に地域の人とあいさつや会話をしたことがありますか。	1	2
25	あなたは、自治会活動（区の活動）に参加していますか。	1	2
26	あなたは、他の世代の人や外国人住民の方々と交流したり、ふれあったりすることはありますか。	1	2
27	あなたは、広報こうたを読んでいますか。	1	2

問 16 あなたは、この1年間にどのような場所や形態で学習をしたことがありますか。この中からいくつでもあげてください。（○はいくつでも）

1. 公民館や生涯学習センターなど公的な機関における講座や教室	2. カルチャーセンターやスポーツクラブなど民間の講座や教室、通信教育
3. 学校（高等学校、大学、大学院、専門学校など）の講座や教室	4. 職場の教育、研修
5. 同好者が自主的に行っている集まり、サークル活動	6. 図書館、博物館、美術館
7. テレビやラジオ	8. インターネット
9. 自宅での学習活動（書籍など）	10. 学習をしたことがない
11. わからない	12. その他（ ）

問 17 あなたは、この1年間に運動やスポーツを実施した日数を全部合わせると、何日くらいになりますか。次の中からあてはまるものを選んでください。（○は1つだけ）

1. 週に5日以上（年 251 日以上）	2. 週に3日以上（年 151 日～250 日）
3. 週に2日以上（年 101 日～150 日）	4. 週に1日以上（年 51 日～100 日）
5. 月に1～3日（年 12 日～50 日）	6. 3ヶ月に1～2日（年 4 日～11 日）
7. 年に1～3回	8. 運動・スポーツはしたが頻度はわからない
9. 運動やスポーツをしなかった	10. わからない

F. ICT（情報通信技術）の活用についてお聞きます。

問18 あなたは、インターネットをどのような端末で利用していますか。(〇はいくつでも)

1. パソコン
2. 携帯電話・スマートフォン
3. タブレット端末や家庭用テレビゲーム
4. その他機器（具体的に）()
5. 利用したことはないが、今後利用してみたい
6. 今まで利用したことがないし、今後も利用する予定はない

問 19 あなたは、次の I C T（情報通信技術）を使った行政サービスのうち、とくに充実していきべきことは何だと思いますか。（〇はいくつでも）

1. 自宅のパソコンやスマートフォンから役場の手続きができる仕組み（電子申請）
2. 災害時に避難所（小学校など）で使える公衆無線 LAN の整備
3. 役場への問い合わせに対応できる自動応対システム
4. 窓口手数料をクレジットカードや電子マネーで支払うことができる仕組み
5. 子どもたちへの I C T 化普及
6. 町が保有する各種データのうち、個人情報などの非公開情報ではないものをオープンデータとして公開する仕組み
7. 特になし
8. その他（ ）

G. 感染症等の影響についてお聞きます。

問 20 今後、新型コロナウイルス感染症のような新たな感染症が発生した場合に、重点的に実施してほしいと考える施策は何ですか。(〇は3つまで)

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 安定した医療体制確保 | 2. 町民の感染防止対策 |
| 3. 感染状況や感染防止対策などの情報発信 | 4. 小・中学生の学習支援 |
| 5. 子育て世代への経済的支援 | 6. 町内商業施設、商店などの消費喚起 |
| 7. 大学生など若者世代への支援 | 8. 高齢者の生活支援 |
| 9. 雇用対策・労働環境の改善 | 10. テレワークなど新しい働き方への対応 |
| 11. スポーツ活動への支援 | 12. 文化活動への支援 |
| 13. 町民活動・地域活動への支援 | 14. 特になし |
| 15. その他（ | ） |

H. 公共交通に対する評価と新たな移動手段の検討・導入についてお聞きます。

問 21 各公共交通並びに幸田町における公共交通全般について、あなたの評価として、最も近いものを1つずつ選んで番号に○印をつけてください。

利用しやすさ 交通手段	利用しやすい	どちらともいえない	利用しづらい	利用したことがない
回答例	1	②	3	4
(1) JR（幸田駅、三ヶ根駅、相見駅）	1	2	3	4
(2) タクシー	1	2	3	4
(3) コミュニティバス（エコたんバス）	1	2	3	4
(4) 福祉タクシー券	1	2	3	4
(5) 高齢者タクシー券	1	2	3	4
■幸田町における公共交通全般	1	2	3	4

問 22 幸田町では、町民の皆さまのより良い交通体系を構築するため、令和2年4月より「藤田乗合直行タクシー」、10月より「チョイソコ」をそれぞれ社会実験として導入しました。以下の問いにお答えください。

藤田乗合直行タクシーとは？

社会実験として、幸田町役場とJR相見駅と藤田医科大学岡崎医療センターを結ぶ「藤田乗合直行タクシー」を運行しています。平日のみの運行で、行き4便、帰り4便です。社会実験中の運賃は無料です。

チョイソコとは？

豊坂小学校区と深溝小学校区にお住まいの65歳以上の方又は障害者手帳をお持ちの方を対象とした乗り合いサービスです。平日の9時から16時までの運行で、豊坂エリアと深溝エリアを中心に設置されている停留所間を移動できます。複数の方の目的地、到着時刻をシステムが計算し、乗り合わせた上で目的地まで移動します。社会実験中の運賃は無料です。

問 22-1 現在、社会実験として運行されている移動手段について知っていますか。

（それぞれ1つ）

「藤田乗合直行タクシー」

1. 詳しく知っている
2. 名前くらいは知っている
3. 知らない
4. その他（ ）

「チョイソコ」

1. 詳しく知っている
2. 名前くらいは知っている
3. 知らない
4. その他（ ）

問 22-2 現在、社会実験として運行されている移動手段を利用したことがありますか。
また、利用したいですか。(それぞれ1つ)

「藤田乗合直行タクシー」

「チョイソコ」

1. 利用したことがある
2. 利用したことはないが利用したい
3. 利用したいと思わない
4. わからない
5. その他 ()

1. 利用したことがある
2. 利用したことはないが利用したい
(豊坂小学校区及び深溝小学校区の方)
3. 事業拡大されれば利用したい
(豊坂小学校区及び深溝小学校区外の方)
4. 利用したいと思わない
5. わからない
6. その他 ()

問 22-2 で「利用したいと思わない」を選んだ理由は何ですか

1. 藤田医科大学岡崎医療センターに行く用事がない
2. 車など別の交通手段を利用する
3. 利用方法がわからない
4. その他 ()

1. 行きたい場所に停留所がない
2. 車など別の交通手段を利用する
3. 利用方法がわからない
4. その他 ()

I. 人口減少対策についてお聞きします。

これまで幸田町の人口は増加してきましたが、日本全体の人口は既に減少に転じています。
国立社会保障・人口問題研究所によると、今後、幸田町の人口は横ばいから減少していくと
予測されています。

問 23 人口の減少に対して、町はどのように取り組むべきだと思いますか。(〇は1つだけ)

1. 人口が増加するよう努力すべき
2. 現在程度の人口を維持するよう努力すべき
3. 人口減少の幅が少しでも小さくなるよう努力すべき
4. 人口減少を受け入れ、それに対応した持続可能なまちとなるよう努力すべき
5. わからない
6. その他 ()

問 24 あなたがお住いの地域で、人口減少や少子高齢化の影響が出ている（と感じる）ことはありますか。（○はいくつでも）

1. 子どもの減少	2. 高齢者のみ世帯の増加
3. 地域の繋がりの希薄化	4. 自治会などの担い手不足
5. 伝統的行事・祭事の維持が困難	6. 空き家の増加
7. 商店の閉鎖	8. 特に発生していない・感じない
9. その他（	）

問 25 あなたは、人口減少対策としてどのような施策が有効だと思いますか。（上位3つを選んで下欄に御記入ください）

1. 産業の活性化	2. 雇用の確保や就労支援
3. 魅力あるイベントや観光資源の活用	4. 交通ネットワークの充実
5. 他市町村等との広域的な連携・交流	6. 移住・定住の促進
7. 結婚・妊娠・出産・産後への支援	8. 子育て環境の充実
9. 質の高い教育の提供	10. 医療環境の整備
11. 地域コミュニティの醸成	12. 自然環境の保全
13. 歴史・文化の保存・継承	14. 防災・防犯・交通安全の強化
15. 多様な人材が活躍する地域の推進	16. 生涯学習・スポーツの充実
17. その他（	）

1 位

2 位

3 位

J. 幸田町の今後のまちづくりへの御意見や御提案がありましたら御記入ください。

設問は以上です。最後まで御回答いただき、ありがとうございました。

